

横須賀美術館

年報

ANNUAL REPORT YOKOSUKA
MUSEUM OF ART

令和 4 年度版 [2022.4.1 - 2023.3.31]

目次

1 事業

- 1-1 展覧会事業…………… 5
 - 1 企画展
 - 2 所蔵品展
 - 3 谷内六郎館
- 1-2 教育普及事業……………42
 - 1 展覧会関連の教育普及事業
 - 2 単独開催の教育普及事業
 - 3 学校との連携
 - 4 ボランティアの活動
 - 5 託児サービス
- 1-3 広報関連事業……………60

2 刊行物

- 2-1 出版物……………61
- 2-2 配布物……………62

3 調査・研究活動

- 3-1 論文等……………64

4 収集・管理

- 4-1 作品収集……………65
- 4-2 保存・修復……………70
 - 1 保存
 - 2 修復・額装
- 4-3 作品の貸出……………72

5 図書室

- 5-1 図書室……………73
 - 1 所蔵資料数
 - 2 利用統計

6 記録

- 6-1 組織……………74
 - 1 外部組織
 - 2 委員会の開催記録
 - 3 職員等
- 6-2 開館日数・観覧者数……………75
- 6-3 歳入・歳出……………75
 - 1 歳入
 - 2 歳出

7 資料

- 7-1 条例等……………76
 - 1 美術館条例
 - 2 美術館条例施行規則
 - 3 横須賀美術館運営評価委員会条例
 - 4 横須賀美術館美術品評価委員会条例

8 紀要

- 「見ればわかる」を当たり前にしなない ……82
視覚障害者の美術鑑賞に関する教育普及活動の歩み
立浪佐和子

1 事業

1-1 展覧会事業

横須賀美術館令和4年度展覧会事業は、下記一覧のとおりである。

なお、P.6以降に各展覧会の概要を掲載する。

1-1-1 企画展 (P.6)、1-1-2 所蔵品展 (P.18)、1-1-3 谷内六郎館 (P.34)

*開催日数は休館日を除く。

1-1-1 企画展

名 称	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
開館15周年 華麗なるベルエポック フランス・モダン・ポスター 京都工芸繊維大学美術工芸資料館コレクション	2022年4月23日(土)～6月19日(日)	56	19,189	342.6
開館15周年記念 800年遠忌記念特別展 運慶―鎌倉幕府と三浦一族	2022年7月6日(土)～9月4日(日)	60	50,012	833.5
開館15周年 生誕120年 猪熊弦一郎展	2022年9月17日(土)～11月6日(日)	50	14,806	296.1
開館15周年 PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展	2022年11月19日(土)～12月25日(日)	36	16,692	463.6
第75回児童生徒造形作品展	2023年1月12日(木)～1月30日(月)	19	14,613	769.1
キャラクターデザインの先駆者 土方重巳の世界 ブーフーウーと仲間たち	2023年2月11日(土・祝)～4月9日(日)	56	14,048	250.8

*観覧者数は、企画展の発券数

1-1-2 所蔵品展

名 称	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
第1期所蔵品展 新収蔵記念:生誕120年 矢崎千代二展 特集:小田扉の『横須賀こずえ』展	2022年4月9日(土)～6月26日(日)	77	20,300	263.6
第2期所蔵品展 特集:井上文太 Inspirations	2022年7月2日(土)～9月25日(日)	79	36,932	467.4
第3期所蔵品展 特集:つながるおもい―近年の寄贈作品から	2022年10月1日(土)～12月25日(日)	83	18,239	219.7
第4期所蔵品展 特集:清宮質文の世界	2023年1月7日(土)～年4月2日(日)	83	14,297	172.2

1-1-3 谷内六郎館

名 称	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 おうち時間の楽しみ	2022年4月9日(土)～6月26日(日)	77	11,321	147.0
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 子どもの遊び	2022年7月2日(土)～9月25日(日)	79	19,653	248.7
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 1950年代の谷内六郎	2022年10月1日(土)～12月25日(日)	83	9,850	118.6
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 乗り物に乗って	2023年1月7日(土)～年4月2日(日)	83	18,118	218.2

展覧会名

開館15周年 華麗なるベル・エポック フランス・モダン・ポスター
 京都工芸繊維大学美術工芸資料館コレクション

会期	2022年4月23日(土)～6月19日(日) 開催日数56日間(休館日を除く)	
休館日	5月9日(月)、6月6日(月)	
観覧料	一般1,300円/高大・65歳以上1,100円	
主催	横須賀美術館	
企画協力	青幻舎プロモーション	
事業概要	<p>19世紀末から第一次世界大戦期にかけて、ジュール・シェレ、ロートレック、ミュシャらによる、豊かな良き時代を意味する「ベル・エポック」の華やかなポスターが街を彩った。大都市には商品があふれ、バーやキャバレー、オペラや観劇など、多くの人々がモダン・ライフを満喫した。芸術の中心地・パリには、才能ある若者が世界中から集まり、これらの商品、興行、旅行を宣伝するため、ポスター・デザインも発展した。</p> <p>本展では、京都工芸繊維大学美術工芸資料館が所蔵するポスターコレクションより、近代ポスターの創成期から、アール・ヌーヴォー、アール・デコの作品を中心に約110点を紹介し、時代の息づかいを伝えるポスター芸術の歩みをたどる。</p>	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	19,189	342.6
主な展覧会評等	<ul style="list-style-type: none"> ・「良き時代のパリ、ポスター文化」(タウンニュース 横須賀版・2022年5月6日号) ・「あそびにきませんか、スタジオヘ」(FMブルー湘南・5月19日) 	
印刷物	図録	
	内容	総論 近代ポスターのはじまり 解説「近代ポスターのはじまり—シェレそしてロートレック」 パリのモダン・ライフ 解説「パリのモダン・ライフ」 ベル・エポックの夜 解説「ベル・エポックの時代」 眼差しの時代 解説「眼差しの時代—博覧会とメディア」 戦争とポスター 解説「戦争とポスター」
	版型/ページ数	A6/280ページ
	価格(税込)	1,650円
	製作	編著者:平芳幸浩(京都工芸繊維大学美術工芸資料館准教授) 監修者:京都工芸繊維大学美術工芸資料館 発行所:株式会社 青幻舎
	その他	
	ポスター	B2判 900枚/B1判 100枚/A3判 630枚
	チラシ	A4判 45,000枚
	チケット	一般 8,000枚/高大生・65歳以上 4,000枚/無料 8,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



印刷物



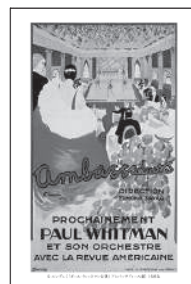
B1・B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



DM



A3ポスター



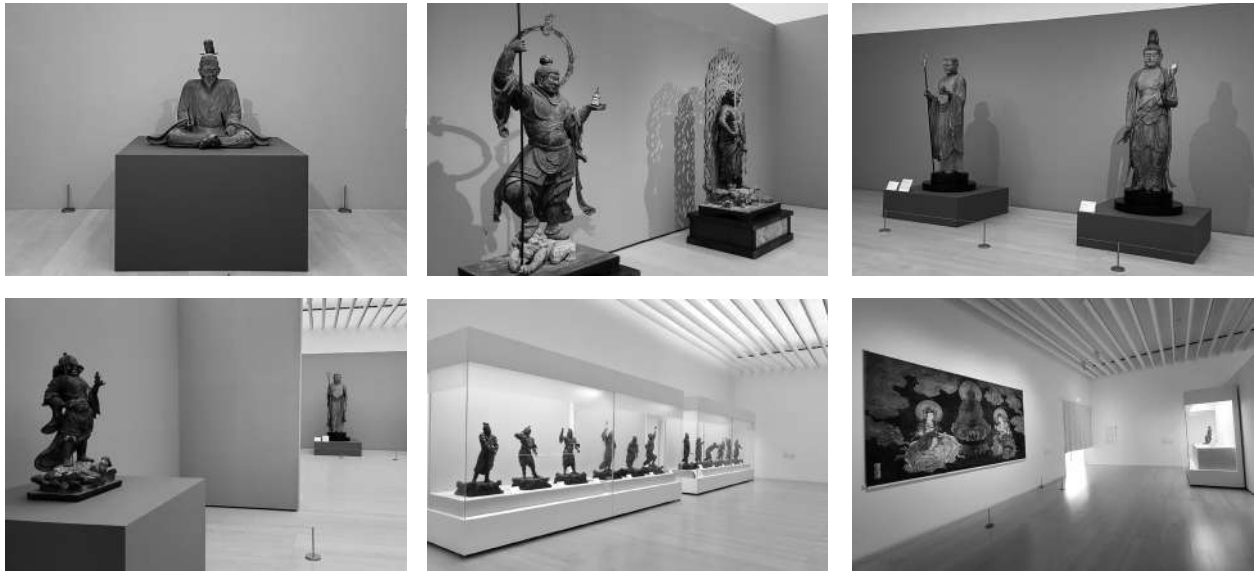
チケット

展覧会名

開館15周年記念 800年遠忌記念特別展
「運慶－鎌倉幕府と三浦一族」

会期	2022年7月6日(水)～9月4日(日) 開催日数60日間(休館日を除く)	
休館日	8月1日(月)	
観覧料	一般1,000円/高大生・65歳以上800円	
主催	横須賀美術館	
後援	横須賀市教育委員会	
協力	横須賀市立中央図書館、横須賀市自然・人文博物館	
協賛	一般財団法人シティサポートよこすか	
巡回館	神奈川県立金沢文庫	
事業概要	国指定重要文化財17軀を含む、鎌倉時代の仏像等20余点を中心に、おもに市内に伝わる三浦一族や鎌倉幕府ゆかりの文化財約50点を展示する。特に、市内に残る貴重な運慶作の仏像を焦点とし、三浦一族と仏像、仏教のかかわりを軸に、三浦半島の歴史と文化に新たな光を当てることを目指す。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	50,012	833.5
主な展覧会評等	<ul style="list-style-type: none"> ・「横須賀ゆかりの運慶像一堂に 特別展に50点 三浦半島とのかかわりに焦点」(朝日新聞湘南版・7月7日) ・大西若人「2体の仏像 やはり運慶作?」(朝日新聞文化面・7月31日) ・「鎌倉殿の2菩薩 頼朝の命で運慶が製作か 横須賀「満願寺」所蔵重文」(読売新聞文化面・8月23日) ・「運慶ゆかりの仏像ずらり 横須賀美術館で特別展 三浦一族とのかかわり紹介」(東京新聞・9月1日) ・「特集 運慶と鎌倉殿の仏師たち」(『芸術新潮』2022年7月号) ・「NHK 首都圏ネットワーク」(NHK・7月5日) ・「日曜美術館アートシーン」(NHK Eテレ・7月24日) ・「ぶらぶら美術・博物館」(BS日テレ・8月9日) ・「ニコニコ美術館」(ニコニコ動画・7月19日) 	
印刷物	図録	
	内容	<p>ごあいさつ 総論 運慶－鎌倉幕府と三浦一族 (瀬谷貴之) 第1章 運慶以前－東国武士と三浦一族の信仰 第2章 運慶と三浦一族 コラム「運慶」入門 (富田康子) 第3章 運慶と鎌倉幕府 第4章 運慶と三浦一族の足跡 コラム 三浦一族の足跡とゆかりの地 (谷合伸介) コラム 三浦一族をめぐる由緒と物語－相模国三浦郡公郷村永嶋家の事例を中心に (藤井明広)</p> <p>三浦一族関連略系図 運慶・三浦一族年表 本展紹介の文化財を所蔵する寺院・神社 主要参考文献 出品目録</p>
	版型/ページ数	B5/144 ページ
	価格(税込)	2,200円
	製作	<p>編者：横須賀美術館、神奈川県立金沢文庫 発行所：吉川弘文館</p>
	その他	
	ポスター	B2判 950枚/B1判 100枚/A3判 630枚/中吊り B3判 900枚/窓上 830枚/能楽公演 B2判 200枚
	チラシ	A4判 110,000枚/能楽公演 A4判 3,000枚/相互割引 A4判 70,000枚
	チケット	一般 27,000枚/高大生・65歳以上 17,000枚/無料 23,000枚
	DMはがき	1,000枚
	パンフレット	仏像鑑賞入門パンフレット/ゆかりの史跡マップ 10,000部
製作	半七写真印刷工業株式会社	

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



運慶展配布物(A3)



運慶展配布物(A3)英語



B3ポスター



運慶展イラストガイド(size小)

会期	2022年9月17日(土)～11月6日(日) 開催日数50日間(休館日を除く)	
休館日	10月3日(月)	
観覧料	一般1,300円/高大生・65歳以上1,100円 ※11月3日(木・祝)は無料観覧日	
主催	横須賀美術館	
特別協力	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団	
協力	株式会社三越伊勢丹ホールディングス	
事業概要	<p>20世紀日本を代表する画家・猪熊弦一郎(1902～1993)は香川県に生まれ、東京美術学校で藤島武二に師事。1934年までは帝展で、1936年に新制作派協会を結成すると以後同展を中心に作品を発表。1938年渡仏し、マティス、ピカソと交流。第二次世界大戦の戦火を逃れて帰国した後はフィリピン、ビルマに派遣され作戦記録画を制作、戦後は三越百貨店の包装紙デザイン(1950年)をはじめ、慶應義塾大学学生ホール(1949年)や上野駅中央コンコース(1951年)の壁画を手がけるなど、社会とのかかわりを強めていった。1955年再渡仏の途上で立ち寄ったニューヨークに魅せられ同地に留まり約20年間制作を続け、1975年からはハワイと東京を拠点に制作するようになった。少年時代を過ごした丸亀市に猪熊弦一郎現代美術館が1991年に開館すると所蔵する全作品を寄贈した。</p> <p>本展は、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館のご協力のもと、代表作とともに壁画やデザインの仕事に関する資料、身近な素材で作ったオブジェなど約100点を展示し、多才な画家の全貌に迫る。</p>	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	50,012	833.5
主な展覧会評等	<ul style="list-style-type: none"> ・「生誕120年 猪熊弦一郎展 香川の元祖・マルチクリエイター 猪熊弦一郎の全貌に迫る」(『Discover Japan』・2022年10月号) ・安藤菜穂子「マティスに学び、ピカソと交流した画家・猪熊弦一郎の全貌に迫る展覧会」(『家庭画報』・2022年11月号) ・「かながわ美の手帖」(産経新聞・10月17日) 	
印刷物	図録	
	内容	<p>ごあいさつ 古野華奈子「猪熊弦一郎の自由」 第1章 初期作品 第2章 パリ時代 第3章 戦中戦後 壁画の仕事《デモクラシー》と《自由》 第4章 ニューヨーク時代 第5章 ハワイ時代 第6章 デザインの仕事 第7章 画家のアトリエ 日野原清水「《三人の娘》に描かれたイームズチェアについて」 猪熊弦一郎年譜 猪熊弦一郎文献目録抄 出品作品リスト</p>
	版型/ページ数	B5/144ページ
	価格(税込)	2,200円
	製作	<p>発行：横須賀美術館 編集：日野原清水(横須賀美術館) 翻訳：小川紀久子 印刷：ニューカラー写真印刷株式会社</p>
	その他	
	ポスター	B2判 900枚/B1判 100枚/A3判 630枚
	チラシ	A4判 40,000枚
	チケット	一般 10,000枚/高大生・65歳以上 5,000枚/無料 10,000枚
	DMハガキ	1,000枚
	作品目録	1,000部
製作	ニューカラー写真印刷株式会社	

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



DMハガキ(表)



DMハガキ(裏)



A3ポスター



チケット

会期	2022年11月19日(土)～12月25日(日) 開催日数36日間(休館日を除く)		
休館日	12月6日(月)		
観覧料	一般1100円/高大・65歳以上900円		
主催	横須賀美術館		
特別協力	東洋エンタープライズ株式会社		
協力	ドブ板通り商店街振興組合		
企画協力	ドブ板スカジャン研究会		
事業概要	横須賀を代表するアイテムである「スカジャン」が持つ多彩な魅力を、テラー東洋(東洋エンタープライズ株式会社)が所蔵するヴィンテージ・スカジャン約140点を中心に、戦後の横須賀の歴史・文化に関する写真資料や、横振り刺繍作家の作品紹介をあわせて紹介。あわせて、スカジャン研究家を招いてのトークショーや、ヴィンテージ・スカジャンに用いられている横振り刺繍の実演を行うワークショップを開催。また、スカジャンと同じく戦後、アメリカ文化の影響を受けて醸成した「横須賀のジャズ」をテーマとした野外ジャズコンサートを開催した。		
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)	
	16,692	463.6	
主な展覧会評等	<ul style="list-style-type: none"> ・「戦後スカジャン大集結」(毎日新聞・11月19日) ・「奥深い魅力を紹介 スカジャン展」(神奈川新聞・12月4日) ・「スカジャン物がたり」(『芸術新潮』2023年1月号) ・「横須賀美術館でスカジャン展」(NHK首都圏版ニュース・12月11日) 		
印刷物	図録		
	内容	<p>松山達朗「日本で生まれた唯一の洋服『スカジャン』」</p> <p>第1章 SOUVENIR OF JAPAN ドブ板通り/E.M.クラブ/スーベニア/陶器店/初期の米兵向け土産物/オリエンタルアーケード/沖縄のスーベニア/肖像画店/刺繍店/米兵のカスタムカルチャー/横須賀の記憶/クッションカバー/デッドストック スカジャン</p> <p>第2章 ヴィンテージ・スカジャンの世界 ヴィンテージ・スカジャンの基本仕様/龍/鷲/虎/日本地図/日本の風景/海外の図案/ミリタリー/キッズ/ハンドプリント/カスタムオーダー&レア/テラー東洋(東洋エンタープライズ株式会社)/刺繍型</p> <p>映画「豚と軍艦」 スカジャンの街として ドブ板通りの取り組み</p> <p>第3章 スカジャンの現在 クロムハーツ/コムデギャルソン/ディオール/テラー東洋/大澤紀代美/nuico's Doll STUDIO/田沼千春/OZAKI FUMINA</p> <p>横地広海知「#戦後スーベニアをめぐる旅」 栗林陵「『ドブ板通り』の形成とその変遷」 掲載リスト</p>	
	版型/ページ数	A5変形/144ページ	
	価格(税込)	2,200円	
	製作	<p>発行者:横須賀美術館 編集:栗林陵、富田康子(横須賀美術館) 編集協力:川島尚、安斎凌(東洋エンタープライズ株式会社) 印刷:ニューカラー写真印刷株式会社</p>	
	その他		
	ポスター	B2判 1,000枚/B1判 160枚/A3判 800枚/中吊りB3判 2,550枚	
	チラシ	A4判 47,000枚	
	イベントチラシ	A4判 1,500枚	
	チケット	一般10,000枚/高大生・65歳以上5,000枚/無料16,000枚/スペシャルバスケット2,000枚	
DMハガキ	5,000枚		
目録	2,000枚		
製作	ニューカラー写真印刷株式会社		

展示風景



印刷物



B1ポスター



B1ポスター (満喫きっぷ)



B2ポスター



B3ポスター



A3ポスター



A4チラシ (表)



A4チラシ (裏)



チケット



スペシャルバスチケット表



スペシャルバスチケット裏

会 期	2023年1月12日(木)～1月30日(月) 開催日数19日間	
休館日	なし	
観覧料	無料	
主 催	横須賀市教育委員会・横須賀美術館・横須賀市造形教育研究会	
事業概要	横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子ども達による作品展。日頃の授業で作り上げた平面作品や立体作品など約3,000点(平面:1,768点、立体:777点、計2,545点)の展示を通して、子ども達の制作意欲や作品への思いを紹介する。 (小学校の立体作品は委託題材から各校が選択し、研究成果を題材別に展示。平面作品は各学校園ごとに展示した)	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	14,613	769.1
印刷物	ポスター	B2判 450枚
	チラシ	A4判 37,800枚
	製作	株式会社千代田プランニング

展示風景



印刷物



B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)

展覧会名

キャラクターデザインの先駆者 土方重巳の世界 ブーフーウーと仲間たち

会期	2023年2月11日(土・祝)～4月9日(日) 開催日数 56日間(休館日を除く)		
休館日	3月6日(月)、4月3日(月)		
観覧料	一般 1,000円/高大生・65歳以上 800円		
主催	横須賀美術館		
企画協力	NPO法人 古き良き文化を継承する会		
特別協賛	佐藤製菓株式会社		
協賛	アサヒビール株式会社、花王株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店、ヤマハ株式会社		
事業概要	<p>多くの優れたキャラクターをデザインした土方重巳(1915-1986)の回顧展。 絵本版『ヤンボウ ニンボウ トンボウ』や、NHKテレビ「おかあさんといっしょ」の人気人形劇「ブーフーウー」、トッパンの人形絵本シリーズなど、子どものための仕事を原画やグッズで紹介する。また、今も愛されている佐藤製菓のキャラクター「サトちゃん」、アサヒビールやミツワ石鹸の人形アニメーションCMなど、企業広告の分野に残した足跡も原画やポスター、映像でたどる。 本展では、上記に加え、土方が戦前戦中に東宝で手がけた名作映画のポスター、戦後フリーのデザイナーとして手がけたパレエやオペラの公演ポスターも多数取り上げる。約600点の原画やグッズなどの展示に加え、約300体のサトちゃんからなるサトちゃんワールドも設け、土方の多彩な仕事をふり返る。</p>		
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)	
	14,048	250.8	
主な展覧会評等	<ul style="list-style-type: none"> ・芳垣文子「神奈川アート探訪 名キャラたち 誕生の瞬間」(朝日新聞神奈川版・2月3日) ・山元信之「人気者「サトちゃん」集結 人形300体、原画やグッズも」(神奈川新聞・2月18日) ・山田真美子「キャラクターデザインの先駆者 土方重巳の世界 ブーフーウーと仲間たち」(『anan』・2月22日号) ・清川仁「イマ推しっ!キャラクターデザインの先駆者—土方重巳の世界展」(読売新聞・2月22日) ・砂上麻子「土方重巳のデザイン世界 佐藤製菓「サトちゃん」生みの親」(東京新聞・3月28日) ・山根総「子供向け大転換 飯沢匡と名コンビ」(産経新聞・3月20日) ・「日曜美術館アートシーン」(NHK Eテレ・2月26日) 		
印刷物	図録 ※2018年に発行された同展覧会の図録に、新たに制作した限定ふろくを付して販売した		
	内容	<p>黒柳徹子「飯沢匡先生と土方重巳先生の思い出」</p> <p>序章 若き日の作品「グラフィックデザイナーへ」 第1章 映画・文化映画・舞台「東宝からフリーのデザイナーへ」 土方重巳「洋画の気軽さ」 文化映画「映画法施行下における文化映画について」(和地由紀子) 下村朝香「グラフィックデザイナーとしての土方重巳」 第2章 雑誌・絵本・人形絵本・グループ展「飯沢匡と名コンビによる、子どもに向けた仕事」 松本育子「土方重巳が手がけた子ども向けの仕事」 第3章 企業広告・CMキャラクター 「企業キャラクター、人形アニメーションCMの開拓者として」 根本隆一郎「飯沢匡と土方重巳」</p> <p>与勇輝「土方重巳先生の思い出」 羽仁進「ウソみたいいな、でも飛んでいくホントウみたいいな、不思議なおもしろさ」</p> <p>土方重巳 略年譜 参考文献</p>	
	版型/ページ数	A4変形/224ページ・展覧会図録限定ふろく B5変形 32ページ	
	価格(税込)	2,200円	
	製作	<p>監修：NPO法人 古き良き文化を継承する会 編集：根本隆一郎(NPO法人 古き良き文化を継承する会) 和田賢一(株式会社 開発社) 執筆：下村朝香(西宮市大谷記念美術館) 松本育子(刈谷市美術館) 和地由紀子(公益財団法人 川喜多記念映画文化財団) 根本隆一郎(NPO法人 古き良き文化を継承する会) 撮影：佐藤寿樹 装幀デザイン：岡本亮治、根本明子 発行所：株式会社 開発社</p>	
	その他	ポスター	チラシ
	B2判 900枚/B1判 150枚 /A3判 630枚	A4判 32,000枚	一般 15,000枚/高大生・65歳以上 10,000枚 無料 12,000枚
	DMはがき	作品目録	製作
	1,100枚	1,000部	半七写真印刷工業株式会社

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



DM



A3ポスター



チケット



会期	2022年4月9日(土)～6月26日(日) 開催日数77日間(休館日を除く)	
休館日	5月9日(月)、6月6日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4:踊る!朝井閑右衛門 展示室5:新収蔵記念:生誕150年 矢崎千代二展 展示室8:特集:小田扉の『横須賀こずえ』展 協力:小学館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	20,300	263.6
印刷物	新収蔵記念:生誕150年 矢崎千代二展	
	チラシ	A4 1,500枚
	特集:小田扉の『横須賀こずえ』展	
	チラシ	A4二つ折り 25,000枚
	DMハガキ	1,000枚
製作	ニューカラー写真印刷株式会社	

チラシ

展示風景



印刷物



横須賀こずえ展チラシ(表)



矢崎展チラシ(表)



横須賀こずえ展チラシ(裏)



矢崎展チラシ(裏)



横須賀こずえ展DM

令和4年第1期所蔵品展 出品目録

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	藤島武二	夢想	1904(明治37)年	油彩・画布	45.7×33.4	
2	赤松麟作	水辺裸婦	制作年不詳	油彩・画布	33.5×45.0	
3	藤島武二	アッシジ風景	1908-09(明治41-42)年頃	油彩・板	23.3×33.0	
4	岸田劉生	木村荘八像	1913(大正2)年	油彩・板	34.0×23.5	
5	木村荘八	畑(雑司が谷)	1913(大正2)年	油彩・画布	61.0×46.3	
6	中川一政	風景(下板橋火薬庫附近)	1919(大正8)年	油彩・画布	41.0×53.3	

■展示室4 朝井閑右衛門記念室 「踊る!朝井閑右衛門」

7	朝井閑右衛門	サーカス	1975(昭和50)年頃	油彩・板	8.3×17.3	
8	朝井閑右衛門	[サーカス]	1976(昭和51)年頃	油彩・板	9.5×26.0	
9	朝井閑右衛門	[サーカス]	1976(昭和51)年頃	油彩・板に紙貼	11.2×26.1	
10	朝井閑右衛門	月とサーカス	1973(昭和48)年頃	油彩・板	16.2×31.8	
11	朝井閑右衛門	浜橋サーカス	1972(昭和47)年頃	油彩・テックスボード	33.2×24.2	
12	朝井閑右衛門	夕月	1973(昭和48)年頃	油彩・板	10.2×23.5	
13	朝井閑右衛門	夕月	1973(昭和48)年	油彩・板	17.9×10.2	
14	朝井閑右衛門	ファンタジア	1975(昭和50)年	油彩・紙	24.6×35.7	
15	朝井閑右衛門	ファンタジアC	1975(昭和50)年	油彩・板	27.3×39.4	
16	朝井閑右衛門	楽土とピエロ	制作年不詳	油彩・厚紙	20.2×13.0	
17	朝井閑右衛門	フィナーレ	制作年不詳	油彩・板	14.8×27.2	
18	朝井閑右衛門	サーカス	1973(昭和48)年	油彩・板に紙貼	23.7×15.9	
19	朝井閑右衛門	仮面	1934(昭和9)年頃	油彩・画布	38.0×45.5	
20	朝井閑右衛門	道成寺	1961(昭和36)年	油彩・紙	38.0×45.8	
21	朝井閑右衛門	蓬莱	1953(昭和28)年頃	油彩・板貼	44.7×20.7	
22	朝井閑右衛門	蓬莱	1953(昭和28)年頃	油彩・板に紙貼	39.5×27.2	
23	朝井閑右衛門	蓬莱	1953(昭和28)年頃	油彩・板に紙貼	29.2×41.5	
24	朝井閑右衛門	蓬莱	1953(昭和28)年頃	油彩・厚紙	33.5×40.2	
25	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	制作年不詳	油彩・板	16.5×11.0	
26	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	制作年不詳	油彩・板	14.8×20.5	
27	朝井閑右衛門	ドン・キホーテの没落	1954(昭和29)年	油彩・画布	91.4×56.0	
28	朝井閑右衛門	キュービッド	1957(昭和32)年	油彩・画布	45.3×27.3	
29	朝井閑右衛門	パンB	1963(昭和38)年	油彩・板	45.8×37.8	
30	朝井閑右衛門	ロミオとジュリエット	1972(昭和47)年頃	油彩・板	36.8×23.2	
31	朝井閑右衛門	ロミオとジュリエット	1972(昭和47)年頃	油彩・板	41.0×27.5	
32	朝井閑右衛門	序曲	1963(昭和39)年	油彩・画布	38.5×28.4	
33	朝井閑右衛門	よっぱらい	1947(昭和22)年頃	油彩・画布	33.1×24.2	
34	国吉康雄	毛皮の女	1930(昭和5)年	油彩・画布	71.5×64.3	
35	伊藤久三郎	無題	1933(昭和8)年	油彩・画布	72.7×90.9	
36	伊藤久三郎	花	1935(昭和10)年	油彩・画布	115.6×90.9	
37	飯田操朗	作品五	1936(昭和11)年	油彩・画布	45.5×53.2	
38	鳥海青児	道化	1939(昭和14)年頃	油彩・ボード	40.4×31.5	
39	青山義雄	廃墟	1923(大正12)年	油彩・画布	90.9×116.7	
40	松本竣介	お濠端	1940(昭和15)年	油彩・画布	65.0×90.0	
41	梅原龍三郎	モレー	1911(明治44)年	油彩・画布	60.5×73.7	
42	藤田嗣治	ル・アーブルの港	1917(大正6)年	油彩・画布	45.8×60.9	
43	里見勝蔵	オーヴェルの雪	1924(大正13)年頃	油彩・画布	33.3×45.5	
44	海老原喜之助	海と船	1927(昭和2)年	油彩・画布	45.0×60.0	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	---------	----

■展示室5 新収蔵記念:生誕150年 矢崎千代二展

45	矢崎千代二	秋の園	1900(明治33)年	油彩・画布	81.3×60.8	
46	矢崎千代二	少女像	制作年不詳	油彩・画布	34.5×22.0	
47	矢崎千代二	風景〔温泉場の裏〕	1914(大正3)年	パステル・紙	45.0×33.0	
48	矢崎千代二	上海風景	1918(大正7)年	油彩・画布	33.2×45.2	
49	矢崎千代二	西湖	1919(大正8)年頃	パステル・紙	22.0×30.0	
50	矢崎千代二	廬山天地塔	1918(大正7)年頃	パステル・色つき紙	34.0×46.0	
51	矢崎千代二	月光	1920(大正9)年	パステル・紙	33.5×44.5	
52	矢崎千代二	タジマハール	1920(大正9)年	パステル・紙	33.5×44.5	
53	矢崎千代二	ガンヂス河の夏祭り	制作年不詳	油彩・画布	31.8×41.0	
54	矢崎千代二	ヒマラヤ	1920(大正9)年頃	パステル・紙	45.0×32.0	
55	矢崎千代二	ヒマラヤ	1921(大正10)年頃	パステル・紙	33.3×45.6	
56	矢崎千代二	ヤンゴン風景(スーレー・パゴダ)	1921(大正10)年	パステル・紙	33.0×24.0	
57	矢崎千代二	香港2	1922(大正11)年	パステル・紙	23.5×33.0	
58	矢崎千代二	南洋の夕雲(シンガポール海岸)	1922(大正11)年	パステル・紙	23.5×32.5	
59	矢崎千代二	ヴェニス	1923(大正12)年	パステル・紙	55.0×77.0	
60	矢崎千代二	夜のテヴェレ川	1923(大正12)年	パステル・紙	33.4×24.3	
61	矢崎千代二	夜のコロセオ	1923(大正12)年	パステル・紙	24.3×32.8	
62	矢崎千代二	ロンドンブリッジ	1924(大正13)年	パステル・紙	76.0×56.0	
63	矢崎千代二	都会の夕ぐれ	1926(大正15)年	パステル・紙	71.0×51.0	
64	矢崎千代二	シンガポール風景	1926(大正15)年	テンペラ・綿布	56.5×74.5	
65	矢崎千代二	バタビア	1934(昭和9)年	パステル・紙	33.2×24.1	
66	矢崎千代二	近江比良の冬	1935(昭和10)年頃	パステル・紙	23.5×32.5	
67	矢崎千代二	別府・観海寺温泉	1935(昭和10)年	パステル・色つき紙	32.3×44.0	
68	矢崎千代二	宮島	1935(昭和10)年	パステル・紙	44.4×32.5	
69	矢崎千代二	焼岳	1938(昭和13)年	パステル・色つき紙	32.5×23.5	
70	矢崎千代二	阿蘇の噴煙	制作年不詳	パステル・紙	33.1×24.0	
71	矢崎千代二	阿蘇山	制作年不詳	パステル・紙	33.0×24.4	
72	矢崎千代二	ハルビン風景	1938(昭和13)年	パステル・紙	73.0×53.0	
73	矢崎千代二	海岸(金州龍王廟)	1938(昭和13)年	パステル・紙	32.8×45.2	

74	中川紀元	カフェ	1920(大正9)年	油彩・画布	115.7×80.0	
75	佐伯祐三	窓のある建物(パリ風景)	1925(大正14)年	油彩・画布	65.2×80.3	
76	高崎剛	サーカス	1929(昭和4)年	油彩・画布	116.0×89.0	
77	金山康喜	静物(コーヒーミルのある静物)	1957(昭和32)年	油彩・画布	80.5×100.3	

■展示室6・7 漂えど沈まず 嶋田しづ

78	嶋田しづ	エーゲ海のノスタルジー	1973(昭和48)年	リトグラフ・紙	54.0×74.0	
79	嶋田しづ	リズムカルなティポグラフィ	1974(昭和49)年	リトグラフ・紙	72.0×56.0	
80	嶋田しづ	海洋に通ずる路線	1973(昭和48)年	リトグラフ・紙	51.0×65.0	
81	嶋田しづ	砂丘の夢	1974(昭和49)年	リトグラフ・紙	51.0×65.0	
82	嶋田しづ	時のまがりかど	1974(昭和49)年	リトグラフ・紙	65.0×51.0	
83	嶋田しづ	プロバンスの峰-マシイフノアただよう雲片	1974(昭和49)年	リトグラフ・紙	51.0×65.0	
84	嶋田しづ	明日は出発	1973(昭和48)年	リトグラフ・紙	51.0×65.0	
85	嶋田しづ	真夏の太陽と緑の風車	1993(平成5)年	リトグラフ・紙	63.0×45.5	
86	嶋田しづ	あまかけるーピレネイの想い出	1993(平成5)年	リトグラフ・紙	63.0×45.5	
87	嶋田しづ	糸杉の精よ!	1993(平成5)年	リトグラフ・紙	63.0×45.5	
88	嶋田しづ	空中遊泳	1996(平成8)年	リトグラフ・紙	38.5×30.0	
89	嶋田しづ	陽気なドメーヌ	2000(平成12)年	リトグラフ・紙	73.5×55.5	
90	嶋田しづ	ラ・ヴィ・コティディエンヌa	1995(平成7)年	リトグラフ・紙	68.5×50.0	

91	山口薫	水と畑と残雪	1952(昭和27)年	油彩・画布	80.2×99.8	
92	巖嘯	クレーンと人	1954(昭和29)年	油彩・板	77.3×92.0	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
93	野見山暁治	工事場	1954(昭和29)年	油彩・画布	80.7×102.5
94	島田章三	窓の外は浦賀水道	2000(平成12)年	油彩・画布	90.9×116.7
95	島田章三	林の中	2002(平成14)年	油彩・画布	162.0×194.0
96	川端実	リズム 茶	1958(昭和33)年	油彩・画布	131.0×193.5
97	白髪一雄	天敗屋活閻羅	1960(昭和35)年	油彩・画布	182.0×272.3
98	菅井汲	ナショナル・ルート 6	1965(昭和40)年	油彩・画布	235.0×194.0
99	加納光於	繁み・運動・エレメントーG	1988(昭和63)年	油彩・画布	227.0×162.0
100	芥川(間所)紗織	スフィンクス	1964(昭和39)年	油彩・画布	130.3×162.0
101	糸園和三郎	古い壁	1960(昭和35)年	油彩・画布	145.3×112.7
102	村井正誠	四人	1972(昭和47)年	油彩・画布	162.2×130.6
103	山口長男	かたち(青春)	1957(昭和32)年	油彩・合板	162.0×130.0
104	脇田和	鳩と静物	1966(昭和41)年	油彩・画布	116.5×91.2
105	最上壽之	アサキユメミシ	1988(昭和63)年	松	255.0×295.0×255.0
106	淀井彩子	土地の名・土地の色・土地の時間2	1997(平成9)年	油彩・画布	194.0×162.0

展示室8 特集:小田扉の『横須賀こずえ』展

107	小田扉	『横須賀こずえ』第1巻 表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	29.2×20.5
108	小田扉	『横須賀こずえ』第1巻 裏表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	29.0×20.0
109	小田扉	『横須賀こずえ』第2巻 裏表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	29.0×20.0
110	小田扉	『横須賀こずえ』第2巻 表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	28.0×19.0
111	小田扉	『横須賀こずえ』第2巻 表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	24.0×20.6
112	小田扉	『横須賀こずえ』第3巻 表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	29.0×20.6
113	小田扉	『横須賀こずえ』第3巻 裏表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	28.0×19.5
114	小田扉	『横須賀こずえ』第4巻 裏表紙絵原画	2021(令和3)年	水彩・紙	28.0×19.5
115	小田扉	『横須賀こずえ』第4巻 表紙絵原画	2021(令和3)年	水彩・紙	28.0×19.6
116	小田扉	『横須賀こずえ』第4巻 表紙絵原画	2021(令和3)年	水彩・紙	27.5×20.5
117	小田扉	『横須賀こずえ』第1匹「彼女の名前はこずえ」カラー原稿	2019(令和元)年	水彩・紙	40.0×26.0
118	小田扉	『横須賀こずえ』第1匹「彼女の名前はこずえ」カラー原稿	2019(令和元)年	水彩・紙	29.2×41.4
119	小田扉	『横須賀こずえ』第5匹「こずえ、そのしるしは」カラー原稿	2019(令和元)年	水彩・紙	29.2×20.5
120	小田扉	『横須賀こずえ』第5匹「こずえ、そのしるしは」カラー原稿	2019(令和元)年	水彩・紙	36.3×20.6
121	小田扉	『横須賀こずえ』第3匹「こずえ、そのネタ元は」カラー原稿	2020(令和2)年	水彩・紙	29.4×20.7
122	小田扉	『横須賀こずえ』第3匹「こずえ、そのネタ元は」カラー原稿	2020(令和2)年	水彩・紙	37.0×26.5
123	小田扉	『横須賀こずえ』第4匹「こずえ、その天然酵母は」カラー原稿	2021(令和3)年	水彩・紙	29.3×20.6
124	小田扉	『横須賀こずえ』第4匹「こずえ、その天然酵母は」カラー原稿	2021(令和3)年	水彩・紙	35.2×25.5
125	小田扉	「こずえ」×「ともお」カラー原画	2019(令和元)年	水彩・紙	28.0×20.0
126	小田扉	著者近影	2021(令和3)年	水彩・紙	18.0×12.0
127	小田扉	『男ロワイヤル』表紙絵原画	2004(平成16)年	水彩・厚紙	26.0×26.0
128	小田扉	『男ロワイヤル』裏表紙絵原画	2004(平成16)年	水彩・厚紙	26.0×18.0
129	小田扉	『新日ファンタジー』第1巻表紙絵原画	2017(平成19)年	水彩・紙	29.5×21.0
130	小田扉	『新日ファンタジー』第2巻表紙絵原画	2020(令和2)年	水彩・紙	29.5×21.0
131	小田扉	本展 描き下しマンガ「男ロワイヤル 横須賀編」 「第一斗 真ヴェルニー像を追い」	2022(令和4)年		
132	小田扉	本展 描き下しマンガ「男ロワイヤル 横須賀編」 「第二斗 平作川の鯉」	2022(令和4)年		
133	中川久	Q-04-11-A(けはい)	2004(平成16)年	アクリル・和紙・綿布	201.0×320.0
134	滝波重人	汽水域 07-P-12 舵を切る、青の方へ	2007(平成19)年	油彩・テンペラ・画布	227.0×364.0
135	小山利枝子	未知の記憶	2008(平成20)年	アクリル・画布	227.5×437.0

■屋外設置作品

136	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元年)	鉄	305.5×150.0×4586.0
137	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)年	インスタレーション	
138	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)年	インスタレーション	
139	鈴木昭男	点音	2013(平成25)年	インスタレーション	

展覧会名

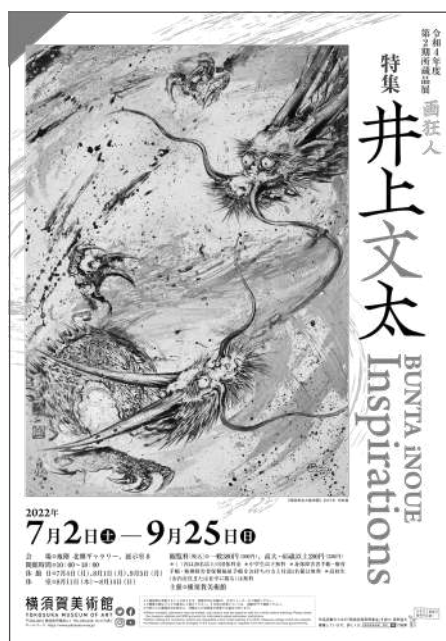
令和4年度 第2期所蔵品展

会期	2022年7月2日(土)～9月25日(日) 開催日数79日間(休館日を除く)	
休館日	7月4日(月)、8月1日(月)、9月5日(月) ※8月11日(木・祝)～14日(日)能楽公演により休室	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門 こだわりの空間 展示室5 街のすがた 展示室8 特集:井上文太 Inspirations	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	36,932	467.4
印刷物	特集:井上文太 Inspirations	
	ポスター	B2 50枚
	チラシ	A4 25,000枚
	DM	300枚
	製作	半七写真印刷工業株式会社

展示風景



印刷物



B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



DM

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	有島生馬	西洋婦人像	1909(明治42)年頃	油彩・画布	40.0×32.0	
2	萬鐵五郎	水辺風景	1911(明治44)年頃	油彩・画布	19.1×27.1	
3	萬鐵五郎	ガス灯	1913(大正2)年頃	油彩・画布	33.1×24.5	
4	中村彝	少女	1913(大正2)年頃	油彩・画布	53.5×45.5	
5	青山義雄	燭台のある静物	1927(昭和2)年	油彩・板	40.9×32.3	
6	南薫造	風景	不詳	油彩・画布	73.0×100.0	

展示室4 朝井閑右衛門室「朝井閑右衛門こだわりの空間」

7	朝井閑右衛門	夏画室	不詳	油彩・画布	80.6×65.2	
8	朝井閑右衛門	秋画室	1949(昭和24)年	油彩・画布	72.3×60.5	
9	朝井閑右衛門	田浦のアトリエ	不詳	水彩、鉛筆・紙	30.3×22.5	
10	朝井閑右衛門	田浦のアトリエ	不詳	水彩・紙	30.2×22.5	
11	朝井閑右衛門	人形使いの肖像	1954(昭和29)年	油彩・画布	116.6×80.5	
12	朝井閑右衛門	人形(A)	1975(昭和50)年	油彩・画布	60.5×72.9	
13	朝井閑右衛門	[フランス人形]	不詳	油彩・画布	60.7×73.0	
14	朝井閑右衛門	人形	不詳	油彩・板	24.3×33.4	
15	朝井閑右衛門	木馬のあるアトリエ	1967(昭和42)年頃	油彩、パステル・画布	53.3×65.3	
16	朝井閑右衛門旧蔵	木馬				個人蔵
17	朝井閑右衛門旧蔵	モデル人形				個人蔵
18	朝井閑右衛門旧蔵	人形				
19	朝井閑右衛門旧蔵	陶磁器				
20	朝井閑右衛門	マジョリカ台鉢	1952(昭和27)年	油彩・画布	53.0×72.8	
21	朝井閑右衛門	ガラス台鉢	1959(昭和34)年	油彩・画布	53.0×72.7	
22	朝井閑右衛門	ガラス台鉢	1948(昭和23)年	油彩・画布	38.1×45.5	
23	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・画布	28.8×34.3	
24	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	18.4×18.7	
25	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・板	15.2×30.3	
26	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	10.5×24.5	
27	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・画布	10.0×22.6	
28	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	17.5×26.0	
29	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・板	16.5×25.2	
30	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・画布	28.0×27.5	
31	朝井閑右衛門	[茶碗]	不詳	油彩・板	10.5×24.2	
32	朝井閑右衛門	薔薇(嘉靖青花唐子紋中壺)〈絶筆〉	1983(昭和58)年	油彩・画布	45.5×53.5	
33	朝井閑右衛門	電線風景	不詳	油彩・画布	46.0×53.0	
34	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)年	油彩・画布	45.4×53.4	
35	朝井閑右衛門	電線風景3	1950(昭和25)年	油彩・画布	38.0×45.5	

36	原勝郎	バスツール通り	1938(昭和13)年	油彩・画布	53.0×65.0	
37	岡鹿之助	魚	1939(昭和14)年	油彩・画布	60.5×72.8	
38	三岸好太郎	金魚	1933(昭和8)年頃	油彩・画布	41.2×32.0	
39	今西中通	裸婦	1938(昭和13)年	油彩・画布	45.2×27.5	
40	阿部金剛	風景	1933(昭和8)年	油彩・画布	46.0×38.0	
41	伊藤久三郎	孔雀	1939(昭和14)年	油彩・画布	90.9×72.7	伊藤喜美子氏寄贈
42	井上長三郎	王朝の森(巴里)	1941(昭和16)年	油彩・画布	131.0×162.0	井上リラ氏寄贈
43	井上長三郎	スエズ	1943(昭和18)年	油彩・画布	60.5×80.0	
44	菅野圭介	夏	1960(昭和35)年	油彩・画布	90.8×73.0	武田光司氏・武田香栄子氏寄贈
45	巖嘯	クレーンと人	1954(昭和29)年	油彩・板	77.3×92.0	
46	川端実	工事	1953(昭和28)年	油彩・画布	130.3×97.4	川端家寄贈

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	---------	----

■展示室5 街のすがた

47	木村利三郎	City10	1968(昭和43)年	シルクスクリーン・紙	51.0×67.5	木村秀夫氏寄贈
48	木村利三郎	City101	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	48.0×64.2	木村秀夫氏寄贈
49	木村利三郎	City108	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	47.5×64.2	木村秀夫氏寄贈
50	木村利三郎	City37	1968(昭和43)年	シルクスクリーン・紙	72.5×57.3	木村秀夫氏寄贈
51	木村利三郎	City95	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	61.8×48.0	木村秀夫氏寄贈
52	木村利三郎	City119	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	63.4×48.0	木村秀夫氏寄贈
53	木村利三郎	City120	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	63.7×47.7	木村秀夫氏寄贈
54	木村利三郎	City103	1969(昭和44)年	シルクスクリーン・紙	63.7×47.9	木村秀夫氏寄贈
55	木村利三郎	City141	1970(昭和45)年	シルクスクリーン・紙	72.5×57.5	木村秀夫氏寄贈
56	木村利三郎	City156B	1974(昭和49)年	シルクスクリーン・紙	57.4×72.4	木村秀夫氏寄贈
57	木村利三郎	MANHATTAN NYC.	不詳	シルクスクリーン・紙	72.6×57.3	木村秀夫氏寄贈
58	木村利三郎	City321	1976(昭和51)年	シルクスクリーン・紙	72.5×57.8	木村秀夫氏寄贈
59	井上悟	いつもの散歩みち B	2009(平成21)年	油彩・画布	130.3×162.0	
60	井上悟	メインストリート	1989(平成元年)	油彩・画布	186.5×232.0	
61	林敬二	開かれた風景	2009(平成21)年	油彩・画布	182.0×227.3	
62	島田章三	横浜落日	1955(昭和30)年	油彩・画布	97.0×130.3	
63	島田章三	港の表情	1987(昭和62)年	油彩・画布	161.8×130.5	

64	元永定正	無題	1963(昭和38)年	エナメル、アクリル絵具・画布	112.0×146.0	
65	堂本尚郎	連続の溶解 # 16	1966(昭和41)年	油彩・画布	114.5×147.5	
66	宮脇愛子	作品	1962(昭和37)年	油彩、大理石粉・合板	90.7×116.8	

■展示室6・7

67	海老塚耕一	水の潜勢	2007(平成19)年	合板	90.0×1140.0×3.0	
68	藤田修	Warehouse	1986(昭和61)年	フォトエッチング、エッチング、アクリル・紙	27.5×50.0	
69	藤田修	Corridor	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクリル・紙	28.5×45.5	
70	藤田修	Corner	1988(昭和63)年	フォトエッチング、エッチング、アクリル・紙	43.0×30.3	
71	藤田修	Rain	1997(平成9)年	フォトエッチング、エッチング、アクリル・紙	104.0×182.5	
72	藤田修	Right	2007(平成19)年	フォトエッチング、フォトポリマーグラデュール	53.0×38.5	
73	藤田修	Story	2008(平成20)年	フォトエッチング、フォトポリマーグラデュール	53.0×38.5	
74	藤田修	Voice	2007(平成19)年	フォトエッチング、フォトポリマーグラデュール	53.0×38.5	

75	石川忠一	DUO(two angels)	1988(昭和63)年	油彩・画布	162.0×194.0	
76	勝呂忠	海に向かって	1987(昭和62)年	油彩・画布	162.2×130.3	
77	嶋田しづ	行進歌・遙かなる大地より	1998(平成10)年	油彩・画布	194.0×162.4	
78	上條陽子	記録'04	2004(平成16)年	顔料・紙	155.2×166.2	
79	川田祐子	雪波	2008-2013(平成20-25)年	ハッチング、アクリルガッシュ・画布	162.0×194.0	寄託作品
80	川端実	門のイメージ 金	1991(平成3)年	アクリル・板	167.6×213.4	松本武氏寄贈
81	岡本健彦	貼交図	1992(平成4)年	ミクストメディア	199.0×162.0	
82	堀浩哉	ローマで鳥を見た1	1991(平成3)年	墨、アクリル、岩絵具、和紙・画布	227.3×361.8	
83	滝波重人	UNTITLED 95-P-5	1995(平成7)年	油彩、テンペラ・画布	250.0×137.0	
84	滝波重人	UNTITLED 95-P-2	1995(平成7)年	油彩、テンペラ・画布	250.0×137.0	

■特集:井上文太 Inspirations

1	井上文太	Mother - Ocean - 2018	2018(平成30)年	墨・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	107.0×197.0	作家蔵
2	井上文太	Mother - Forest - 2018	2018(平成30)年	墨・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	107.0×197.0	作家蔵
3	井上文太	Mother - Flower - 2018	2018(平成30)年	墨・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	107.0×197.0	作家蔵

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
4	井上文太	天駆黄金龍神図 生きてさえいればそれでいい	2022(令和4)年	アクリル、金泥・キャンバス	116.7×363.5	作家蔵
5	井上文太	開国黄金大龍神圖	2021(令和3)年	アクリル・キャンバス	91.0×65.2	作家蔵
6	井上文太	黄金ノ八咫鳥 生命アルもの好ノ愛	2022(令和4)年	アクリル、墨・キャンバス	116.7×80.3	作家蔵
7	井上文太	黄金ノ八咫鳥 生命アルもの好ノ愛	2022(令和4)年	アクリル、墨・キャンバス	116.7×80.3	作家蔵

■展示室8

8	井上文太	光の泡	2017(平成29)年	油彩・キャンバス	145.5×112.0	作家蔵
9	井上文太	最初の光	2020(令和2)年	油彩・キャンバス	118.5×301.5	作家蔵
10	井上文太	生命アルもの好ノ愛	2020(令和2)・22(令和4)年	アクリル・キャンバス	—	作家蔵
11	井上文太	生命アルもの好ノ愛	2022(令和4)年	墨・色紙	27.2×24.2	作家蔵
12	墨蹟:建仁寺小堀泰 巖老大師 絵:井上文太	みんななかよしこよし	2022(令和4)年	墨・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	90.0×90.0	作家蔵
13	井上文太	NHK人形活劇「新・三銃士」ポスター原画 One for All All for One	2009(平成21)年	アクリル・キャンバス	102.5×72.5	作家蔵
14	井上文太	NHK人形活劇「新・三銃士」ポスター原画 One for All All for One	2009(平成21)年	アクリル・キャンバス	129.5×97.5	作家蔵
15	井上文太	NHK人形劇「シャーロック ホームズ」 シャーロック ホームズ開国 ホームズ Ver.	2022(令和4)年	ミクストメディア	高さ65.0	作家蔵
16	井上文太	NHK人形劇「シャーロック ホームズ」 デザイン画(オープニング画)	2014(平成26)年	アクリル・紙	47.3×37.0	作家蔵
17	井上文太	NHK人形活劇「新・三銃士」 ハロウィンの新作 枢機卿リシュルー	2020(令和2)年	アクリル・画用紙	44.0×36.5	作家蔵
18	井上文太	NHK人形活劇「新・三銃士」 ハロウィンの新作 新・三銃士 ボルトス	2020(令和2)年	アクリル・画用紙	44.0×36.5	作家蔵
19	井上文太	NHK人形劇「シャーロック ホームズ」 愉快な4人組の冒険前編・後編 ～「四つの署名より」～	2014(平成26)年	アクリル・紙	32.0×45.5	作家蔵
20	井上文太	NHK人形劇「シャーロック ホームズ」 まだらの紐の冒険 ～「這う男」より～	2014(平成26)年	アクリル・紙	32.0×45.5	作家蔵
21	井上文太	仏画 八方睨み国指定重要文化財 運慶作阿弥陀如来像坐像:浄楽寺	2022(令和4)年	アクリル、金泥・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	215.0×177.0	作家蔵
22	井上文太	仏画 八方睨み国指定重要文化財 運慶作観音菩薩立像:浄楽寺	2022(令和4)年	アクリル、金泥・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	215.0×88.5	作家蔵 7月5日より展示
23	井上文太	仏画 八方睨み国指定重要文化財 運慶作勢至菩薩立像:浄楽寺	2022(令和4)年	アクリル、金泥・越前手漉き和紙 「神郷紙」(岩野平三郎作)	215.0×88.5	作家蔵 7月5日より展示
24	井上文太	波と光横須賀美術館 能「七騎落」舞台背景作品	2022(令和4)年	油彩・キャンバス	227.3×363.6	作家蔵
25	井上文太	おひさまはいつもみんなを照らしている	2022(令和4)年	アクリル・キャンバス	181.8×259.0	作家蔵
26	井上文太	勢龍神図	2020(令和2)年	墨・手漉き和紙	118.5×301.5	作家蔵
27	井上文太	猿島縁起	2022(令和4)年	アクリル・キャンバス	99.9×33.3	作家蔵
28	井上文太	武者絵「SAMURAI HEROES」 馬九行駆	2022(令和4)年	墨・キャンバス	各30.0×30.3	作家蔵
29	井上文太	「横須賀ゆかりの歴史上の人物」挿絵	2020(令和2)年	アクリル・画用紙	各14.0×21.5	作家蔵
30	器: 細川護光 絵: 井上文太	Inspiration & Carpe Diem	2022(令和4)年	陶器	直径21.0	作家蔵
31	器: 細川護光 絵: 井上文太	Inspiration's Owl	2022(令和4)年	陶器	37.0×35.0	作家蔵
32	井上文太	NHK人形劇「シャーロック ホームズ」 シャーロック ホームズ三浦一族 Ver.	2022(令和4)年	ミクストメディア	高さ79.0	作家蔵

展覧会名

令和4年度 第3期所蔵品展

会 期	2022年10月1日(土)～12月25日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休館日	10月3日(月)、11月7日(月)、12月5日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※無料観覧日:11月3日	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 人物像—仮面の奥の表情 展示室5 朝井閑右衛門室 物語る風景 展示室6、7、8 特集:つながるおもい—近年の寄贈作品から ※開館15周年を機に、開館以降に寄贈された作品の中から主要な41点を展示。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	18,239	219.7

展示風景



令和4年第3期所蔵品展 出品目録

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	備考
1	藤島武二	アッシジ風景	1908-09(明治41-42)年頃	油彩・板	23.3×33.0	
2	萬鐵五郎	水辺風景	1911(明治44)年頃	油彩・画布	19.1×27.1	
3	萬鐵五郎	ガス灯	1913(大正2)年頃	油彩・画布	33.1×24.5	
4	中村彝	落合のアトリエ	1916(大正5)年	油彩・キャンバスボード	25.8×15.6	
5	木村荘八	畑(雑司が谷)	1913(大正2)年	油彩・画布	61.0×46.3	
6	矢崎千代二	上海風景	1918(大正7)年	油彩・画布	33.2×45.2	

■展示室4 人物像一仮面の奥の表情

7	原撫松	男二人	1907-08(明治40-41)年頃	油彩・画布	37.9×50.7	
8	中村彝	少女	1913(大正2)年頃	油彩・画布	53.5×45.5	
9	岸田劉生	木村荘八像	1913(大正2)年	油彩・板	34.0×23.5	
10	藤島武二	夢想	1904(明治37)年	油彩・画布	45.7×33.4	
11	橋本雅邦	雷神図	1903(明治36)年頃	絹本着色	168×84.2	
12	今村紫紅	黄石公・張良	1911(明治44)年	絹本着色	双幅:各130.3×56.2	
13	川端龍子	自画像(草露行)	1920(大正9)年	絹本着色	141.3×85.3	
14	伊東深水	祇王寺の秋	1960(昭和35)年	紙本着色	153.6×111.2	
15	伊東深水	祇王寺の秋 下絵	1960(昭和35)年	鉛筆・紙	37.5×28.5	
16	守屋多々志	ペリー浦賀来航	1994(平成6)年	紙本着色	145.7×72.9	
17	前田寛治	麦わら帽の子	1920(大正9)年頃	油彩・板	23.8×33.2	
18	中川紀元	カフェ	1920(大正9)年	油彩・画布	115.7×80.0	
19	村山槐多	のらくら者	1916(大正5)年	木炭、コンテ・紙	76.5×57.5	
20	長谷川利行	女	1937(昭和12)年頃	油彩・画布	53.1×34.0	
21	国吉康雄	毛皮の女	1930(昭和5)年	油彩・画布	71.5×64.3	
22	林武	うつむく女	1953(昭和28)年頃	油彩・画布	80.0×64.7	
23	中西利雄	人物(和服の婦人)	1937(昭和12)年	水彩・画布	115.3×89.6	
24	島田章三	ノイローゼ	1957(昭和32)年	油彩・合板	162.1×90.0	
25	池田龍雄	仮面	1959(昭和34)年	インク、水彩、油彩他・紙	37.0×26.5	
26	川端実	犬の埋葬	1951(昭和26)年	油彩・画布	130.0×97.0	
27	野見山暁治	室内の人	1959(昭和34)年	油彩・画布	100.0×73.3	
28	柳原義達	バルザックのモデルたりし男	1957(昭和32)年	ブロンズ	42.5×22.8×28.4	
29	鹿子木孟郎	潮の岬焼景	1924(大正13)年頃	油彩・画布	100.0×136.0	
30	青山義雄	ドーヴィル海岸	1924(大正13)年	油彩・画布	32.0×41.0	
31	佐伯祐三	窓のある建物(パリ風景)	1925(大正14)年	油彩・画布	65.2×80.3	
32	原勝郎	パスツール通り	1938(昭和13)年	油彩・画布	53.0×65.0	
33	高崎剛	サーカス	1929(昭和4)年	油彩・画布	116.0×89.0	
34	三岸好太郎	金魚	1933(昭和8)年頃	油彩・画布	41.2×32.0	
35	山崎省三	海珠橋	1938(昭和13)年	油彩・板	24.3×33.4	
36	須田国太郎	河原	1939(昭和14)年	油彩・画布	130.0×162.0	
37	阿部金剛	風景	1933(昭和8)年	油彩・画布	46.0×38.0	
38	飯田操朗	作品五	1936(昭和11)年	油彩・画布	45.5×53.2	
39	伊藤久三郎	窓辺	1931(昭和5)年	油彩・画布	72.8×90.2	
40	鬚光	グラジオラス	1942(昭和17)年頃	油彩・板	33.1×23.7	
41	朝井閑右衛門	薔薇(嘉靖青花唐子紋中壺)〈絶筆〉	1983(昭和58)年	油彩・画布	45.5×53.5	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
-----	-----	-----	-----	-------	---------

展示室5 朝井閑右衛門室 物語る風景

42	朝井閑右衛門	小田原風景	1930(昭和5)年頃	油彩・ブリキ	31.8×39.4
43	朝井閑右衛門	積藁のある風景	1928(昭和3)年頃	油彩・板	30.2×45.7
44	朝井閑右衛門	水車のある風景	1930(昭和5)年頃	油彩・厚紙	27.8×44.7
45	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)年頃	油彩・板に画布	27.5×22.3
46	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)年頃	油彩・画布	26.5×33.5
47	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1936-37(昭和11-12)年頃	油彩・画布	22.8×27.5
48	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)年頃	油彩・画布	22.4×27.5
49	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1936-37(昭和11-12)年頃	油彩・画布	22.4×27.5
50	朝井閑右衛門	三十間堀雪景	1935(昭和10)年頃	油彩・板に厚紙	46.0×38.0
51	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)年頃	油彩・板に画布	32.0×41.2
52	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1936(昭和11)年頃	油彩・画布	38.1×45.5
53	朝井閑右衛門	東京十二景の内	不詳	油彩・板に画布	36.0×44.8
54	朝井閑右衛門	猫の木のある交番	1947(昭和22)年頃	油彩・画布	45.4×53.0
55	朝井閑右衛門	猫の木のある風景	1947(昭和22)年頃	油彩・キャンバスボード	24.1×33.2
56	朝井閑右衛門	小港	1947(昭和22)年	油彩・ボード	33.3×45.8
57	朝井閑右衛門	街頭	1951(昭和26)年	油彩・画布	72.3×90.2
58	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)年	油彩・画布	45.4×53.4
59	朝井閑右衛門	電線風景(トンネル)	1952(昭和27)年頃	油彩・画布	45.8×53.1
60	朝井閑右衛門	電線風景	1951(昭和26)年頃	油彩・画布	31.5×40.5
61	朝井閑右衛門	マーケット横	1951(昭和26)年	油彩・画布	60.7×80.5
62	朝井閑右衛門	やけ跡	1952(昭和27)年	油彩・画布	116.6×90.9
63	朝井閑右衛門	紅葉水車	1959(昭和34)年	油彩・画布	57.0×80.7

64	菅野圭介	ピレネー	不詳	油彩・画布	60.6×72.4
65	山田正亮	Still Life No.43	1952(昭和27)年	油彩・画布	91.0×116.5
66	野見山暁治	工事場	1954(昭和29)年	油彩・画布	80.7×102.5
67	植松眞治	イタリー旅行記	1976(昭和51)年	油彩・画布	110.0×100.0

特集:つながるおもい—近年の寄贈作品から

■展示室6・7

68	梅原龍三郎	[風景]	1909(明治42)年頃	油彩・画布	24.0×27.5
69	梅原龍三郎	モレー	1911(明治44)年	油彩・画布	60.5×73.7
70	梅原龍三郎	静浦風景	1928(昭和3)年	油彩・画布	25.0×40.1
71	山崎省三	布良風景	1920(大正9)年	油彩・画布	45.5×53.0
72	山崎省三	村童(少年)	1922(大正11)年	油彩・画布	45.5×37.9
73	菅野圭介	ハイデルベルク追想	1955(昭和30)年頃	油彩・キャンバスボード	32.5×23.4
74	高間惣七	凧	1957(昭和32)年	油彩・画布	91.5×116.5
75	高間惣七	二羽の鳥	1974(昭和49)年	油彩・画布	53.0×45.5
76	矢崎千代二	[シンガポール風景]	1926(大正15)年	テンペラ・綿布	56.5×74.5
77	矢崎千代二	伽耶山(ブッダガヤ)	1930(昭和5)年	パステル・紙	24.4×35.0
78	矢崎千代二	ベレン風景	1930(昭和5)年	パステル・紙	24.3×33.1
79	矢崎千代二	別府・観海寺温泉	1935(昭和10)年	パステル・色つき紙	32.3×44.0
80	矢崎千代二	柳川の夕景	不詳	パステル・紙	23.7×31.7
81	矢崎千代二	瀬戸内海 夕映	1935(昭和10)年	パステル・色つき紙	31.5×43.5
82	矢崎千代二	北京北海公園	1943-44(昭和18-19)年	パステル・紙	23.6×32.8

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
83	伊藤久三郎	農村風景	1943(昭和18)年	油彩・画布	112.0×144.5
84	平野杏子	受難華	1977(昭和52)年	油彩・画布	97.0×162.1
85	島田鮎子	柵の中の風景	1963(昭和38)年	油彩・画布	130.0×162.1
86	島田章三	ミナトヨコスカ	2007(平成19)年	油彩・画布	162.0×194.0
87	上條陽子	黄色い裸婦	1988(昭和63)年	油彩・画布	162.0×130.0
88	井上悟	メインストリート	1989(平成元年)	油彩・画布	186.5×232.0
89	渡辺恂三	仏滅	1958(昭和33)年	油彩・合板	175.0×221.0
90	林敬二	翔集・天橋立	1991(平成3)年	油彩・画布	193.9×259.1
91	豊島弘尚	時の記憶—逆光	1986(昭和61)年	油彩・画布	181.8×227.3
92	川端実	リズム 緑	1959(昭和34)年	油彩・画布	194×257.5
93	川端実	Untitled	1993(平成5)年	アクリル・綿布	214.0×163.0
94	川端実	Untitled	1993(平成5)年	アクリル・綿布	214.0×163.0
95	大村連	現象	2002(平成14)年	油彩・画布	194.0×162.0
96	滝波重人	汽水域 07-P-12 舵を切る、青の方へ	2007(平成19)年	油彩、テンペラ・画布	227.0×364.0
97	野見山暁治	重い時間	2009(平成21)年	油彩・画布	162.0×194.0

■展示室 8

98	川田祐子	内なる自然	2010(平成22)年	ハッチング、アクリルガッシュ・カンヴァス	117.0×97.0
99	川田祐子	memory of sands	2005(平成17)年	スクラッチ、ハッチング、アクリルガッシュ・カンヴァス	91.0×116.7
100	鈴木竹柏	烟雨	1976(昭和51)年	紙本着色	186.0×194.0
101	最上壽之	ヒヤララ	1971(昭和46)年	合板・高周波加工	90.0×180.0×360.0
102	芥川(間所)紗織	神話より 4	1956(昭和31)年	染料・布	130.3×162.0
103	磯見輝夫	古老樹	1990(平成2)年	木版・和紙	150.0×142.0
104	土谷武	蟬 V	1982(昭和57)年	コルテン鋼	17.0×60.0×28.5
105	淀井彩子	地図	2011(平成23)年	油彩・画布	162.0×194.0
106	若林砂絵子	Untitled [Works7]	2002-04(平成14-16)年	油彩・画布	197.0×197.0
107	小山利枝子	未知の記憶	2008(平成20)年	アクリル・画布	227.5×437.0
108	宮崎進	泥土	2004(平成16)年	ミクストメディア、麻布・合板	194.0×320.3

■屋外設置作品

136	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元年)	鉄	305.5×150.0×4586.0
137	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)年	インスタレーション	
138	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)年	インスタレーション	
139	鈴木昭男	点音	2013(平成25)年	インスタレーション	

展覧会名

令和4年度 第4期所蔵品展

会期	2023年1月7日(土)～4月2日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休館日	2023年1月10日(月)、2月6日(月)、3月6日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※2月13日(日)は無料観覧日	
主催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 清宮質文の世界 Part1 (木版画) 展示室5 清宮質文の世界 Part2 (モノタイプ、水彩画、ガラス絵、油彩) 展示室6、7 市川美幸「tele-ship-scope」 展示室8 朝井閑右衛門展示室 肖像画と人物画	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	14,297	172.2
印刷物	清宮質文	
	図録	B5変形60ページ 800冊
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	小出櫛重	前向きの裸女	1930(昭和5)年	油彩・画布	63.5×94.0
2	佐伯祐三	窓のある建物(パリ風景)	1925(昭和元)年	油彩・画布	65.2×80.3
3	前田寛治	麦わら帽の子	1920(大正11)年頃	油彩・板	23.8×33.2
4	児島善三郎	独立美術首途;第2の誕生	1931(昭和6)年	油彩・画布	162.5×130.5

■展示室4 清宮質文の世界 Part1

5	清宮質文	静物(十字のある)	1958(昭和33)年	木版・紙	22.3×22.7
6	清宮質文	むかしのはなし	1958(昭和33)年	木版・紙	8.0×16.5
7	清宮質文	キリコ(カットグラス)	1959(昭和34)年	木版・紙	22.2×27.4
8	清宮質文	古い日	1960(昭和35)年	木版・紙	17.2×14.5
9	清宮質文	はるかなるもの	1960(昭和35)年	木版・紙	30.2×23.9
10	清宮質文	幼きもの	1963(昭和38)年	木版・紙	24.0×21.3
11	清宮質文	ある空間(蝶)	1962(昭和37)年	木版・紙	22.1×25.4
12	清宮質文	水のうた	1965(昭和40)年	木版・紙	10.7×18.4
13	清宮質文	コップの中の人形	1965(昭和40)年	木版・紙	21.5×22.5
14	清宮質文	青い鳥	1965(昭和40)年	木版・紙	3.8×8.2
15	清宮質文	林の中の家 I	1963(昭和38)年	木版・紙	13.8×11.3
16	清宮質文	雨後の貯水池	1966(昭和41)年	木版・紙	18.0×15.1
17	清宮質文	二月の夜	1966(昭和41)年	木版・紙	11.6×18.8
18	清宮質文	アーティスト	1965(昭和40)年	木版・紙	18.6×14.9
19	清宮質文	祈	1966(昭和41)年	木版・紙	18.7×30.3
20	清宮質文	夕占	1966(昭和41)年	木版・紙	25.4×20.4
21	清宮質文	眠り	1966(昭和41)年	木版・紙	19.8×27.8
22	清宮質文	暗い夕日(『暗い夕日』1)	1972(昭和47)年	木版・紙	21.0×19.2
23	清宮質文	冬(『暗い夕日』2)	1972(昭和47)年	木版・紙	23.0×21.8
24	清宮質文	トンネルの出口(『暗い夕日』3)	1972(昭和47)年	木版・紙	22.4×20.0
25	清宮質文	虜囚の窓(『暗い夕日』4)	1972(昭和47)年	木版・紙	24.3×20.0
26	清宮質文	夕方の静物(『暗い夕日』5)	1972(昭和47)年	木版・紙	23.0×21.9
27	清宮質文	窓のカンテラ(『暗い夕日』6)	1972(昭和47)年	木版・紙	24.2×15.0
28	清宮質文	入日(『暗い夕日』7)	1972(昭和47)年	木版・紙	15.1×25.6
29	清宮質文	町外れ(『暗い夕日』8)	1972(昭和47)年	木版・紙	13.9×22.4
30	清宮質文	夕日の静物(『暗い夕日』9)	1972(昭和47)年	木版・紙	13.7×22.2
31	清宮質文	壇の中の魚(『暗い夕日』10)	1972(昭和47)年	木版・紙	20.0×22.4
32	清宮質文	小さな炎	1969(昭和44)年	木版・紙	26.0×22.3
33	清宮質文	九月の海辺	1970(昭和45)年	木版・紙	13.3×23.3
34	清宮質文	暗きより暗きへ	1967(昭和42)年	木版・紙	16.0×25.8
35	清宮質文	泳ぐ人	1969(昭和44)年	木版・紙	18.9×30.6
36	清宮質文	べにひかげ	1968(昭和43)年	木版・紙	26.0×16.1
37	清宮質文	華やかな孤独	1967(昭和42)年	木版・紙	29.5×24.0
38	清宮質文	一つの燈	1970(昭和45)年	木版・紙	14.2×22.0
39	清宮質文	深夜の蠟燭	1974(昭和49)年	木版・紙	17.8×15.0
40	清宮質文	遠花火	1972(昭和47)年	木版・紙	24.2×20.9
41	清宮質文	窓のランタン	1972(昭和47)年	木版・紙	24.3×15.2
42	清宮質文	星占い	1975(昭和50)年	木版・紙	15.7×18.0
43	清宮質文	ベツレヘムの星	1971(昭和46)年	木版・紙	5.6×8.2
44	清宮質文	告別	1974(昭和49)年	木版・紙	26.0×21.4
45	清宮質文	秋の夕日	1976(昭和51)年	木版・紙	16.1×14.4
46	清宮質文	遠い太陽	1977(昭和52)年	木版・紙	15.0×17.9
47	清宮質文	冬の夜の静物	1976(昭和51)年	木版・紙	18.0×15.5

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
48	清宮質文	早春の静物	1977(昭和52)年	木版・紙	26.0×22.0
49	清宮質文	バンドラの箱	1977(昭和52)年	木版・紙	11.8×18.9
50	清宮質文	(小箱)	1967(昭和42)年	木版・紙	5.3×3.4
51	清宮質文	みちしるべ	1985(昭和60)年	木版・紙	8.9×8.8
52	清宮質文	夕日と猫 I	1979(昭和54)年	木版・紙	20.0×17.5
53	清宮質文	山上の湖	1981(昭和56)年	木版・紙	19.5×26.4
54	清宮質文	黑夜の鳥	1982(昭和57)年	木版・紙	12.5×14.0
55	清宮質文	月と運河	1988(昭和63)年	木版・紙	16.5×16.4
56	清宮質文	北風の過ぎた夕	1978(昭和53)年	木版・紙	19.1×13.4
57	清宮質文	晩夏	1985(昭和60)年	木版・紙	6.6×6.8
58	三岸節子	室内	1941(昭和16)年	油彩・画布	162.1×130.3
59	小磯良平	ビルマの婦人	1943(昭和18)年頃	油彩・画布	60.5×41.0
60	井上長三郎	スエズ	1943(昭和18)年	油彩・画布	60.5×80.0
61	松本竣介	お濠端	1940(昭和15)年	油彩・画布	65.0×90.0
62	鬚光	グラジオラス	1942(昭和17)年頃	油彩・板	33.1×23.7
63	鶴岡政男	二人で唄う	1947(昭和22)年	油彩・画布	53.0×46.0
64	麻生三郎	赤い空と人	1957(昭和32)年	油彩・画布	112.0×162.5
65	森芳雄	冬の海岸	1952(昭和27)年	油彩・画布	80.5×100.0
66	山口薫	水と畑と残雪	1952(昭和27)年	油彩・画布	80.2×99.8

■展示室5 清宮質文の世界 Part 2

67	清宮質文	黙示	1961(昭和36)年	モノタイプ	24.3×29.7
68	清宮質文	夏の夜	1964(昭和39)年	モノタイプ	26.2×31.1
69	清宮質文	夜明け	1964(昭和39)年	モノタイプ	28.5×29.1
70	清宮質文	対話	1964(昭和39)年	モノタイプ	31.0×39.6
71	清宮質文	静物	1964(昭和39)年	モノタイプ	22.5×31.6
72	清宮質文	蝶B	1964(昭和39)年	モノタイプ	24.0×29.7
73	清宮質文	蝶C	1964(昭和39)年	モノタイプ	25.9×28.1
74	清宮質文	夜の中へ	不詳	モノタイプ	22.8×30.8
75	清宮質文	入日	1983(昭和58)年	モノタイプ	25.8×32.5
76	清宮質文	静物(ワイングラス)	1965(昭和40)年	水彩・紙	28.3×24.5
77	清宮質文	不安な道	1974(昭和49)年	水彩・紙	23.2×19.8
78	清宮質文	夜	1977(昭和52)年	水彩・紙	15.1×24.6
79	清宮質文	孤独なけもの	1975(昭和50)年	水彩・紙	17.0×20.5
80	清宮質文	空しい日	1978(昭和53)年	水彩・紙	19.0×23.6
81	清宮質文	秋	1984(昭和59)年	水彩・紙	17.1×14.8
82	清宮質文	透明な悲しみ	1978(昭和53)年	水彩・紙	31.2×27.2
83	清宮質文	花環	1981(昭和56)年	水彩・紙	25.7×23.0
84	清宮質文	樹	1981(昭和56)年	水彩・紙	30.5×22.0
85	清宮質文	蝶	不詳	水彩・紙	17.6×32.7
86	清宮質文	秋の室内	不詳	水彩・紙	26.7×25.3
87	清宮質文	早春の窓	不詳	水彩・紙	21.4×18.6
88	清宮質文	早春の風	不詳	パステル・紙	24.6×19.7
89	清宮質文	暗い夕日B	1969(昭和44)年	ガラス絵	26.3×20.9
90	清宮質文	蝶	1960(昭和35)年	ガラス絵	50.3×56.3
91	清宮質文	帰郷	1968(昭和43)年	ガラス絵	15.1×17.6
92	清宮質文	夜	1969(昭和44)年	ガラス絵	13.1×18.8
93	清宮質文	時雨れる野路	1971(昭和46)年	ガラス絵	14.8×19.2
94	清宮質文	午後の坂道	1973(昭和48)年	ガラス絵	10.6×14.5
95	清宮質文	春の深夜	1973(昭和48)年	ガラス絵	13.2×17.6

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
96	清宮質文	冬	1974(昭和49)年	ガラス絵	11.8×17.8
97	清宮質文	早春の山鳩	1972(昭和47)年	ガラス絵	12.4×16.5
98	清宮質文	夕日	1972(昭和47)年	ガラス絵	14.5×17.6
99	清宮質文	秋風	1974(昭和49)年	ガラス絵	11.0×15.5
100	清宮質文	夕暮れの裏門	1975(昭和50)年頃	ガラス絵	10.9×16.2
101	清宮質文	去りゆく蝶	1970年代	ガラス絵	20.2×24.5
102	清宮質文	冬枯の道	1970年代	ガラス絵	9.0×13.2
103	清宮質文	枯れ花	不詳	油彩・画布	21.3×26.2
104	五味秀夫	紡蟲	1956(昭和31)年	油彩・画布	91.0×65.0
105	五味秀夫	硝子の箱	1960(昭和35)年	油彩・画布	64.0×90.0

■展示室6・7 市川美幸 「tele-ship-scope」

106	市川美幸	「tele-ship-scope」より	1999(平成11)年	タイプCプリント	45.6×45.6
107	五味秀夫	ひるの波止場	1973(昭和48)年	油彩・画布	61.0×73.0
108	五味秀夫	黒い海	1978(昭和53)年	油彩・画布	53.0×73.0
109	島田章三	林の中	2002(平成14)年	油彩・画布	162.0×194.0
110	島田章三	階段のコンポジション	2013(平成25)年	油彩・画布	130.0×162.0
111	島田章三	怪獣やロボットもいるフリーマーケット	2015(平成27)年	油彩・画布	130.3×162.1
112	島田章三	らせんかいだんとうみ	2015(平成27)年	油彩・画布	95.0×130.3
113	島田鮎子	アールデコ風の部屋	2006(平成18)年	油彩・画布	162.1×130.0
114	中川久	Q-00-4-A	2000(平成12)年	アクリル、和紙・綿布	203.0×310.0
115	中川久	Q-04-11-A(けはい)	2004(平成16)年	アクリル、和紙・綿布	201.0×320.0

■展示室8 朝井閑右衛門室 「肖像画と人物画」

116	朝井閑右衛門	自画像	1930(昭和5)年頃	油彩・画布	30.3×24.0
117	朝井閑右衛門	素描する人	1934(昭和9)年頃	油彩・画布	91.0×72.5
118	朝井閑右衛門	[車内読書]	1932(昭和7)年頃	油彩・画布	60.7×50.0
119	朝井閑右衛門	[少女像]	1933(昭和8)年頃	油彩・キャンバスボード	27.3×21.8
120	朝井閑右衛門	K嬢	1950(昭和25)年頃	油彩・板	27.0×21.0
121	朝井閑右衛門	放浪者	1937(昭和12)年	油彩・画布	99.3×72.8
122	朝井閑右衛門	[ウクレレを持つ人]	不詳	油彩・画布	116.4×91.0
123	朝井閑右衛門	ギタリスト	1937(昭和12)年	油彩・画布	99.8×72.7
124	朝井閑右衛門	於巴洋丸	1938(昭和13)年	油彩・厚紙	12.6×17.5
125	朝井閑右衛門	汪兆銘肖像	1940(昭和16)年	油彩・画布	60.5×45.2
126	朝井閑右衛門	[逝ける横田之子女史]	1945(昭和20)年	油彩・画布	45.5×37.9
127	朝井閑右衛門	豊収(誉ノ家族)	1944(昭和19)年	油彩・画布	117.0×73.0
128	朝井閑右衛門	ダビンチ執筆中の若き柳亮	1946(昭和21)年	油彩・板	22.8×15.7
129	朝井閑右衛門	白サツマ大壺を見る三好達治	1960(昭和35)年	油彩・紙	24.5×18.5
130	朝井閑右衛門	中山恒明教授	不詳	水彩、鉛筆・紙	35.3×25.2
131	朝井閑右衛門	洲之内徹像	不詳	鉛筆・紙	41.6×28.5
132	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)年	油彩・画布	45.4×53.4
133	朝井閑右衛門	薔薇(嘉靖青花唐子紋中壺)〈絶筆〉	1983(昭和58)年	油彩・画布	45.5×53.5
134	滝波重人	Untitled 93-P-9	1993(平成5)年	油彩、テンペラ・画布	205.0×480.0
135	滝波重人	汽水域06-P-9	2006(平成18)年	油彩、テンペラ・画布	227.0×364.0
136	宮崎進	泥土	2004(平成16)年	ミクストメディア、麻布・合板	194.0×320.3

■屋外設置作品

137	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元年)	鉄	305.5×150.0×4586.0
138	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)年	インスタレーション	
139	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)年	インスタレーション	
140	鈴木昭男	点音	2013(平成25)年	インスタレーション	

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 おうち時間の愉しみ

会期	2022年4月9日(土)～6月26日(日) 開催日数77日間(休館日を除く)	
休館日	5月9日(月)、6月6日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	11,321	147.0

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 おうち時間の愉しみ

no.	作品名	材質・技法	寸法(cm)	発行年月日
1	雨だれ	水彩、レース・紙	27.3×19.5	1957（昭和32）年 3月25日号
2	雨の日	水彩・厚紙	39.2×28.0	1962（昭和37）年 5月28日号 ★
3	お父さんのにおい	水彩・厚紙	40.4×30.0	1978（昭和53）年 3月 9日号
4	倉庫の中の宇宙	水彩・厚紙	37.0×27.0	1961（昭和36）年 6月26日号
5	小さな遊園地	水彩・厚紙	39.4×27.4	1965（昭和40）年10月 9日号 ★
6	池が凍った	水彩・厚紙	41.0×29.5	1968（昭和43）年11月23日号
7	アクアラングの訓練	水彩・厚紙	40.8×28.8	1972（昭和47）年 7月22日号
8	小さな台風圏	水彩・厚紙	39.3×27.8	1962（昭和37）年 8月13日号
9	さかさまの望遠鏡	水彩・厚紙	40.6×29.2	1968（昭和43）年 6月15日号
10	合戦	水彩・厚紙	40.3×30.0	1976（昭和51）年 8月 5日号
11	金魚もまねしてる	水彩・厚紙	42.0×30.3	1974（昭和49）年 5月 2日号
12	金魚はユカタで夏まつり	水彩・厚紙	40.4×30.0	1979（昭和54）年 6月21日号
13	夢	水彩・紙	30.2×21.0	1957（昭和32）年 9月23日号
14	かやの峠道	水彩・厚紙	39.0×27.7	1962（昭和37）年 8月20日号
15	月夜の記憶	水彩・厚紙	41.8×30.0	1970（昭和45）年 5月 9日号
16	月夜の寝床	水彩・厚紙	40.5×29.7	1972（昭和47）年11月25日号
17	色々な雨だれの音がきこえる	水彩・厚紙	40.5×30.0	1977（昭和52）年 3月31日号
18	夜明の音階	水彩・厚紙	39.0×28.3	1964（昭和39）年 5月25日号
19	静かな騒ぎ 走馬灯の記憶	水彩・厚紙	40.3×29.5	1976（昭和51）年 8月 5日号
20	陽なたの夢	水彩・厚紙	39.0×29.0	1967（昭和42）年 3月18日号
21	びんのカラーフィルム	水彩・厚紙	37.1×26.3	1961（昭和36）年 3月27日号
22	あられ	水彩・紙	28.5×19.8	1957（昭和32）年 3月11日号
23	炎	水彩・厚紙	39.0×28.0	1967（昭和42）年12月 9日号
24	ぼくの朝顔	水彩・厚紙	40.9×30.2	1972（昭和47）年 7月22日号
25	床屋さんの休日	水彩・厚紙	42.0×29.9	1979（昭和54）年 9月27日号
26	ボールとらしてください	水彩・厚紙	42.8×29.4	1978（昭和53）年 2月16日号
27	火星人だ	水彩・厚紙	40.5×29.5	1971（昭和46）年 9月25日号
28	ウキの夢	水彩・厚紙	40.8×28.7	1969（昭和44）年 7月12日号
29	たりない部品	水彩・厚紙	42.3×29.4	1970（昭和45）年 5月16日号
30	帆	水彩・厚紙	40.5×29.5	1969（昭和44）年 6月21日号
31	失敗	水彩、糸・厚紙	40.7×28.8	1968（昭和43）年 9月21日号
32	布地の海	水彩・厚紙	37.0×30.8	1961（昭和36）年 5月 8日号
33	ミシンの音	水彩・厚紙	39.2×27.8	1963（昭和38）年 7月 8日号
34	花びらのイラスト	水彩・厚紙	40.6×28.3	1969（昭和44）年 4月12日号
35	ガラスの中の夏	水彩・厚紙	41.8×30.6	1974（昭和49）年 6月 6日号
36	宿題を見に来てる	水彩・厚紙	39.5×27.8	1965（昭和40）年 9月 4日号 ★
37	泊っていった蝶	水彩・厚紙	39.3×28.0	1962（昭和37）年 5月28日号
38	小さな劇場	水彩・厚紙	39.2×27.7	1963（昭和38）年 4月15日号 ★
39	ねえ たのむよ	水彩・厚紙	39.1×28.3	1965（昭和40）年11月27日号
40	残り陽	水彩・厚紙	39.3×28.0	1967（昭和42）年11月11日号
41	花びら	水彩・紙	33.0×23.0	1957（昭和32）年 4月15日号
42	火の粉の踊り	水彩・厚紙	38.8×27.5	1961（昭和36）年12月11日号
43	逃げたお客	水彩・厚紙	42.7×30.2	1975（昭和50）年 5月22日号
44	陽	水彩、繊維・厚紙	39.0×29.0	1966（昭和41）年12月17日号
45	陽なたの夢	水彩・厚紙	41.0×30.0	1972（昭和47）年 9月23日号
46	幻燈の思い出	水彩・厚紙	42.0×29.5	1975（昭和50）年 2月13日号
47	白い土蔵の思い出	水彩・厚紙	40.4×29.5	1978（昭和53）年 4月20日号
48	五月の記憶	水彩・厚紙	41.4×29.0	1969（昭和44）年 5月 3日号
49	わたしのお花	ろうけつ染、着色・布	39.3×28.3	1962（昭和37）年 6月25日号
50	冬の支度	ろうけつ染、着色・布	36.0×27.0	1961（昭和36）年11月20日号

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。

そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

* 「発行年月日」に★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 子どもの遊び

会期	2022年7月2日(土)～9月25日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休館日	7月4日(月)、8月1日(月)、9月5日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	19,653	248.7

展示風景



谷内六郎

〈週刊新潮 表紙絵〉展

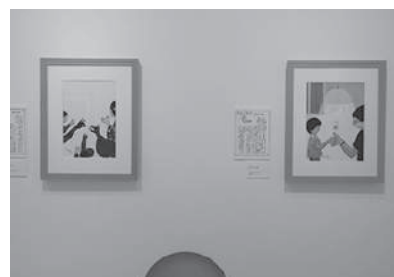
Taniuchi Rokuro Works
The cover from the weekly magazine
Shukan Shincho

子どもの遊び

Children's Games

2022年
7月2日[土] ▶ 9月25日[日]

『ローマ書』
1569-2024(4)年4月15日



谷内六郎(週刊新潮 表紙絵)展 子どもの遊び

no.	作品名	材質・技法	寸法(cm)	発行年月日	
1	思い出	ろうけつ染、着色・布	41.5×29.3	1980(昭和55)年 1月31日号	★
2	おはじき	コンテ、水彩・紙	32.5×23.3	1957(昭和32)年 6月10日号	
3	あやとり	水彩・紙	32.2×22.7	1956(昭和31)年 9月24日号	★
4	放課後	水彩・厚紙	34.2×24.0	1958(昭和33)年 2月24日号	
5	赤い煙突	水彩・厚紙	39.0×28.2	1960(昭和35)年 4月25日号	
6	石けり	水彩、砂石・厚紙	36.2×25.0	1959(昭和34)年 3月23日号	
7	芸術の秋	水彩・厚紙	41.0×29.4	1970(昭和45)年10月24日号	
8	ひとりぼっちの球場	水彩・厚紙	40.9×30.0	1976(昭和51)年 3月 4日号	
9	かげに乗る子	水彩・厚紙	39.0×28.0	1963(昭和38)年10月 7日号	
10	自分で行く子	水彩・厚紙	39.0×27.9	1963(昭和38)年 5月13日号	
11	山間小駅	水彩・厚紙	39.3×28.0	1961(昭和36)年 5月29日号	
12	わらべうた	水彩・厚紙	37.0×26.9	1961(昭和36)年 2月13日号	
13	山のプロレス	水彩・厚紙	37.5×26.4	1968(昭和43)年 9月14日号	
14	山びこ	水彩・厚紙	40.8×29.2	1968(昭和43)年 6月15日号	
15	水切り	水彩・厚紙	40.5×28.8	1967(昭和42)年 9月 2日号	
16	加工場のあと	水彩・厚紙	39.0×27.5	1971(昭和46)年 4月10日号	
17	箱眼鏡の中	水彩・厚紙	41.3×29.5	1963(昭和38)年 7月22日号	
18	あきらめない	水彩・厚紙	42.0×30.2	1965(昭和40)年 6月26日号	
19	夜店の思い出	水彩・厚紙	40.7×29.0	1973(昭和48)年 7月12日号	
20	おどかさうと思って	水彩・厚紙	39.0×29.0	1974(昭和49)年 9月12日号	
21	あした天気になあれ	水彩・厚紙	39.8×30.0	1964(昭和39)年11月23日号	
22	リモコン	水彩・厚紙	39.3×27.8	1979(昭和54)年 4月26日号	
23	コウモリの記憶	水彩・厚紙	39.5×28.3	1977(昭和52)年 6月 9日号	
24	カン馬の記憶	水彩・厚紙	40.3×29.7	1980(昭和55)年11月20日号	
25	象のいる山	水彩・厚紙	40.8×28.3	1977(昭和52)年 2月 3日号	
26	雪野のスライド会	水彩・厚紙	42.5×30.0	1972(昭和47)年 1月22日号	
27	影絵の季節	水彩・厚紙	40.6×29.5	1980(昭和55)年11月 6日号	
28	お父さんの指	水彩・厚紙	40.8×28.0	1980(昭和55)年 7月31日号	
29	降りられなくて泣いてる	水彩・厚紙	40.3×30.3	1965(昭和40)年12月 4日号	
30	ぼく泳げたよ	水彩・厚紙	40.7×29.0	1971(昭和46)年10月16日号	
31	パーマ屋さん	水彩・厚紙	40.0×28.0	1969(昭和44)年 4月19日号	
32	ウエディングドレス	水彩・厚紙	40.5×29.9	1968(昭和43)年10月12日号	
33	録音係	水彩、磁気テープ・厚紙	40.5×28.9	1970(昭和45)年 8月 1日号	
34	未来のドラマー	水彩・厚紙	40.8×29.0	1972(昭和47)年 7月 8日号	
35	小さなバトンガール	水彩・厚紙	40.5×28.7	1964(昭和39)年 2月24日号	
36	小犬の番組	水彩・厚紙	41.7×30.0	1972(昭和47)年10月14日号	
37	納屋のプラネタリウム	水彩・厚紙	40.5×30.2	1973(昭和48)年 5月17日号	★
38	虫ぼしの思い出	水彩・厚紙	39.3×28.4	1971(昭和46)年 6月12日号	
39	蔵の中の古い道具	水彩・厚紙	40.5×30.0	1975(昭和50)年 5月 8日号	
40	酋長の家	水彩・厚紙	40.5×29.0	1976(昭和51)年11月 4日号	
41	いちよう	水彩・厚紙	40.5×30.0	1964(昭和39)年10月 5日号	
42	たいせつな葉っぱ	水彩・厚紙	39.0×28.5	1972(昭和47)年10月21日号	
43	砂の万博	水彩・厚紙	39.5×27.8	1970(昭和45)年 3月28日号	
44	やどガニ	水彩・厚紙	39.3×28.0	1977(昭和52)年 7月21日号	
45	みんなどこかに行っちゃった	水彩・厚紙	40.7×29.7	1976(昭和51)年 4月29日号	
46	人形のリフト	水彩・厚紙	39.3×28.0	1965(昭和40)年 1月25日号	
47	しっかりもってゝ	水彩・厚紙	40.6×29.7	1971(昭和46)年 1月9・16日合併号	
48	流木のあそび場	水彩・厚紙	40.5×30.3	1964(昭和39)年12月 7日号	
49	紙電話の声	水彩・厚紙	40.8×29.8	1966(昭和41)年 3月12日号	
50	光を使う燈台の子	水彩・厚紙	45.4×29.8	1977(昭和52)年 9月22日号	★

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。

そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

* 「発行年月日」に★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 1950年代の谷内六郎

会期	2022年10月1日(土)~2023年12月25日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休館日	10月3日(月)、11月7日(月)、12月5日(月)	
観覧料	一般380円/高大生・65歳以上280円 ※11月3日(祝)は無料観覧日	
主催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	9,850	118.6

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 1950年代の谷内六郎

1	なまずの釣れた日	水彩・紙	1956(S31)年 3月 4日号
2	名曲の店	水彩・紙	1956(S31)年 3月11日号
3	かげろう	水彩・紙	1956(S31)年 4月29日号
4	けむり	水彩・紙	1956(S31)年 5月 8日号
5	たい焼屋	水彩・紙	1956(S31)年 6月19日号
6	時計屋	水彩・紙	1956(S31)年 9月 3日号
7	お父さんおかえり	水彩・紙	1956(S31)年10月 8日号
8	海のネオン	水彩、コラージュ・紙	1956(S31)年11月12日号
9	みぞれの日	水彩・厚紙	1956(S31)年12月10日号
10	お風呂の歸えり	水彩・紙	1956(S31)年12月17日号
11	玩具	水彩・紙	1957(S32)年 2月18日号
12	シロホン	水彩、コラージュ・紙	1957(S32)年 4月29日号
13	アメリカ生まれのミルクのみ	水彩・紙	1957(S32)年 5月27日号
14	雨の波止場	水彩・紙	1957(S32)年 6月 3日号
15	鏡の中	水彩・紙	1957(S32)年 6月24日号
16	櫻貝	水彩・紙	1957(S32)年 7月 1日号
17	こがらし	水彩・紙	1957(S32)年11月18日号
18	ウインド	水彩、鉛筆・紙	1957(S32)年12月30日号
19	はじまり	水彩・紙	1957(S32)年 4月 8日号
20	雲のチャック	水彩・紙	1958(S33)年 3月24日号
21	かに	水彩・紙	1958(S33)年 5月12日号
22	ツバメフィルハーモニー訪日	水彩・紙	1958(S33)年 5月26日号
23	雨の道路	水彩・紙	1958(S33)年 7月 7日号
24	病気の子	水彩・紙	1958(S33)年 7月14日号
25	ラムネ	水彩・紙	1958(S33)年 9月15日号
26	紙芝居	水彩、ペン・紙	1958(S33)年 7月21日号
27	月の病院	水彩、ペン・紙	1958(S33)年 8月 4日号
28	かん太郎さんの出そうな晩	水彩・紙	1958(S33)年10月20日号
29	いちよう	水彩・紙	1958(S33)年11月17日号
30	お正月の服	水彩・紙	1958(S33)年12月29日号
31	初日の出	水彩・紙	1959(S34)年 1月 5日号
32	雪の日	水彩・紙	1959(S34)年 1月12日号
33	早春	ろうけつ染、着色・布	1959(S34)年 1月26日号
34	海の蝶	水彩、コラージュ・紙	1959(S34)年 4月 6日号
35	染もの屋の子	ろうけつ染、着色、混合技法・布	1959(S34)年 4月20日号
36	かたつむりのお家	水彩・紙	1959(S34)年 6月 8日号
37	岬のバス	水彩・紙	1959(S34)年 7月27日号
38	遠い花火	水彩・厚紙	1959(S34)年 8月24日号
39	夜の公衆電話	水彩・厚紙	1959(S34)年11月16日号
40	海の音	水彩・厚紙	1959(S34)年12月 7日号
41	電車カバンを買った夜	水彩・紙	1951(S26)年 ★
42	電気飴	水彩・紙	1950(S25)年 ★
43	人買いの話	水彩、墨・厚紙	1950(S25)年 ★
44	重患の室	インク、鉛筆・紙	1950(S25)年 ★
45	北風	水彩・厚紙	1955(S30)年 ★
46	しんせきに行った日	水彩、墨、鉛筆・紙	1955(S30)年頃 ★
	『文藝春秋 臨時増刊 漫画読本』3	発行:文藝春秋新社	1955(S30)年 3月
	『週刊新潮』創刊号	発行:新潮社	1956(S31)年 2月19日号
	『週刊朝日』	発行:朝日新聞社	1955(S30)年 4月24日号
	『サンデー毎日』	発行:毎日新聞社	1955(S30)年 2月27日号
	『週刊女性自身』	発行:光文社	1959(S34)年 4月24日号

特別展示

47	リボンについてくる蝶	水彩・厚紙	1974(S49)年 4月 4日号
48	ドックの祝日	水彩・厚紙	1976(S51)年 3月25日号
49	光を使う燈台の子	水彩・厚紙	1977(S52)年 9月22日号
50	影だよ	水彩・厚紙	1971(S46)年 8月14日号

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* ★マークがついている作品は個人蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。

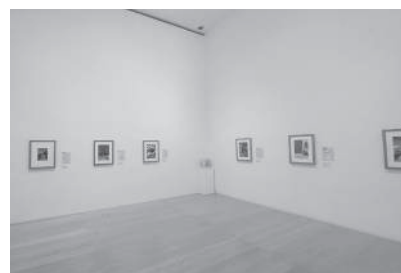
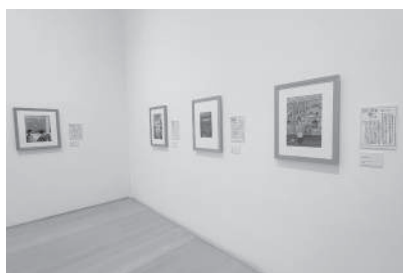
そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 乗り物に乗って

会期	2023年1月7日(土)～4月2日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休館日	2023年1月10日(月)、2月6日(月)、3月6日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※2月12日(日)は無料観覧日	
主催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	18,118	218.2

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 乗り物に乗って

no.	作品名	技法・支持体	発行年月日
1	景色が走る	水彩・厚紙	1967(S42)年 4月29日号
2	旅行	水彩・紙	1958(S33)年 2月10日号
3	汽車弁のまゝごと	水彩・厚紙	1964(S39)年 2月17日号
4	雨の特急しずくも走る	水彩・厚紙	1977(S52)年10月 6日号
5	山間電車 緑の光も満員	水彩・厚紙	1976(S51)年 5月13日号
6	外も走る	水彩・厚紙	1980(S55)年 3月13日号
7	一コマのカラー	水彩・厚紙	1964(S39)年 5月18日号
8	トンネルの中の記憶	水彩・厚紙	1959(S34)年 6月15日号
9	貨車もゆびきり別れ道	水彩・厚紙	1961(S36)年11月27日号
10	汽笛	水彩・厚紙	1965(S40)年10月 2日号
11	長い貨車	水彩・厚紙	1973(S48)年 4月 5日号
12	車窓のフィルム	水彩・厚紙	1974(S49)年 2月14日号
13	山間小駅	水彩・厚紙	1961(S36)年 5月29日号
14	北から来た汽車	水彩・厚紙	1956(S31)年12月 3日号
15	若葉のトンネル	水彩・厚紙	1977(S52)年 5月26日号
16	海の近い駅	水彩、コラージュ・厚紙	1956(S31)年 7月17日号
17	郊外電車	水彩、コラージュ・厚紙	1956(S31)年 9月10日号
18	汽車道	水彩、コラージュ・厚紙	1959(S34)年 9月 7日号
19	蝶の住む電車	水彩・厚紙	1963(S38)年 4月29日号
20	鉄道員	水彩・厚紙	1969(S44)年 9月 6日号
21	始発には夜の子が乗っている	水彩・厚紙	1975(S50)年 3月27日号
22	雪を割る汽笛	水彩・厚紙	1975(S50)年 3月13日号
23	上総の町は貨車の列 火の目の高さに海がある	水彩・紙	1956(S31)年 2月19日号
24	コオロギ鉄道	水彩・厚紙	1969(S44)年11月 1日号
25	行ってしまった森林鉄道 木曾にて	水彩・厚紙	1975(S50)年 8月14日号
26	ミシンの音	水彩・厚紙	1963(S38)年 7月 8日号
27	夜明の音階	水彩・厚紙	1964(S39)年 6月22日号
28	月夜の標識	水彩・厚紙	1967(S42)年10月21日号
29	廃線の駅	水彩・厚紙	1970(S45)年 7月11日号
30	ラッシュアワー	水彩・紙	1978(S53)年 7月20日号
31	シュッシュュ 夜汽車が星空のセンをぬく	水彩・厚紙	1977(S52)年 9月29日号
32	走る雲のかげ 浜岡大砂丘にて	水彩・厚紙	1976(S51)年 7月 1日号
33	線路をさがしていた汽笛	水彩・厚紙	1980(S55)年 2月28日号
34	雪国小駅	水彩・厚紙	1965(S40)年 3月 1日号
35	春をはこぶ電車	水彩・厚紙	1969(S44)年 3月 1日号
36	蝶も乗る電車	水彩・厚紙	1966(S41)年 4月23日号
37	切符	水彩・厚紙	1965(S40)年11月13日号
38	花びらの切符	水彩・厚紙	1979(S54)年 4月 5日号
39	特急ツバメの通る駅	水彩・厚紙	1972(S47)年 6月17日号
40	かなかな蟬の駅長さん	水彩・厚紙	1962(S37)年 9月10日号
41	駅	水彩・紙	1957(S32)年 7月22日号
42	急行の止まらない駅	水彩・厚紙	1959(S34)年 5月11日号
43	廃線の駅	水彩・厚紙	1974(S49)年10月31日号

特別展示

44	リボンについてくる蝶	水彩・厚紙	1974(S49)年 4月 4日号
45	ドックの祝日	水彩・厚紙	1976(S51)年 3月25日号
46	光を使う燈台の子	水彩・厚紙	1977(S52)年 9月22日号
47	影だよ	水彩・厚紙	1971(S46)年 8月14日号

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。

そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

* 「発行年月日」に★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

1-2 教育普及事業

横須賀美術館令和元年度教育普及事業および関連するその他の事業について、下記の分類に基づき掲載する。

1-2-1 展覧会関連の教育普及事業

1-2-2 単独の教育普及事業

1-2-3 学校等との連携

1-2-5 教育普及に関連するその他の事業

凡例) 場所 / A: 展示室、B: ワークショップ室、C: エントランスホール、D: 海の広場、E: 山の広場、

F: オンライン(ZOOM)、G: オンライン(Youtube)、H: オンライン(SNS)、I: 情報スペース

参加方法 / a. 当日自由参加、b. 当日先着制、c. 事前申込制

参加料 / ※印: 要観覧券

1-2-1 展覧会関連の教育普及事業(展覧会ごと)

展覧会名 フランス・モダン・ポスター展

no.	開催日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 4月23日(土)	14:00 ~15:00	京都工芸繊維大学美術工芸 資料館のポスターコレクション -フランス・ポスターを中心に-	並木誠士(京都工芸繊維 大学特定教授・美術工芸 資料館館長)	B	18	一般	無料※	b
2	2022年 4月25日(日) 公開	6分05秒	京都工芸繊維大学美術工芸 資料館のポスターコレクション -フランス・ポスターを中心に-	並木誠士(京都工芸繊維 大学特定教授・美術工芸 資料館館長)	G	/	/	/	/
3	2022年 4月27日(水) ~6月15日(水) 毎週水曜日に Twitterに投稿	/	SNS連携イベント 「Un Français à Yokosuka -フランス人の目で見えた横須賀」	ロマン・シモン (横須賀市国際交流員)	H	/	/	/	/



美術館坐禅会 第1回「みほとけ坐禅会」



集まれ仏像好き!ここだけの仏様対談

展覧会名 運慶 鎌倉幕府と三浦一族

no.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 7月9日(土) 9月25日公開	13:00 ～14:30	住職によるお寺と仏様のトーク	永井宗直(満願寺住職)	B	65	一般	無料※	b
2	2022年 7月18日(月・祝)	13:00 ～14:30		永井宗直(満願寺住職)	B	60	一般	無料※	b
3	2022年 7月24日(日)	16:00 ～17:00	「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」 連続講座第1回 「絵図からみる三浦一族と横須賀」	谷合伸介 (横須賀市立中央図書館 郷土資料室主任)	B	56	一般	無料※	c
4	2022年 7月30日(土)	16:00 ～17:00	「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」 連続講座第2回 「運慶と三浦一族による造仏」	瀬谷貴之 (神奈川県立金沢文庫 主任学芸員)	B	56	一般	無料※	c
5	2022年 8月20日(土)	16:00 ～17:00	「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」 連続講座第3回「三浦一族 本貫地の考古学―衣笠・大矢部 ・岩戸地域の寺社と瓦を中心に」	中三川昇 (横須賀市教育委員会 生涯学習課文化財専門職員)	B	48	一般	無料※	c
6	2022年 8月27日(土)	16:00 ～17:00	「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」 連続講座第4回 「夫婦共同祈願と母への思慕と ―鎌倉時代の女性と仏教―」	野村育世 (女子美術大学付属高等学校 ・中学校教諭)	B	49	一般	無料※	c
7	2022年 7月28日(木)	13:30 ～14:50	中学生のための美術鑑賞教室 2022特別講座「運慶入門」	土川憲弥(浄楽寺副住職)	B	12	中学生	無料※	c
8	2022年 7月30日(土)	13:30 ～14:50	小笠原流 歩射演武	弓馬術礼法小笠原流 鎌倉菱友会	D	250	どなた でも	無料	a
9	2022年 7月31日(日)	18:00 ～19:30	美術館坐禅会 第1回「みほとけ坐禅会」	永井宗直(満願寺住職)	A	15	18歳 以上	無料	c
10	2022年 8月11日(木・祝)	9:30 ～11:00	美術館坐禅会 第2回「初心者のための坐禅入門」	永井宗寛(満昌寺住職)、 永井宗徳(満昌寺副住職)	B	15	18歳 以上	無料	c
11	2022年 8月6日(土)	13:00 ～16:00	弓の名手・三浦一族 流鏑馬体験	公益社団法人 大日本弓馬会・武田流	B、D	200	どなた でも	無料※	a,b
12	2022年 8月7日(日)	11:00 ～12:15	集まれ仏像好き! ここだけの仏様対談	土川憲弥(浄楽寺副住職)、 田中ひろみ (仏像イラストレーター)	B	44	一般	無料※	c
13		14:00 ～15:15		永井宗直(満願寺住職)、 田中ひろみ (仏像イラストレーター)	B	35	一般	無料※	c
14	2022年 8月13日(土)	18:00 ～20:30	横須賀美術館 能「七騎落」	能「七騎落」/観世喜正ほか 狂言「朝比奈」/野村萬斎ほか	A	91	小学生 以上	6,500円	c
15	2022年 8月13日(土)	18:00 ～20:30	YouTubeライブ配信 「横須賀美術館 能『七騎落』」	能「七騎落」/観世喜正ほか 狂言「朝比奈」/野村萬斎ほか	G				
16	2022年 9月21日(水) ～10月31日(月)	27分29秒	YouTubeアーカイブ配信 「横須賀美術館 能『七騎落』」	能「七騎落」/観世喜正ほか 狂言「朝比奈」/野村萬斎ほか	G				

展覧会名 生誕120年 猪熊弦一郎展

no.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 10月14日(金) ～11月6日(日)	9分56秒	「生誕120年 猪熊弦一郎展」 オンラインギャラリートークvol.1 第1章 初期作品、第2章 パリ時代、 第3章 戦中戦後	古野華奈子 (丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館学芸員)	G				
2	2022年 10月14日(金) ～11月6日(日)	5分13秒	「生誕120年 猪熊弦一郎展」 オンラインギャラリートークvol.2 第3章 戦中戦後、 第4章 ニューヨーク時代	古野華奈子 (丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館学芸員)	G				
3	2022年 10月20日(木) ～11月6日(日)	9分21秒	「生誕120年 猪熊弦一郎展」 オンラインギャラリートークvol.3 第4章 ニューヨーク時代、 第5章 ハワイ時代	古野華奈子 (丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館学芸員)	G				
4	2022年 10月22日(土) ～11月6日(日)	6分52秒	「生誕120年 猪熊弦一郎展」 オンラインギャラリートークvol.4 第6章 デザインの仕事、 第7章 画家のアトリエ	古野華奈子 (丸亀市猪熊弦一郎 現代美術館学芸員)	G				



スカジャン展 スペシャル対談



「PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展」横振り刺繍体験

展覧会名 PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展

no.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 11月19日(土)	14:00 ～15:00	トークイベント 「スカジャン展 スペシャル対談」	松山達朗(スカジャン 研究者・テラー東洋 企画統括)× 松島睦(ライトニング 統括編集長)	B	40	一般	無料※	c
2	2022年 11月26日(土)	13:00 ～15:30 (雨天時仕様)	横須賀美術館 シーサイドジャズコンサート vol.2	Orquesta Caliente オルケスタ カリエンテ、 前田サラ & ファミリーバンド、 小川恵理紗 ERISA Special Jazz Quintet	B	のべ390	どなた でも	無料	a
3	2022年 12月3日(土)	①11:00～ ②13:30～ ③15:00～ (3回とも同内容)	「スカジャンの柄と刺繍を知ろう!」 解説&横振り刺繍見学会」	解説:横地広海知 (スカジャン絵師) ミシン実演:「大将 ミシンししゅう店」 店主	B	合計50	小学生 以上	1組 1,100円	c
4	2022年 12月22日(木) 公開	2分17秒	「PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展」 横振り刺繍	松坂良一 (ファースト商会)	G				

展覧会名 キャラクターデザインの先駆者 土方重巳の世界

no.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 2月23日(木・祝)	14:00 ～15:00	父・土方重巳 娘から見た 心おどるデザインの秘密	篠崎旗江 (土方重巳 長女)	B	55	一般	無料※	c

展覧会名 令和4年度第2期所蔵品展 特集:井上文太 Inspirations

	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 7月17日(日)	14:00 ～15:00	井上文太 アーティストトーク	井上文太 (出品作家)	B	28	一般	無料※	b

1-2-2 単独開催の教育普及事業（開催年月日順）

■ワークショップ

no.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年9月25日(日)	①10:30 ～12:00 ②14:00 ～16:00	オトナ・ワークショップ 五感で感じる漆器+うるし基礎講座	いのうえゆきこ (うるし作家)	B	11	18歳以上	3,000円	c
2	2022年10月29日(土)	①10:30 ～12:30 ②14:00 ～16:00	YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 連携ワークショップ 横須賀の土でつくって焼こう! ～田浦和泉窯やきものワークショップ	葉王寺太一 (土器作家・ YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 活動作家)	B	20組63	3歳以上 中学生以下 の子どもと その保護者 のグループ	1組 1,500円	c
	2022年10月30日(日)	①10:30 ～12:30 ②14:00 ～16:00							
3	2022年11月23日 (水・祝)	①10:30 ～12:30 ②14:00 ～16:00	おやこワークショップ 干支(うさぎ)の絵付け教室	五十嵐祐輔 (張子人形職人)	B	25	どなたでも	1,500円	c
4	2023年2月18日(土)	13:00 ～15:30	YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 連携ワークショップ NATURE COLOR PICNIC in 横須賀美術館 ～横須賀に自生する植物をつかった 染色を体験しよう	山本愛子 (現代美術家 ・Yokosuka Art Valley HIRAKU 活動作家)	HIRAKU	7 (任意参加)	大人 (小学5年生 以上)	1,500円	c
	2023年3月4日(土)	13:00 ～15:30			B	23			
	2023年3月5日(日)	13:00 ～15:30			B	23			
5	2023年3月18日(土)	①10:00 ～12:30 ②14:00 ～16:30	親子向け 「九谷焼絵付けワークショップ」	伊藤由紀子 (陶芸家)	B	27	小学生以上と その保護者	1人 500円 + 皿1枚 2,000円	c



YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 連携ワークショップ
横須賀の土でつくって焼こう!



YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU連携ワークショップ
NATURE COLOR PICNIC in 横須賀美術館

■ 福祉関連事業

no.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年3月8日(水)	①10:30 ～12:00 ②13:30 ～15:00	福祉とアートが出あうとき 美術館で作品をつくってみよう!	HAD DESIGN	B	32	横須賀市内 障害者向けの 福祉施設 ・作業所等	無料	c
	2023年3月9日(木)	①10:30 ～12:00 ②13:30 ～15:00							
2	2023年3月29日(水)	13:30 ～14:15	視覚障害者向け調香ミニワークショップ	吉武利文 (香りのデザイン 研究所)	B	3	横須賀市 点字図書館 スタッフ	無料	c

■ 障害児者ワークショップ「みんなのアトリエ」

no.	開催日	時間	タイトル	講師	公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年10月16日(日)	14:00 ～15:00	新聞紙とガムテでオブジェを作ろう!	後藤敦史 (造形作家)	B	20組 54	個別支援学級 や特別支援 学校などに 通う障害の ある子ども、 きょうだいや 保護者	無料	c
2	2022年11月20日(日)	14:00 ～15:30	くんくんラボ	井上尚子 (美術家)	B				
3	2022年12月17日(土)	14:00 ～15:00	さわって楽しい手ざわりBOXをつくろう!	ゆにここ (現代美術作家)	B				
4	2023年1月21日(土)	14:00 ～15:00	コネコネンド	後藤敦史 (イラストレーター ・造形作家)	B				



福祉とアートが出あうとき 美術館で作品をつくってみよう!



さわって楽しい 手ざわりBOXをつくろう!

■その他

no.	開催日	時間	タイトル	講師・担当	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年 7月26日(火) 8月2日(火) 8月4日(木) 8月16日(火) 8月18日(木)	各日 13:30 ～14:00	中学生のための美術鑑賞教室2022	当館学芸員	I	25	中学生、 その保護者	無料	c
2	2022年 11月5日(土) 11月6日(日)	10:00 ～15:00	KOYARTプロジェクト ～小屋とアートと地域の新鮮野菜に出会う～	koyart実行 委員会	D	994	どなたでも	無料 (各店舗 で支払)	a
3	2023年3月28日(火)	14:00 ～16:00	先生のための美術館活用講座 「アートカード×ICTを活用した 鑑賞プログラムづくり」	黒澤正道 (横須賀市 教育委員会 指導主事)、 橋本典久 (アーティスト)、 重田佑介 (アーティスト)	B,F	9	教員	無料	c



KOYARTプロジェクト

■ ボランティアイベント

no.	開催日・公開時期	時間	タイトル	講師・担当	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年4月30日(土)	①10:00 ～11:00 ②11:30 ～12:30 ③14:00 ～15:00	美術館ボランティア すかび隊presents プライベートガリバーキャンパス		D	221	どなたでも	無料	c
2	2022年10月23日(日)	11:00 ～15:00	美術館ボランティア すかび隊presents ミニイベント 美術館でハロウィン2		D	245	どなたでも	無料	a
3	2022年12月11日(日)	①10:30～ 12:00 ②13:00～ 14:30 ③15:00 ～16:30 点灯式17:00	美術館ボランティア すかび隊presents 海の広場のメリークリスマス2022 光る星をつくろう!		B,D	97	どなたでも	無料	c



プライベートガリバーキャンパス



美術館でハロウィン2

■ シネマパーティー

no.	開催日・公開日	時間	タイトル	企画・出演	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2022年①9月10日(土) ②9月11日(日)	18:40 ～20:10	野外シネマパーティー2022 in 横須賀美術館 『シチリアを征服したクマ王国の物語』	キノ・イグルー (移動映画館)	D	①179 ②153	どなたでも	無料	c
2	2023年①2月4日(土) ②2月5日(日)	18:00 ～20:00	冬のシネマパーティー2023 in 横須賀美術館 『コロンバス』	キノ・イグルー (移動映画館)、 トサカムリフーズ (ケータリング)	C	①24 ②23	どなたでも	1,500円 (フード代)	c



野外シネマパーティー2022

1-2-3 学校との連携

横須賀美術館では、2007年(平成19年)の開館当初から、教育普及活動の一環として、学校連携の取り組みを積極的にすすめている。以下に、市立小・中学校をはじめとする学校等を対象とした事業について記載する。

令和4年度は小学校鑑賞会で学芸員、ボランティアによる引率を再開した。学芸員によるガイダンスは行わず、教員による事前下見と来館前の事前学習(YouTube 動画の視聴)で対応した。

■小学生美術鑑賞会の受け入れ(平成19年度からの継続事業)

学芸員によるガイダンス、館内案内およびワークシートを用いた補助プログラムほか、鑑賞の前に、児童・生徒向けパンフレットを配付し鑑賞マナーについて啓発を行なう。平成20年度から始めたボランティアと学芸員との連携による児童の誘導および展示室での対話鑑賞に取り組む。

実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「遠足」活動のみ実施

no.	実施日	来館時間	学校名	クラス数	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	8月30日(火)	10:00~11:30	明浜小学校	4	124	6	130
2	8月30日(火)	13:00~14:30	大津小学校	2	63	3	66
3	8月31日(水)	10:00~11:30	粟田小学校	2	48	3	51
4	8月31日(水)	13:15~14:45	沢山小学校	1	15	2	17
5	9月1日(木)	10:00~11:30	衣笠小学校	2	77	3	80
6	9月1日(木)	13:40~14:50	田戸小学校	3	95	4	99
7	9月2日(金)	10:00~11:30	船越小学校	3	82	4	86
8	9月2日(金)	13:30~14:30	大矢部小学校	2	64	4	68
9	9月13日(火)	13:00~14:30	汐入小学校	1	18	3	21
10	9月20日(火)	10:00~11:30	森崎小学校	3	105	4	109
11	9月20日(火)	13:00~14:30	大塚台小学校	3	89	4	93
12	9月22日(木)	10:00~11:30	武山小学校	2	81	3	84
13	9月22日(木)	14:00~15:00	走水小学校	1	14	2	16
14	10月4日(火)	10:00~11:30	望洋小学校	2	55	3	58
15	11月4日(金)	12:30~13:45	浦郷小学校	4	126	6	132
16	11月9日(水)	10:00~11:30	諏訪小学校	2	48	4	52
17	11月22日(火)	13:00~14:30	浦賀小学校	2	68	3	71
18	11月24日(木)	13:30~15:00	北下浦小学校	2	40	4	44
19	11月25日(金)	10:00~11:30	公郷小学校	3	121	4	125
20	11月25日(金)	13:00~14:15	城北小学校	3	92	4	96
21	11月28日(月)	10:00~11:30	津久井小学校	2	51	4	55
22	11月29日(火)	13:00~14:30	山崎小学校	3	78	4	82
23	11月30日(水)	13:00~14:30	池上小学校	3	111	6	117
24	12月2日(金)	13:00~14:30	神明小学校	2	78	6	84
25	12月9日(金)	13:15~14:45	大楠小学校	3	85	5	90
26	12月13日(火)	10:00~11:30	荻野小学校	1	25	2	27
27	12月15日(木)	13:00~14:30	鶴久保小学校	3	92	5	97
28	12月20日(火)	13:30~15:00	豊島小学校	2	43	3	46
29	1月12日(木)	10:00~11:30	追浜小学校	1	17	2	19
30	1月12日(木)	13:30~15:00	高坂小学校	2	67	3	70
31	1月13日(金)	10:00~11:30	岩戸小学校	2	58	3	61
32	1月13日(金)	13:10~14:40	田浦小学校	1	30	3	33
33	1月16日(月)	10:00~11:30	鴨居小学校	2	57	3	60
34	1月16日(月)	13:00~14:30	桜小学校	1	40	2	42
35	1月17日(火)	10:00~11:30	馬堀小学校	2	47	4	51
36	1月17日(火)	13:30~14:30	長浦小学校	1	25	2	27
37	1月18日(水)	10:00~11:30	久里浜小学校	3	118	5	123
38	1月19日(木)	10:00~11:30	逸見小学校	1	18	3	21
39	1月19日(木)	13:30~14:30	富士見小学校	1	40	2	42
40	1月20日(金)	13:00~14:30	鷹取小学校	2	55	3	58
41	1月23日(月)	13:00~14:30	長井小学校	2	46	4	50
42	1月26日(木)	10:00~13:00	夏島小学校	2	70	4	74
43	1月26日(木)	13:00~14:30	根岸小学校	3	101	5	106
44	1月27日(金)	10:00~11:30	野比東小学校	2	79	4	83
45	1月27日(金)	13:30~15:00	小原台小学校	2	70	4	74
46	2月10日(金)	13:00~14:30	野比小学校	3	90	4	94
合計				99	3016	168	3,184

■第75回児童生徒造形作品展団体来館(小学生美術鑑賞会以外)

no.	実施日	来館時間	学校名	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	1月12日(木)	11:00~11:30	鴨居小学校5年	73	3	76
2	1月17日(火)	10:00~10:45	鴨居小学校1年	43	3	46
3	1月19日(木)	11:00~13:00	久里浜相談教室	5	2	7
4	1月20日(金)	10:20~11:30	ろう学校	9	10	19
5	1月20日(金)	11:00~11:30	鴨居小学校3年	51	4	55
6	1月20日(金)	13:30~14:15	鴨居小学校4年	51	3	54
7	1月20日(金)	14:15~15:05	走水小学校5、6年	38	4	42
8	1月25日(水)	11:00~11:30	鴨居小学校2年	50	3	53
9	1月27日(金)	10:30~11:30	走水小学校1、2年	8	3	11
10	1月27日(金)	11:30~14:00	三浦市立岬陽小学校5年	20	3	23
合計				348	38	386

■その他の学校等対応(ガイダンスその他の鑑賞支援を実施した学校等)

no.	実施日	来館時間	学校名	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	6月2日(木)	10:00~11:30	市立養護学校小学校	6	7	13
2	6月3日(金)	10:00~11:30	市立養護学校小学校	7	8	15
3	9月21日(水)	10:00~11:30	市立養護学校	2	3	5
4	10月5日(水)	10:00~13:00	藤沢市立点字図書館	9	15	24
5	11月30日(水)	11:00~12:30	東京都江東区特別支援学校	31	18	49
合計				55	51	106

■保育園鑑賞会

平成 24 年度から、保育課との連携により、市立保育園の年中・年長児に対する鑑賞支援活動を始めた。作品をパネル化した教材をもって学芸員が保育園に出向く「出前」活動と、その後、保育園児が来館して対話鑑賞を行う「遠足」活動とをセットにして実施している。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和 4 年度は「遠足」活動のみを実施した。

〈内容〉 出前＝作品を使ったパズルやゲームなど(令和 4 年度は実施せず)
遠足＝対話鑑賞をベースとした学芸員によるギャラリーツアー。展示作品を基にした作品づくりなどのアクティビティ。

実施状況 新型コロナウイルス感染拡大防止のため「遠足」活動のみ実施

no.	実施日	時間	園名	対象	内容	人数
1	6月1日(水)、3日(金)	10:00～11:00	*パンダ保育園	年長 年中	出前	27
2	7月13日(水)	10:00～11:00 ／13:00～14:00	中央こども園	年長	遠足	13
3	7月26日(火)	10:00～11:00	森崎保育園	年長	遠足	21
4	9月22日(木)	10:00～11:00	津久井保育園	年長	遠足	12
5	10月20日(水)	10:00～11:00	追浜保育園	年長	遠足	23
6	2023年1月18日(火)	10:00～11:00	鴨居保育園	年長	遠足	14
7	1月24日(火)	10:00～11:00 ／13:00～14:00	武山保育園	年長	遠足	14
8	1月25日(水)	10:00～11:00	舟越保育園	年長	遠足	15
※追浜商店街の協力のもと、同商店街・エルシャンテにて、7月2日(土) ～18日(祝・月) の間、園児が制作した作品を展示した				全8園・9回		139

■中学生のための美術鑑賞教室

例年、夏休み中の中学生を対象とした「中学生のための鑑賞教室」を開催している。美術館についての説明と展示室での自由鑑賞を中心に実施する。

運慶展教育普及事業の一環として、中学生のための美術鑑賞教室特別編「運慶入門」を開催した。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和 4 年度の「中学生のための美術鑑賞教室」は事前申込制で開催した。「中学生のための横須賀美術館鑑賞ガイド」(P.63)を美術館受付で配布し、あわせて美術館 HP、ツイッター、Facebook に PDF を掲載した。

中学生のための美術鑑賞教室 特別編「運慶入門」

no.	実施日	時間	講師	人数(人)		
				中学生	その他(先生・保護者)	合計
1	7月28日(木)	13:30～14:30	土川憲弥(浄楽寺副住職)	10	3	13

中学生のための美術鑑賞教室

no.	実施日	時間	講師	人数(人)		
				中学生	その他(先生・保護者)	合計
1	8月2日(火)	13:30～	当館学芸員	1	1	2
2	8月4日(木)	13:30～		2	0	2
3	8月16日(火)	13:30～		4	3	7
4	8月18日(木)	13:30～		1	0	1
合計				18	7	25

■中学生職場(職業)体験の受入れ

例年、横須賀市立中学校からの依頼にもとづき、2年生の職場(職業)体験の受け入れを行っている。

なお例年同様令和4年度も、受け入れ態勢を計画的に整備する必要上、前年度末に教育委員会を通して受け入れ希望校を集約することとした。受け入れ生徒数は1日6名以内(1校2、3名程度)で、美術に関心のある生徒に限定して受け入れる旨も、あらかじめ各校に伝えた。

■展覧会図録

no.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	6月28日(火)～30日(木)	3	田浦中学校	2
2	12月5日(月)～7日(水)	3	馬堀中学校	2
3	11月10日(木)*	1	北下浦中学校	3
4	1月18日(水)～19日(木)	2	不入斗中学校	2

*職場体験代替として職員へのインタビューを実施

■高校生インターンシップの受入れ

例年、神奈川県内の高等学校からの依頼にもとづき、高校生インターンシップの受け入れを行っている。

実施状況

no.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	7月28日(木)、29日(金)	2	神奈川県立津久井浜高等学校	1
			神奈川県立金沢総合高等学校	1

■学芸員実習の受入れ

実施日	日数	所属大学・専攻	人数(人)
7月25日(月)～27日(水)、 8月2日(火)～4日(木) 10時～17時 *うち1名については後半3日間 やむをえない事由により欠席 したため、8月20日、27日、30日 に振り替えて実施した。	6	信州大学人文学部人文学科芸術コミュニケーション分野	7
		金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科芸術学専攻	
		多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻	
		明治学院大学文学部芸術学科総合芸術学コース	
		八洲学園大学生涯学習学部生涯学習学科	
		清泉女子大学文学部文化史学科西洋美術史専攻	
青山学院大学総合文化政策学部総合文化政策学科			

■先生のための美術館‘もっと’活用講座

例年、学校教員を対象とした、美術館活用促進のための講座「先生のための美術館‘もっと’活用講座」を開催し、美術館が提供する教材や、その所蔵作品情報を積極的に活用して学校生活を充実させる試みについて、現場の先生方による実践例を紹介している。令和4年度は対面とオンライン(Zoom)のハイブリッドで開催した。

実施状況

no.	実施日	日数	内容	人数(人)
1	2023年3月28日(火) 14:00~16:00	1	先生のための美術館活用講座「アートカード ×ICT を活用した鑑賞プログラムづくり」 第1部「横須賀美術館アートカードについて」黒澤正道(横須賀市教育委員会指導主事) 第2部「アートカードと連動したICTを活用した鑑賞プログラムについて(意見交換会)」橋本典久(プリミティブメディアアーティスト)、重田佑介(映像作家/ピクセルアーティスト)	9

■アートカードの貸出

横須賀市立小・中学校の有志の先生方と美術館学芸員が1年以上の時間をかけて制作した「横須賀美術館アートカード」は、所蔵作品のうち64点がカード教材になっている。また、アートカードと同時に制作を行った指導案集には、学習指導要領にに応じた学習のめあてや評価基準などがまとめられている。

横須賀市立小・中学校にはアートカード、指導案集、指導記録DVDが教材セットとして配布され、授業等で活用されている。その他教育機関等の要望に応じて貸出も行っており、令和4年度は2件11セットの貸出を行った。

また、一般公開していたWeb版アートカードは、サーバーを管理している国立情報学研究所のセキュリティ強化対策により令和4年9月より一時停止としている。現在、希望する学校等には、認証付ブラウザを案内し対応している。令和4年度は1件の利用があった。

令和4年度の実績

アートカード2件

no.	貸出日	貸出先	貸出数(セット)
1	4月1日(土)	葉山町立長柄小学校	10
2	7月11日(月)	神奈川県立金沢養護学校	1
合計			11

Web版アートカード1件

no.	利用申込日	利用者
1	9月10日(土)	福島県いわき市立藤間中学校

1-2-4 ボランティアの活動

横須賀美術館では、平成 18 年度から始まった「開館記念イベント企画実施ボランティア」の活動を基盤として、開館後は新たに「サポートボランティア」「プロジェクトボランティア」の 2 種のボランティアを募集した。

平成 25 年度に、ボランティアの活動実態と要望に合わせて、活動内容の見直しを行った。その結果、平成 26 年度から、次の 5 つの内容で活動を行うこととした。

1. ギャラリートークボランティア
2. 小学校鑑賞会ボランティア
3. みんなのアトリエボランティア
4. プロジェクトボランティア
5. プロジェクト当日ボランティア

以下に、それぞれの活動内容を掲載する。

令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべてのボランティア活動を中止した。

■ギャラリートークボランティアの活動

- ①活動内容 --- 所蔵品展のギャラリートークを行う
- ②活動日時 --- ギャラリートークは毎週日曜日 14 時～ 15 時
研修は毎月 1 回、日曜日 10:30～ 12:00
- ③活動条件 --- 資格：日曜日に活動できること
- ④募集 --- 隔年 4～ 5 月
- ⑤研修 --- あり
- ⑥研修内容 --- 所蔵品展レクチャー 4 回 + 新規ボランティアメンバー向けのレクチャー 7 回
+ 館外研修 1 回(日曜日とは限らない) 計 12 回(年)
- ⑦任期 --- 1 年間(更新有)

所蔵品展ギャラリートーク 令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため所蔵品展ギャラリートークを中止。

研修の記録

no.	年月日	時間	内容	参加人数
1	2022年7月14日(木)	14:00～16:00	第2期所蔵品展レクチャー	14
2	2022年7月28日(水)	14:30～16:30	運慶展レクチャー	2
3	2022年10月13日(木)	14:00～16:00	猪熊展レクチャー	13
4	2022年10月27日(木)	14:00～16:00	第3期所蔵品展レクチャー	10
5	2022年12月1日(水)	14:00～15:30	スカジャン展レクチャー	0
			合計	39

■小学生美術鑑賞会ボランティアの活動

- ①活動内容 --- 小学生美術鑑賞会で来館する小学6年生の受入、鑑賞補助
- ②活動日時 --- 6月～翌年3月の各小学校が希望した日時(原則として平日)
- ③活動条件・資格 --- 平日に活動できること
事前研修に参加できること
最低月1回は活動できること
- ④募集 --- 毎年4～5月
- ⑤研修 --- あり
- ⑥研修内容 --- 企画展レクチャー6回+事前レクチャー4回
- ⑦任期 --- 1年間(更新有)

小学校鑑賞会の記録

no.	実施日	学校名	参加人数(人)
1	9月22日(木)10:00-11:30	武山小学校	2
2	9月22日(木)14:00-15:00	走水小学校	1
3	10月4日(火)10:00-11:30	望洋小学校	3
4	11月4日(金)12:30-13:45	浦郷小学校	6
5	11月9日(水)10:00-11:30	諏訪小学校	3
6	11月22日(火)13:00-14:30	浦賀小学校	2
7	11月24日(木)13:30-15:00	北下浦小学校	3
8	11月25日(金)10:00-11:30	公郷小学校	2
9	11月25日(金)13:00-14:15	城北小学校	3
10	11月28日(月)10:00-11:30	津久井小学校	3
11	11月29日(火)13:00-14:30	山崎小学校	1
12	11月30日(水)13:00-14:30	池上小学校	5
13	12月2日(金)13:00-14:30	神明小学校	3
14	12月9日(金)13:15-14:45	大楠小学校	0
15	12月13日(火)10:00-11:30	荻野小学校	1
16	12月15日(木)13:00-14:30	鶴久保小学校	4
17	12月20日(火)13:30-15:00	豊島小学校	3
18	1月12日(木)10:00-11:30	追浜小学校	1
19	1月12日(木)13:30-15:00	高坂小学校	2
20	1月13日(金)10:00-11:30	岩戸小学校	2
21	1月13日(金)13:10-14:40	田浦小学校	1
22	1月16日(月)10:00-11:30	鴨居小学校	1
23	1月16日(月)13:00-14:30	桜小学校	1
24	1月17日(火)10:00-11:30	馬堀小学校	2
25	1月17日(火)13:30-14:30	長浦小学校	1
26	1月18日(水)10:00-11:30	久里浜小学校	4
27	1月19日(木)10:00-11:30	逸見小学校	1
28	1月19日(木)13:30-14:30	富士見小学校	1
29	1月20日(金)13:00-14:30	鷹取小学校	2
30	1月23日(月)13:00-14:30	長井小学校	3
31	1月26日(木)10:00-13:00	夏島小学校	4
32	1月26日(木)13:00-14:30	根岸小学校	1
33	1月27日(金)10:00-11:30	野比東小学校	3
34	1月27日(金)13:30-15:00	小原台小学校	1
35	2月10日(金)13:00-14:30	野比小学校	5
合計			81

研修の記録

no.	年月日	時間	内容	参加人数(人)
1	2022年7月14日(木)	14:00～16:00	第2期所蔵品展レクチャー	0
2	2022年7月28日(水)	14:00～16:30	運慶展レクチャー	14
3	2022年10月13日(木)	14:00～16:00	猪熊展レクチャー	0
4	2022年10月27日(木)	14:00～16:00	第3期所蔵品展レクチャー	3
5	2022年12月1日(水)	14:00～15:30	スカジャン展レクチャー	8
合計				25

■みんなのアトリエボランティアの活動

- ①活動内容 --- 障害児者向けワークショップ「みんなのアトリエ」の補助
- ②活動日時 --- 毎月第3土曜日 13:00～16:00
- ③活動条件・資格 --- 18歳以上(高校生は不可)
土曜日の活動に参加できること。
- ④募集 --- 随時
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- 1年間(更新有)

ワークショップ補助活動の記録

no.	実施日	時間	内容	参加人数(人)
1	10月16日(土)	14:00～16:00	「新聞紙とガムテでオブジェを作ろう!」	4
2	11月20日(土)	14:00～16:00	「くんくんラボ」	2
3	12月17日(土)	14:00～16:00	「さわって楽しい 手ざわりBOXをつくろう!」	2
4	2023年1月21日(土)	14:00～16:00	「コネコネンド」	0
			合計	8

■プロジェクトボランティアの活動

- ①活動内容 --- ボランティアイベントの企画・準備・実施
- ②活動日時 --- 原則として、毎月第2・4土曜日 14:00～16:00。 ※ただし、この限りではない。
イベント前日および開催日
- ③活動条件・資格 --- 18歳以上(高校生は不可)、土曜日の活動に参加できること。
ボランティアイベントの当日ボランティアを一度経験すること。
- ④募集 --- 随時
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- 1年間(更新有)

■プロジェクト当日ボランティアの活動

- ①活動内容 --- プロジェクトボランティアが企画したボランティアイベントの補助
- ②活動日時 --- 年3回程度(春・秋・冬)
- ③活動条件・資格 --- 15歳以上(中学生は不可)
- ④募集 --- ボランティアイベントごと
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- ボランティアイベント当日のみ

活動の記録

no.	年月日	時間	活動内容	参加者数(人)	
				プロジェクトボランティア	プロジェクト当日ボランティア
1	2022年 4月 2日 土曜日	14:00～15:50	春イベント作業(いちご関係の制作)	7	—
2	2022年 4月 9日 土曜日	14:00～16:00	春イベント作業(いちご関係の制作)	7	—
3	2022年 4月16日 土曜日	14:00～16:00	春イベント作業(いちご関係の制作)	10	—
4	2022年 4月23日 土曜日	14:00～16:00	春イベント会議(最終確認)、作業(巨大いちご仕上げ)	9	—
5	2022年 4月29日 金曜日	14:00～17:00	春イベント 前日準備	9	1
6	2022年 4月30日 土曜日	8:15～17:00	春イベント「プライベートガリバーキャンパス」開催	11	2
7	2022年 5月14日 土曜日	14:00～16:00	春イベント振り返り	11	—
8	2022年 5月28日 土曜日	14:00～16:00	今後のイベント会議(クリスマスイベントの内容、秋にハロウィンイベントをやることについて検討)	4	—
9	2022年 6月11日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント会議(日程決定、かぶりもの案出し)	6	—
10	2022年 6月25日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(かぶりもの制作) 冬イベント会議(試作品による検討)	7	—
11	2022年 7月 9日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(かぶりもの制作)	9	—
12	2022年 7月23日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(かぶりもの制作)	7	—
8月は活動休止					
13	2022年 9月17日 土曜日	14:00～16:00	冬イベント作業(星型切り出し)	9	—
14	2022年 9月21日 水曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(巨大かぼちゃ制作)	2	—
15	2022年 9月24日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント会議(タイトル決定)、作業(巨大かぼちゃ制作) 冬イベント作業(星型とプラ板の切り出し)	10	—
16	2022年 9月28日 水曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(巨大かぼちゃ制作)	4	—
17	2022年10月 1日 土曜日	14:00～16:00	冬イベント作業(星側面切り出し、プラ板の貼り付け)	6	—
18	2022年10月 5日 水曜日	13:30～15:30	秋イベント作業(かぼちゃのペイント)	3	—
19	2022年10月 8日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(ハロウィンの飾り)	8	—
20	2022年10月12日 水曜日	14:00～16:00	秋イベント作業(ハロウィンの飾り仕上げ)	4	—
21	2022年10月22日 土曜日	14:00～16:00	秋イベント前日準備	9	—
22	2022年10月23日 日曜日	8:15～16:00	秋イベント「美術館でハロウィン2」開催	10	—
23	2022年11月12日 土曜日	14:00～16:00	冬イベント会議(タイトル決定、センターモニュメント提案)、 作業(星の角取り、サンプル制作)	9	—
	2022年11月19日 土曜日	10:00～12:00	冬イベント作業(サンプル、大きな星の制作)	6	—
24	2022年11月26日 土曜日		ジャズコンサートのため使用できる部屋がなく活動休止		
25	2022年12月 3日 土曜日	14:00～17:00	冬イベント作業(ソリ、サンプル制作、土台の針金切り等)	11	—
26	2022年12月10日 土曜日	14:00～17:00	冬イベント前日準備	10	1

no.	年月日	時間	活動内容	参加者数(人)	
				プロジェクトボランティア	プロジェクト当日ボランティア
27	2022年12月11日 日曜日	8:15～17:30	冬イベント 海の広場のメリークリスマス2022「光る星をつくろう!」開催	13	2
28	2022年12月26日 月曜日	10:00～11:00	冬イベント片付け(光る星の撤収)	7	—
29	2023年1月11日 水曜日	14:00～16:00	冬イベント振り返り、未返却の作品解体	9	—
30	2023年1月28日 土曜日	14:00～16:00	春イベント会議(提案、決定)	8	—
31	2023年2月11日 土曜日	14:00～16:00	春イベント会議(案検討)、作業(ハウス試作)	9	—
32	2023年2月25日 土曜日	14:00～16:00	春イベント会議(開催要項検討、ダンボールで作る大型家具の提案等)	10	—
33	2023年3月11日 土曜日	14:00～16:00	春イベント作業(すべり台、ティーカップ等制作)	13	—
34	2023年3月25日 土曜日	14:00～16:00	春イベント作業(すべり台、ティーカップ等完成)	11	—
			合計	278	6

■1-2-5 託児サービス

横須賀美術館では、講演会・ワークショップ等の参加者向けの託児サービスと、月1回の定期託児サービスを実施している。いずれの場合も対象は1歳から未就学児、事前申込制(各回5名まで)、無料。

なお、平成23年度から、土・日曜日だけではなく平日にも定期託児を実施している。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和元年度末から託児サービスを中止していたが、令和4年11月から再開した。令和4年度の実施状況は次の通りである。

活動の記録

no.	月日	種別/催事名	時間数(時間)	受託児数(人)
1	2022年11月4日(金)	定期託児	3	2
2	2022年11月19日(土)	「スカジャン展スペシャル対談」	2	1
3	2022年11月20日(日)	みんなのアトリエ	—	—
4	2022年11月23日(水)	おやこWS「干支の絵付け教室」	—	—
5	2022年11月25日(金)	定期託児	—	—
6	2022年12月20日(火)	定期託児	—	—
7	2023年1月13日(金)	定期託児	—	—
8	2023年2月14日(火)	定期託児	2.5	1
9	2023年3月17日(金)	定期託児	—	—
		合計	7.5	4

1-3 広報関連事業

美術館への来館を促進する広報活動の一環として、イベントを開催した。

no.	実施日	時間	タイトル	講師・演者	場所	参加者数(人)
1	7月15日(金)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in July 2022	灘部早紀(ヴァイオリン)、 永田美智子(ヴァイオリン)、 飯田絢子(ヴィオラ)、 安藤葉月(チェロ)	エントランス ホール	44
2	8月15日(月)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in August 2022	島田結衣(フルート)、吉川直貴(オーボエ)、 疋田遥香(ホルン)、千葉友希(クラリネット)、 田邊綾乃(ファゴット)	エントランス ホール	150
3	9月15日(木)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in September 2022	横森由衣(ソプラノ)、下園理恵(メゾソプラノ)、 和田祐樹(テノール)、宮本史利(バリトン)、 高梨壮一郎(オルガン)	エントランス ホール	50
4	10月1日(土)	18:30 ~19:30	横須賀美術館 オータムコンサート*	(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロによる弦楽四重奏) 灘部早紀(ヴァイオリン)、 永田美智子(ヴァイオリン)、 飯田絢子(ヴィオラ)、安藤葉月(チェロ)	エントランス ホール	100
5	10月15日(土)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in October 2022	安藤葉月(チェロ)、 山本珠里杏(ヴィオラ)、 石橋麻菜美(フルート)、 灘部早紀(ヴァイオリン)	エントランス ホール	50
6	11月15日(火)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in November 2022	島田結衣(フルート)、吉川直貴(オーボエ)、 疋田遥香(ホルン)、千葉友希(クラリネット)、 田邊彩乃(ファゴット)	エントランス ホール	50
7	12月10日(土)	18:30 ~19:30	横須賀美術館 クリスマスコンサート2022*	横森由衣(ソプラノ)、下園理恵(メゾソプラノ)、 和田祐樹(テノール)、宮本史利(バリトン)、 高梨壮一郎(オルガン/ピアノ)	エントランス ホール	77
8	12月15日(木)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in December 2022	灘部早紀(ヴァイオリン)、 永田美智子(ヴァイオリン)、 飯田絢子(ヴィオラ)、 安藤葉月(チェロ)	エントランス ホール	41
9	1月15日(日)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in January 2023	中山美希(ソプラノ)、下園理恵(メゾソプラノ)、 和田祐樹(テノール)、宮本史利(バリトン)、 福田るり子(ピアノ/オルガン)	エントランス ホール	70
10	2月15日(水)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in February 2023	荒井一穂(ギター)、 永田美智子(ヴァイオリン)、 石橋麻菜美(フルート)	エントランス ホール	65
11	3月15日(水)	9:30 ~9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in March 2023	島田結衣(フルート)、吉川直貴(オーボエ)、 疋田遥香(ホルン)、田邊彩乃(ファゴット)、 吉川清香(クラリネット)	エントランス ホール	72
12	3月25日(土)	18:30 ~19:30	横須賀美術館 スプリングコンサート2023*	(木管アンサンブル) 島田結衣(フルート)、吉川直貴(オーボエ)、 疋田遥香(ホルン)、田邊彩乃(ファゴット)、 吉川清香(クラリネット)	エントランス ホール	62

*一般財団法人シティサポートよこすかとの共催

2 刊行物

令和2年度に発行した刊行物は下記の通りである。

2-1 出版物

■ 展覧会図録

no.	図録の名称	発行年月日	販売価格(円)	発行	発行部数(部)
1	フランスのポスター 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館デザインコレクション2	2017年9月	1,650	青幻舎	490
2	運慶―鎌倉幕府と三浦一族	2023年7月	2,200	吉川弘文館	2,252
3	生誕120年 猪熊弦一郎展	2023年9月	2,200	横須賀美術館	800
4	PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展	2023年11月	2,200	横須賀美術館	2,500
5	キャラクターデザインの先駆者 土方重巳の世界展	2018年10月	2,546	NPO法人 古き良き文化を継承する会	871
6	清宮質文	2023年1月	1,000	横須賀美術館	800

* 1、2、5については取り扱い部数とする



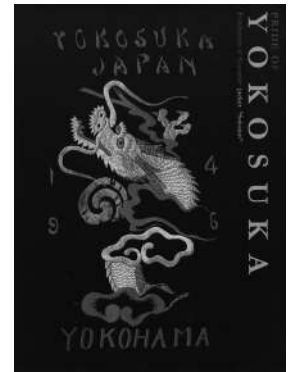
1



2



3



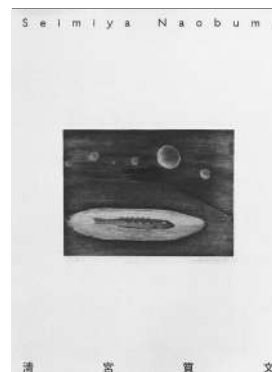
4



5



(ふろく)



6

2-2 配布物

■横須賀美術館ニュース「Corridart(コリダール)」

名称	発行年月	内容
横須賀美術館ニュース Corridart Vol.28	2022年10月	<p>○特集 開館15周年記念 つながるおもい 4名の作家で振り返る、横須賀美術館の寄贈作品</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 川端実 3.11直後の展示を機に寄贈された40点の大作 2 高田安規子・政子 美術館にそっと介入する作品の収蔵 3 若林奮 作家の遺志を継ぎ設置された巨大彫刻作品 4 谷内六郎 寄贈によって明らかになった仕事
		<p>○開催しました 「運慶―鎌倉幕府と三浦一族」 横須賀美術館 能「七騎落」</p>
		<p>○展覧会紹介 PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展 1 スーベニアジャケット 2 ドブ板通り</p>
		<p>○この1点 土谷武《蝉V》</p>
		<p>○お知らせ ただいまラジオ番組放送中 「まなび猫調査隊」/「遊びにきませんかスタジオへ」</p>

Carridart vol.28



A2四つ折(表面)



(中面)

■中学生のための鑑賞教室 鑑賞ガイド2022(2022年7月)



A3二つ折(表面)



(中面)

■年間スケジュール(2023年3月)



A4巻三つ折(表面)



(中面)

3 調査・研究活動

令和4年度は、2. 刊行物に掲載した通り、展覧会図録のほか、『横須賀美術館ニュース Corridart』等の刊行物を発行した。このなかで成果を発表した学芸員による調査・研究活動について以下に掲載する。

3-1 論文等

■展覧会図録

図録および横須賀美術館の印刷物等で発表した論文、執筆した解説等は次の通りである。

執筆者	内容	タイトル	掲載誌など
富田康子	コラム	コラム「運慶入門」	『運慶 鎌倉幕府と三浦一族』 (吉川弘文館、2022年7月)
	論文	「コロナ禍」と横須賀美術館2 教育普及事業の実施状況を中心に	『横須賀美術館年報(令和3年度版)』 (横須賀美術館、2022年10月)
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
工藤香澄	論文	ふるさと納税を活用した美術作品購入の取り組み	『横須賀美術館年報(令和3年度版)』 (横須賀美術館、2022年10月)
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
日野原清水	論文	《三人の娘》に描かれたイームズチェアについて	『生誕120年 猪熊弦一郎』(横須賀美術館、2022年9月)
	解説等	章解説、年譜、文献目録抄	『生誕120年 猪熊弦一郎』(横須賀美術館、2022年9月)
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
中村貴絵	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
立浪佐和子	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
沓沢耕介	作品解説	この1点 土谷武《蟬 V》	Corridart vol.28(横須賀美術館、2022年10月)
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
栗林陵	コラム	「ドブ板通り」の形成とその変遷	『PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展』 (横須賀美術館、2022年11月)
	解説等	章解説、第1章作品解説(No.1-88、1-91~94、2-2、 2-88、2-115を除く)、第2章モチーフ解説	『PRIDE OF YOKOSUKA スカジャン展』 (横須賀美術館、2022年12月)
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

4

収集・管理

4-1 作品収集

令和4年度の新収蔵品は、次のとおりである。

(1) 購入

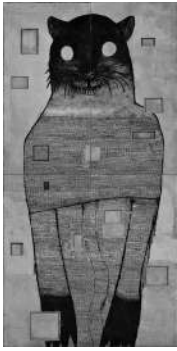
no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
1	日本画	長沢明	Mother III	2017(平成29)年	岩絵具、土、石膏、墨・寒冷紗	366.0×184.0
2	版画	天野純治	field of water #19051	2019(平成31/令和元)年	シルクスクリーン、ステンシル・紙	81.0×110.5

(2) 寄贈

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
1	日本画	内田あぐり	分水界	2020(令和2)年	岩絵具、顔料、墨、膠・楮紙、紙漉、雲肌麻紙	180.0×800.0
2	素描	内田あぐり	《分水界》エスキース	2020(令和2)年	鉛筆・紙	25.0×79.0
3	油彩	鳥海青児	石の街(インカ)	1961(昭和36)年	油彩・画布	91.0×116.0
4	油彩	原精一	[三人の女]	1970-75(昭和45-50)年頃	油彩・画布	100.0×100.0
5	油彩	朝井閑右衛門	[ファルス(C)]	1959(昭和34)年頃	油彩・紙	94.0×60.5
6	資料	朝井閑右衛門 旧蔵	モデル人形	不詳		112.0×60.0 ×90.0
7	資料	朝井閑右衛門 旧蔵	木馬	不詳		110.0×120.0 ×43.0
8	資料	朝井閑右衛門	「カエツクレ」と書いた木札	不詳	板	33.3×20.3
9	油彩	杉本賢司	仮面(狐火)	1987(昭和62)年	油彩・画布	130.5×162.0
10	油彩	天野純治	the warm snow #02011	2020(令和2)年	アクリル、鉛・紙	80.5×110.5
11	油彩	天野純治	the warm snow #02015	2020(令和2)年	アクリル、鉛・紙	80.5×110.5
12	版画	天野純治	field of water #20502	2020(令和2)年	シルクスクリーン、 ステンシル・紙	81.0×110.5
13-1	素描	谷内六郎	[雑居ビルと信号機] (映画タイトルバック原画『社長三代記』②)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン・紙	48.5×93.7
13-2	素描	谷内六郎	[カウンターバーと婦人小物] (映画タイトルバック原画『社長三代記』③)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン、水彩・紙	48.3×93.5
13-3	素描	谷内六郎	[社長と部下] (映画タイトルバック原画『社長三代記』④)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン、水彩・紙	48.0×93.5
13-4	素描	谷内六郎	[都会] (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』①)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン・紙	46.5×91.5
13-5	素描	谷内六郎	[悠然たる社長と忙しい職場] (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』③)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン、水彩・紙	46.5×91.5
13-6	素描	谷内六郎	[邸宅と屋台] (映画タイトルバック原画)	1957-58(昭和32-33)年頃	クレヨン、水彩・紙	46.5×90.5

(1) 購入

no.1



長沢明 Mother III
2017(平成29)年、366.0×184.0
購入 日本画
岩絵具、土、石膏、墨・寒冷紗

no.2



天野純治 field of water #19051
2019(平成31/令和元)年、81.0×110.5
購入 版画
シルクスクリーン、ステンシル・紙

(2) 寄贈

no.1



内田あぐり 分水界
2020(令和2)年、180.0×800.0
寄贈 日本画
岩絵具、顔料、墨、膠・楮紙、紙漉、雲肌麻紙

no.2



内田あぐり 《分水界》エスキース
2020(令和2)年、25.0×79.0
寄贈 素描
鉛筆・紙

no.3



鳥海青児 石の街(インカ)
1961(昭和36)年、91.0×116.0
寄贈 油彩
油彩・画布

no.4



原精一 〔三人の女〕
1970-75(昭和45-50)年頃、100.0×100.0
寄贈 油彩
油彩・画布

no.5



朝井閑右衛門 [ファルス(C)]
1959(昭和34)年頃、94.0×60.5
寄贈 油彩
油彩・紙

no.6



朝井閑右衛門 旧蔵 モデル人形
不詳、112.0×60.0×90.0
寄贈 資料

no.7



朝井閑右衛門 旧蔵 木馬
不詳、110.0×120.0×43.0
寄贈 資料

no.8



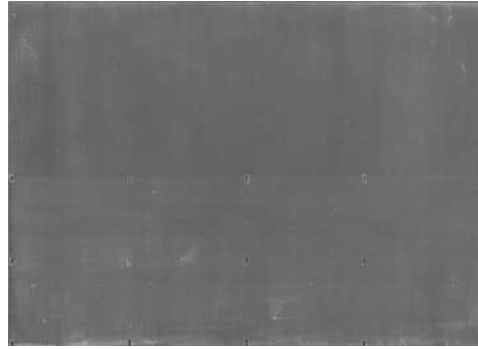
朝井閑右衛門 「カエツクレ」と書いた木札
不詳、33.3×20.3
寄贈 資料
板

no.9



杉本賢司 仮面(狐火)
1987(昭和62)年、130.5×162.0
寄贈 油彩
油彩・画布

no.10



天野純治 the warm snow #02011
2020(令和2)年、80.5×110.5
寄贈 油彩
アクリル、鉛・紙

no.11



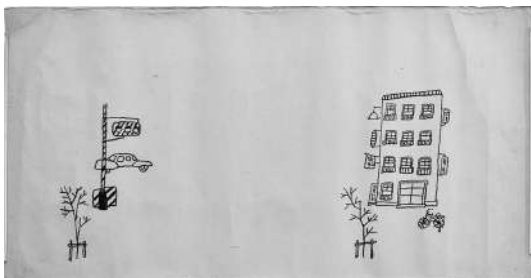
天野純治 the warm snow #02015
2020(令和2)年、80.5×110.5
寄贈 油彩
アクリル、鉛・紙

no.12



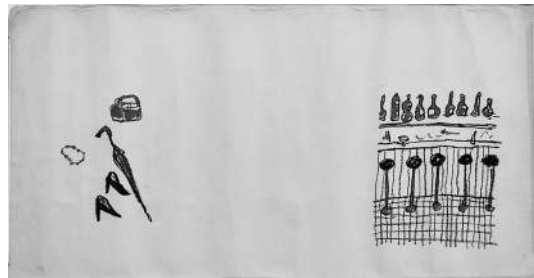
天野純治 field of water #20502
2020(令和2)年、81.0×110.5
寄贈 版画
シルクスクリーン、ステンシル・紙

no.13-1



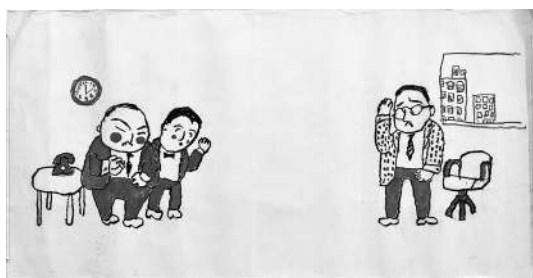
谷内六郎 [雑居ビルと信号機]
(映画タイトルバック原画『社長三代記』②)
1957-58(昭和32-33)年頃、48.5×93.7
寄贈 素描
クレヨン・紙

no.13-2



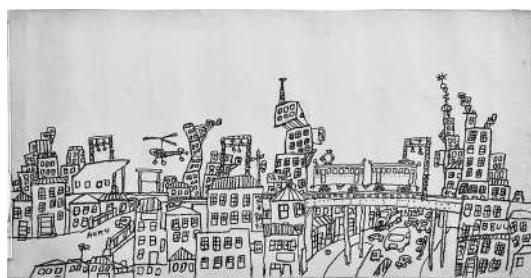
谷内六郎 [カウンターバーと婦人小物]
(映画タイトルバック原画『社長三代記』③)
1957-58(昭和32-33)年頃、48.3×93.5
寄贈 素描
クレヨン、水彩・紙

no.13-3



谷内六郎 〔社長と部下〕
 (映画タイトルバック原画『社長三代記』④)
 1957-58(昭和32-33)年頃、48.0×93.5
 寄贈 素描
 クレヨン、水彩・紙

no.13-4



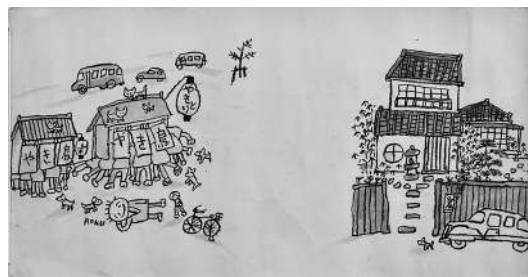
谷内六郎 〔都会〕
 (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』①)
 1957-58(昭和32-33)年頃、46.5×91.5
 寄贈 素描
 クレヨン・紙

no.13-5



谷内六郎 〔悠然たる社長と忙しい職場〕
 (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』③)
 1957-58(昭和32-33)年頃、46.5×91.5
 寄贈 素描
 クレヨン、水彩・紙

no.13-6



谷内六郎 〔邸宅と屋台〕
 (映画タイトルバック原画)
 1957-58(昭和32-33)年頃、46.5×90.5
 寄贈 素描
 クレヨン、水彩・紙

4-2 保存・修復

4-2-1 保存

作品保存の観点から、収蔵・展示施設内の環境調査を年2回実施した。

期間	第1回	第2回
	5月9日～6月10日	7月19日～8月23日
①昆虫類調査	収蔵施設では昆虫類の影響はほぼない。 BF・谷内館展示室、閉架書庫でチャタテムシを多数確認。	収蔵施設では昆虫類の影響は少ない。 BF・谷内館展示室、閉架書庫でチャタテムシを多数確認。
②菌類調査	収蔵施設では浮遊菌は少なく、良好な環境。	収蔵施設では浮遊菌はほぼなく、良好な環境。
③気相調査	すべての測定箇所良好。	すべての測定箇所良好。

①昆虫類調査

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解庫
粘着式 トラップ (歩行性 昆虫)	設置箇所	18	12	3	4	3
	第1回	捕獲なし	捕獲なし	捕獲なし	チャタテムシ3	コバ I 4 / フョウバ I 3 チャタテムシ3 / コバ I 2 その他2
	第2回	チャタテムシ3	チャタテムシ3	チャタテムシ3	捕獲なし	チャタテムシ3 / フョウバ I 2 カ2 / コバ I 2 その他5
		1F展示室(1～3)	1Fギャラリー(1～3)	BF展示室(4～8)	BFギャラリー(南)	BFギャラリー(西)
	設置箇所	8	4	6	4	3
	第1回	チャタテムシ2 クモ1	チャタテムシ4 / クモ3 フョウバ I 2 / その他2	チャタテムシ10 / コバ I 2 その他2	チャタテムシ7 / コバ I 2 フョウバ I 2 / その他2	アリ2 コバ I 1
	第2回	アリ4 コバ I 1	チャタテムシ2 / コバ I 1 ダンゴムシ1	チャタテムシ13 / クモ2 その他3	チャタテムシ14 ゴキブリ1	チャタテムシ7 / フョウバ I 2 その他2
		BFギャラリー(北)	谷内館展示室1	谷内館展示室2	閉架書庫1	閉架書庫2
	設置箇所	4	4	1	3	3
	第1回	チャタテムシ8 / フョウバ I 6 コバ I 2 / その他2	コバ I 9 / チャタテムシ3 アリ2 / その他4	ゴキブリ1	チャタテムシ34 クモ1	チャタテムシ23 クモ1
第2回	アリ8 / チャタテムシ6 コバ I 2 / ハンミョウ2 フョウバ I 2 / その他5	チャタテムシ63 / コバ I 12 その他3	チャタテムシ3	チャタテムシ21 / クモ2 その他3	チャタテムシ79 その他3	

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解庫
フェロモントラップ (タバコシバンムシ ・ジンサンシバンムシ ・カツオブシムシ類)	設置箇所	3種×2	3種×2	—	3種	—
	第1回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—
	第2回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—

②菌類調査(空中浮遊菌)

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解庫
第1回	調査箇所	4	3	1	1	1
	一般真菌	1	1	3	6	5
	好稠性真菌	0	1	3	0	5
第2回	一般真菌	0	0	0	1	5
	好稠性真菌	0	0	0	4	9

※数値は、一定時間空気に曝露したサンプル(アガーストリップ)に付着した菌の数 ※好稠性真菌:乾燥を好む種類の真菌(カビ)

③気相調査 ※基準濃度→有機酸(酢酸):175ppb アンモニア:30ppb

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫
第1回	測定箇所	5	3	1	1
	有機酸	基準値内	基準値内	基準値内	基準値内
	アンモニア	基準値内	基準値内	基準値内	基準値内
第2回	有機酸	基準値内	基準値内	基準値内	基準値内
	アンモニア	基準値内	基準値内	基準値内	基準値内

※基準濃度→有機酸(酢酸):175ppb アンモニア:30ppb

4-2-1 修復・額装

木パネルに装幀されていた水墨画1点について、表装に不具合を生じていたことから、洗浄、保全処置を施したうえで、額装に改めた。油彩作品7点について、固定状態や映り込みの改善を目的とした額の改修または調整を行った。うち油彩作品1点については、既存額の活用が難しかったため、意匠を継承しつつ新規に額装した。当年度に寄贈により受け入れた紙作品6点について、作品保全と同時に汎用額による展示を可能とするため、ブックマット装を施した。

no.	内容	作家名	作品名	制作年	作品種別
1	修復・新規額装	朝井閑右衛門	蘇州城外月一照	1945年	日本画
2	額改修	朝井閑右衛門	素描する人	1934年頃	油彩
3	額改修	朝井閑右衛門	三人の道化	1965年	油彩
4	新規額装	朝井閑右衛門	人形(A)	1975年	油彩
5	額改修	朝井閑右衛門	画室	1933年頃	油彩
6	額改修	朝井閑右衛門	田浦風景	不詳	油彩
7	額調整	朝井閑右衛門	汪兆銘肖像	1940年	油彩
8	額調整	朝井閑右衛門	車内読書	1932年頃	油彩
9	ブックマット装	谷内六郎	〔雑居ビルと信号機〕 (映画タイトルバック原画『社長三代記』②)	1957-58年頃	素描
10	ブックマット装	谷内六郎	〔カウンターバーと婦人小物〕 (映画タイトルバック原画『社長三代記』③)	1957-58年頃	素描
11	ブックマット装	谷内六郎	〔社長と部下〕 (映画タイトルバック原画『社長三代記』④)	1957-58年頃	素描
12	ブックマット装	谷内六郎	〔都会〕 (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』①)	1957-58年頃	素描
13	ブックマット装	谷内六郎	〔悠然たる社長と忙しい職場〕 (映画タイトルバック原画『続・社長三代記』③)	1957-58年頃	素描
14	ブックマット装	谷内六郎	〔邸宅と屋台〕 (映画タイトルバック原画)	1957-58年頃	素描

4-3 作品の貸出

所蔵作品および寄託中の作品について、下記のとおり 5 件、68 点の貸出を行った。

no.	作品	点数	展覧会	会場(会期)
1	内田あぐり《分水界》 *寄託作品(展覧会后、令和4年度中に寄贈)	1	内田あぐり 在 Existence 展	佐喜真美術館 (9月16日~11月13日)
2	谷内六郎《上總の町は貨車の列 火の 見の高さに海がある》《海のサイダー》《 朝》《雲の物語》《ひき潮の忘れもの》《波 のケシゴム》《船が編むレース》《霧のミ ルクも来てた》《ぼく買ったって言はない よ》《ひらきの魚拓》《さゝ波はカスリ 沖 はヨコジマを織る》《船の山びこ》《貝の レーシングカー》《雪と波との合戦》《青 い曲》《おじさんに似てるわよ》《夕焼を 消す人》《夜のサイレン》《太鼓の音はお なかにひゞく》《湯気の音》《初雪は北風 の赤ちゃん》《ミシンの音》《すりばちの音 》《逃げる方に来る煙》《みかん》《吹雪の わたあめ屋》《天井の記憶》《こずえの音》 《雪野のファスナー》《買ってもらった気 持》《わけてあげたの》《夜中の水音》《月 夜の蚊帳》《色々な雨だれの音がきこえ る》《瓦が波に見えた日》《雪の宇宙人》 《北の果の年輪》《まりもの夢》《春の音》 《貝の夢》《わだちのシロホン》《月光の曲 》《夜明の音階》《冬の曲》《雨だれの春の 序曲》《冬を刻む音》《小川の音》《枯葉は 昔のあそびをしてる》《風の音 スイス にて》《月光のハーブ》	50	壁画《芽の出る音》50年記念 谷内六郎展	苫小牧市美術博物館 (9月17日~11月6日)
	谷内六郎《夜明の海辺》《海の上の月》 《月の海辺》《ヨコハマ》《とまこまいの牧場 にて》《霧深きオロフレ峠》《はっぱの音 がアイヌの笛 太郎北海道旅行の日(六 郎しるす)》《『旅の絵本』より「空想の北 海道」挿絵》《つぎだらけの春》《波のピア ノ》《春の来る音》 *以上11点は寄託作品	11		
3	横山大観《陶靖節》	1	〈特別展〉 開館35周年記念 横山大観 一心によりて筆生ずー	名都美術館 (10月14日~12月11日)
4	高橋由一《相州江之島図》 亀井竹二郎《美濃国地獄谷景》《富士遠望図》 *いずれも寄託作品	3	記録する眼 豊穰の時代 明治の画家 亀井至一・ 竹二郎兄弟をめぐる人々	郡山市立美術館 (11月3日~2023年1月9日)
5	横山大観《陶靖節》 川端龍子《自画像(草露行)》	2	開館60年特別展 横山大観と川端龍子	大田区立龍子記念館 (2023年2月11日~3月12日)

5 図書室

5-1 図書室

日本近代美術史研究者として知られる匠秀夫氏（1924～1994）から寄贈を受けた旧蔵書をもとに、美術専門の図書室として一般に公開している。美術に関する図書資料を収集、整理、保存、公開することを活動の目的とする。

5-1-1 所蔵資料数

図書室の所蔵資料数及び令和4年度の受入登録数は次の通りである。

■図書・カタログ登録冊数

	受入登録数(冊)			収蔵総数(冊)		
		和書	洋書		和書	洋書
図書	290	287	3	19,073	18,458	615
カタログ	387	377	10	15,102	14,705	397
合計		677			34,175	

■逐次刊行物タイトル数

	受入登録数(誌)	収蔵総数(誌)
雑誌	13	542
年報・紀要類	5	257

■他所蔵点数

	受入登録数(点)	収蔵総数(点)
AV資料 (DVD、CD)	2	114

5-1-2 利用統計

年月	開室日数(日)	入室者数(人)	コピー機利用(枚)
2022年4月	29	1,201	4
5月	30	1,308	33
6月	25	977	29
7月	29	1,509	47
8月	30	2,480	171
9月	29	1,327	29
10月	30	926	41
11月	29	894	19
12月	24	638	26
2023年1月	24	893	0
2月	27	821	15
3月	30	950	7
令和4年度合計	336	13,924	421

6 記録

6-1 組織

6-1-1 外部組織

■ 運営評価委員会

横須賀美術館の運営・事業計画および実績が適切なものであるかについて評価し、適正化を図るため、平成19年度より横須賀美術館評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館運営評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館運営評価委員会」と改めた。

令和4年度の委員は次の通りである。

委員長	小林 照夫(関東学院大学名誉教授)
副委員長	菊池 匡文(横須賀商工会議所専務理事)
委員	柏木 智雄(横浜美術館副館長)
委員	安藤 浩史(観音崎京急ホテル社長)
委員	三浦 匡(横須賀市立馬堀小学校校長)
委員	川口 香世(市民委員)
委員	鈴木 優子(市民委員)

■ 美術品評価委員会

本市における美術品取得について、適正かつ円滑な選定評価を行うため、美術品選定評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館美術品評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館美術品評価委員会」と改めた。

令和4年度の委員は次の通りである。

【委員名簿】

委員長	新畑 泰秀(石橋財団アーティゾン美術館学芸課長)
委員	小泉 淳一(茨城県天心記念五浦美術館館長)
委員	長門 佐季(神奈川県立近代美術館企画課長)
委員	光田 由里(多摩美術大学教授)
委員	山梨 絵美子(千葉市美術館館長)

6-1-2 委員会の開催記録

■ 運営評価委員会

令和4年度第1回会議

日時: 令和4年8月18日(木) 14:00~15:00

場所: 横須賀美術館 ワークショップ室

令和4年度第2回会議

日時: 令和5年1月(書面会議)

令和4年度第3回会議

日時: 令和5年3月30日(木) 14:00~15:30

場所: 横須賀美術館 ワークショップ室

■ 美術品評価委員会

令和4年度会議

日時: 令和4年9月1日(木) 14:00~17:00

場所: 横須賀美術館 ワークショップ室/収蔵庫

6-1-3 職員等

令和4年度のおもな美術館職員は次の通りである。

【名簿】					
館長	倉林 孝英	学芸員(主査)	富田 康子	図書スタッフ	北峰 直美
美術館運営課長	岡本 剛彦		工藤 香澄		嘉山 久美子
総務係長	下田 哲央	学芸員(主任)	日野原 清水		立花 恵子
主査	小川 淳太郎(～9月)		中村 貴絵		山田 美恵
主任	八島 裕子		立浪 佐和子		中原 直子
主任	安陪 萌菜美		杵沢 耕介		
担当	本間 佑太郎	学芸スタッフ	林田 ゆみ子		
広報スタッフ	江山 玲奈(～7月)		栗林 陵		
広報スタッフ	伊賀 茜(8月～)				
管理事務スタッフ	秋田 正司				

6-2 開館日数・観覧者数

令和4年度の美術館開館日数、観覧者数は次の通りである。

開館日数 336日

観覧者数 142,690人(うち有料94,031人、無料48,659人)

6-3 歳入・歳出

令和4年度の美術館に関わる歳入・歳出は次の通りである。

6-3-1 歳入

美術館観覧料	83,850,649円
美術館駐車場使用料	15,338,880円
特別利用料	10,500円
国庫補助金	9,025,000
美術品等取得基金収入	45円
美術館展覧会事業指定寄附	500,000円
美術品等取得基金事業指定寄附	26,600,848円
美術品等取得基金繰入金	2,500,000円
図録売払代等雑入	18,205,118円
(計)	158,131,040円

6-3-2 歳出

給与費	120,041,109円
美術館展覧会事業費	89,374,943円
美術館教育普及事業費	4,983,476円
美術品収集管理保管事業費	7,790,554円
美術館運営事業費	6,488,994円
美術館管理事業費	307,242,443円
美術品等取得基金	26,600,893円
(計)	562,522,412円

7-1 条例等

7-1-1 美術館条例

平成18年6月14日
 条例第35号
 改正 平成25年12月17日条例第76号
 令和元年9月25日条例第11号
 令和3年12月17日条例第74号

美術館条例をここに公布する。

美術館条例

(設置)

第1条 美術を通じたさまざまな交流の機会を提供し、市民の美術に対する理解と親しみを深め、もって文化の向上を図るため、本市に博物館法(昭和26年法律第285号)に基づく美術館を設置する。

(位置及び名称)

第2条 美術館の位置及び名称は、次のとおりとする。

位置 横須賀市鴨居4丁目1番地
 名称 横須賀美術館

(休館日等)

第3条 美術館の休館日等は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術館棟

ア 毎月の第1月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときを除く。)
 イ 12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 屋上広場及び駐車場 無休

2 市長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に美術館棟の休館日を変更し、若しくは設け、又は屋上広場若しくは駐車場の休場日を設けることができる。

3 臨時に休館し、又は休場するときは、その都度美術館前にその旨を掲示するものとする。

(令3条例74・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び開場時間は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長において特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) 美術館棟

ア 1月から5月まで(4月29日から5月5日までの日を除く。)及び10月から12月まで 午前10時から午後6時まで

イ 6月から9月まで(土曜日を除く。) 午前10時から午後7時まで

ウ 6月から9月までの土曜日及び4月29日から5月5日までの日 午前10時から午後8時まで

(2) 屋上広場 午前9時から午後9時30分まで

(3) 駐車場 午前8時から午後10時まで

(令3条例74・一部改正)

(観覧料及び使用料)

第5条 展示室に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 駐車場を使用しようとする者は、使用料を納付しなければならない。

3 観覧料及び使用料の額は、別表のとおりとする。

4 前項の規定にかかわらず、市制施行記念日(その日が日曜日以外の日に当たるときは、その日に最も近い日曜日)又は国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に美術作品等を観覧する場合は、観覧料を無料とする。

5 観覧料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

6 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用許可)

第6条 美術館に収蔵されている美術作品等の営利を目的とした模写、模造若しくは撮影又は当該美術作品等の写真の原版若しくは電磁的記録の使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、特別利用の許可について条件を付することができる。

3 市長は、管理上支障があると認めるときは、特別利用の許可を取り消し、特別利用を制限し、又は特別利用の停止を命じなければならない。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用料)

第7条 特別利用の許可を受けた者については、1点1回につき2,100円の特別利用料を徴収する。

2 特別利用料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

3 市長は、特別の理由があると認めるときは、特別利用料を減免することができる。

(平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正)

(観覧料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び特別利用料は、還付しない。ただし、観覧又は特別利用をする者の責めによらない理由により観覧又は特別利用ができない場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(行為の禁止)

第9条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 物品の販売、寄付金の募集その他これらに類する行為(市長の許可を受けたときを除く。)
- (2) その他市長において管理上支障があると認める行為

(令3条例74・一部改正)

(入館の禁止)

第10条 次に掲げる者は、入館することができない。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物品を携帯する者
- (2) 他人に迷惑を及ぼし、又は秩序を乱すおそれのある者
- (3) その他市長において管理上支障があると認める者

(令3条例74・一部改正)

(その他の事項)

第11条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、市長が定める。

(令3条例74・一部改正)

附 則

この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成19年4月25日規則第64号により平成19年4月28日から施行)

附 則(平成25年12月17日条例第76号)抄

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(令和元年9月25日条例第11号)抄

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

1 観覧料

区分	観覧料	
	個人	20人以上の団体
常設展	15歳以下の都高校生を除く。	0円
	高校生、大学生及び65歳以上の者	280円
	一般	380円
企画展	15歳以下の都高校生を除く。	0円
	上記以外の者	その都度教育委員会が定める額

備考

1 企画展の観覧料には、常設展の観覧料を含むものとする。

2 次に掲げる者の観覧料は、無料とする。

(1) 規則で定める障害者及びその者を介助する者(障害者1人につき1人を限度とする。)

(2) 本市の区域内に住所を有する高校生

(3) 本市の区域内に存する高校に在学する者

2 使用料

区分	使用料	
普通自動車	1回1時間まで	320円 1回1時間を超えた場合は、320円に1時間を超えた時間30分までごとに160円を加算する。ただし、1,600円を超えるときは、1,600円とする。
自動二輪車及び原動機付自転車	1回につき	210円
上記以外の自動車	1回につき	1,570円

備考

1 普通自動車とは、道路交通法(昭和35年法律第105号)第3条に規定する普通自動車をいう。

2 自動二輪車とは、道路交通法第3条に規定する大型自動二輪車及び普通自動二輪車をいう。

3 原動機付自転車とは、道路交通法第2条第1項第10号に規定する原動機付自転車をいう。

7-1-2 美術館条例施行規則

令和4年4月1日

規則第25号

美術館条例施行規則を次のように定める。

美術館条例施行規則

(休館日、開館時間等の変更)

第1条 美術館条例(平成18年横須賀市条例第35号。以下「条例」という。)第3条第2項に規定する特に必要があると認めるとき及び条例第4条ただし書に規定する特別の理由があると認めるときは、次のとおりとする。

- (1) 美術館の施設の維持管理に係る行為を行うとき。
- (2) 美術館に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の展示替えを行うとき。
- (3) その他市長が必要と認めるとき。

(観覧の手続)

第2条 市長は、条例第5条の規定による観覧料の手続を経た者に対して、観覧券を交付するものとする。

2 前項の規定により観覧券の交付を受けた者がその日に再入館する場合は、美術館の入口において前項の観覧券を提示するものとする。

(使用の手続)

第3条 市長は、駐車場を使用しようとする者が駐車場に入場する際に、駐車券を交付するものとする。

2 前項の駐車券の交付を受けた者は、駐車場を使用した後、駐車場を出場する際に当該駐車券に使用料を添えて、提出しなければならない。

(高校生)

第4条 条例別表第1項の表に規定する高校生とは、次項に規定する高校に在学する者をいう。

2 条例別表第1項の表備考に関する部分第2項第3号に規定する高校とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する高等学校
- (2) 法第1条に規定する中等教育学校の後期課程
- (3) 法第1条に規定する高等専門学校
- (4) 法第1条に規定する特別支援学校の高等部
- (5) 法第124条に規定する専修学校の高等課程
- (6) 法第134条に規定する各種学校のうち高等学校に相当するもの
- (7) その他高等学校に相当する教育施設

(大学生)

第5条 条例別表第1項の表に規定する大学生とは、法第1条に規定する大学、法第124条に規定する専修学校(高等課程を除く。)、法第134条に規定する各種学校(高等学校に相当するものを除く。)又はこれらに相当する教育施設に在学する者をいう。

(障害者)

第6条 条例別表第1項の表備考に関する部分第2項第1号に規定する規則で定める障害者は、次に掲げる者とする。

- (1) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2) 療育手帳制度要綱(昭和48年厚生省発児第156号)の規定による療育手帳の交付を受けている者
- (3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

(観覧料及び使用料の減免)

第7条 条例第5条第6項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免の割合又は額は、次のとおりとする。

(1) 学校等(次に掲げるものをいう。以下同じ。)の職員又はこれに準ずる者が当該学校等の教育活動として当該学校等に在学し、又は在籍する者を引率して観覧するとき 観覧料及び使用料の10割

ア 法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園又はこれらに相当する教育施設

イ 法第1条に規定する中等教育学校の前期課程

ウ 法第1条に規定する特別支援学校の小学部、中学部又は幼稚部

エ 本市の区域内に存する第4条第2項に規定する高校

オ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設

(2) 前条各号のいずれかに該当する者が駐車場を使用するとき 使用料の10割

(3) 観覧券の交付を受けた者(前条各号のいずれかに該当する者を除く。)が駐車場を使用するとき。

ア 普通自動車 320円

イ 自動二輪車及び原動機付自転車 使用料の10割

(4) その他市長が特に必要と認めるとき 市長が定める割合

(観覧料及び使用料の減免手続)

第8条 条例第5条第6項の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第1号様式)に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。

2 条例第5条第6項の規定による使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書(第2号様式)に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、前条第2号の場合にあっては身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の提示をもって、前条第3号の場合にあっては当該駐車場を使用する日付けの観覧券の提示をもって前項の申請書の提出に代えることができる。

4 市長は、第1項の規定による申請を受けた場合において、観覧料の減免を決定したときは、観覧料減免決定通知書(第3号様式)を交付するものとする。

5 市長は、第2項の規定による申請を受けた場合において、使用料の減免を決定したときは、使用料減免決定通知書(第4号様式)を交付するものとする。

6 市長は、第3項の提示を受けたときは、減免決定の旨を口頭により伝えるものとする。

7 前各項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、観覧料及び使用料の減免に係る手続の一部を省略することができる。

(特別利用の許可手続)

- 第9条 条例第6条第1項の規定により美術作品等の特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第5号様式)を市長に提出しなければならない。この場合において、特別利用をしようとする美術作品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面を添付しなければならない。
- 2 市長は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用を許可したときは、特別利用許可決定通知書(第6号様式)を交付するものとする。

(特別利用料の減免)

第10条 条例第7条第3項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免割合は、次のとおりとする。

- (1) 当該特別利用が美術館の広報に資するとき 10割
- (2) 教育活動又は学術研究を目的として写真の原板又は電磁的記録を使用するとき 10割
- (3) その他市長が特に必要と認めるとき 市長が定める割合

(特別利用料の減免手続)

- 第11条 条例第7条第3項の規定による特別利用料の減免を受けようとする者は、特別利用料減免申請書(第7号様式)を市長に提出しなければならない。
- 2 市長は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用料の減免を決定したときは、特別利用料減免決定通知書(第8号様式)を交付するものとする。

(観覧料及び特別利用料の還付手続)

第12条 条例第8条ただし書の規定による観覧料又は特別利用料の還付を受けようとする者は、観覧料については観覧券を、特別利用料については特別利用許可決定通知書を市長に提示しなければならない。

(行為の禁止)

第13条 条例第9条第2号に規定するその他市長において管理上支障があると認める行為は、次に掲げる行為とする。

- (1) 所定の場所以外の場所における飲食、喫煙又は火気の使用
- (2) 所定の場所以外の場所における動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)の類の携帯
- (3) 美術作品等に触れる行為(市長の許可を受けたときを除く。)
- (4) 美術作品等の近くでのインク等の使用(市長の許可を受けたときを除く。)
- (5) 展示室内でのフラッシュによる撮影
- (6) その他管理上支障があると認められる行為

(寄託)

- 第14条 市長は、美術作品等の寄託を受けることができる。
- 2 市長に美術作品等を寄託しようとする者は、寄託申込書(第9号様式)に当該美術作品等の内容を説明する書類を添えて市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、前項の申込みによる寄託を受けたときは、受託証(第10号様式)を交付するものとする。
- 4 寄託品の寄託の条件、内容及び期間は、市長が寄託をしようとする者と協議して定める。ただし、寄託の期間については、最長2年間とする。
- 5 寄託した者が寄託の期間を更新しようとするときは、寄託期間終了の15日前までに寄託申込書を市長に提出しなければならない。
- 6 第3項及び第4項の規定は、前項の規定による寄託の期間の更新について準用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

- 第1号様式(第8条第1項関係)
第2号様式(第8条第2項関係)
第3号様式(第8条第4項関係)
第4号様式(第8条第5項関係)
第5号様式(第9条第1項関係)
第6号様式(第9条第2項関係)
第7号様式(第11条第1項関係)
第8号様式(第11条第2項関係)
第9号様式(第14条第2項関係)
第10号様式(第14条第3項関係)

7-1-3 横須賀美術館運営評価委員会条例

平成 25 年 3 月 29 日
条例第 26 号
改正 令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号

横須賀美術館運営評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館運営評価委員会条例

(設置)

第 1 条

博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 9 条の規定に基づき、横須賀美術館の運営の状況の評価及びその評価の結果に基づく改善策に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定による附属機関として、横須賀美術館運営評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(令 3 条例 74・一部改正)

(組織)

第 2 条

委員会は、委員 7 人以内をもって組織する。

2 委員は、市民、学識経験者、関係団体の代表者、学校教育関係者、社会教育関係者及びその他市長が必要と認める者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令 3 条例 74・一部改正)

(委員長)

第 3 条

委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第 5 条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 第 2 条第 3 項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

附 則(令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号)抄

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

4 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館運営評価委員会条例第 1 条に規定する横須賀美術館運営評価委員会(以下「旧運営評価委員会」という。)の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館運営評価委員会条例(以下「新運営評価委員会条例」という。)第 2 条第 2 項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

5 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館運営評価委員会の委員の任期は、新運営評価委員会条例第 2 条第 3 項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧運営評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

7-1-4 横須賀美術館美術品評価委員会条例

平成 25 年 3 月 29 日
条例第 27 号
改正 令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号

横須賀美術館美術品評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館美術品評価委員会条例

(設置)

第1条

横須賀美術館における美術品の取得において、当該美術品の評価に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館美術品評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(令3条例74・一部改正)

(組織)

第2条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者その他の美術品の評価に関し専門的知識を有する者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(臨時委員)

第3条 委員会に、特別の事項を調査させるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、第1項に係る事案の調査期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成26年9月30日までとする。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

7 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館美術品評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館美術品評価委員会(以下「旧美術品評価委員会」という。)の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館美術品評価委員会条例(以下「新美術品評価委員会条例」という。)第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

8 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館美術品評価委員会の委員の任期は、新美術品評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧美術品評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

「見ればわかる」を当たり前にしな 視覚障害者の美術鑑賞に関する教育普及活動の歩み

立浪佐和子

はじめに

本稿では、開館以来、横須賀美術館が視覚障害者の美術鑑賞についてどのような取り組みを継続的に行ってきたかをまとめ、その変遷や今後の展望について述べたい。

横須賀美術館は2007年4月28日に開館したが、それ以前の開設準備室の頃から現在に至るまで、視覚障害者の美術鑑賞をテーマとする福祉講演会や、視覚障害者が楽しむことができるワークショップなどさまざまな教育普及事業を行ってきた[表1]。これは、当館の「美術館活動の基本方針(教育普及活動の方針)」に依るところが大きい。この基本方針は、開館前の2005年から翌年にかけて開催された「美術館活動検討委員会」で決定されたもので、大きく5つの柱(事業種別)に分かれている[註1]。「1.知的好奇心の育成と充足“現代に開かれた美術館”」、「2.福祉活動の展開“すべての人に開かれた美術館”」、「3.学校との連携“地域に開かれた美術館”」、「4.市民との協働“市民に開かれた美術館”」、「5.子どもたちへの美術館教育“未来に開かれた美術館”」からなり、視覚障害者に関わる事業は、このうち「2.福祉活動の展開“すべての人に開かれた美術館”」の一環として、開催されてきたものである。

次に、個々の事業の特徴をふり返りながら、現在の取り組みへの変遷を紹介したい。

※当館では「しょうがい」の表記を、法令や自治体内の表記に準拠して「障害」としている。

1 福祉講演会

福祉講演会は、美術館が開館する以前の2004年から障害者の美術鑑賞あるいは表現活動をテーマにして、年1回のペースで継続して開催してきたものである(以下「講演会」という)。2004年には、障害児の表現活動をテーマにした講演会(小松敬典「障害児の表現の枠を広げる」)を開催し、翌年以降は視覚障害者の美術鑑賞をテーマに据えるようになった。2005年は、全盲の光島貴之氏を講師に迎え、自身の表現活動やソーシャルビューについて紹介する講演会(光島貴之「指／言葉でつむぐアート—視覚障害者と美術—」)を開催した。

2006年以降は、主にヨーロッパの先進事例を紹介する講演会となった。講師は、視覚障害者が手で触れて美術作品に関する知識を得ることができる「触察本」を監修した全盲の研究者、触察本を制作する出版社社長、博物館のアクセシビリティ担当者などさまざまな方であった[註2]。開催にあたっては、NPO法人視覚障害者芸術活動推進委員会が講師の招聘を行い、当館のほか、開催趣旨に賛同した世田谷美術館と国立総合児童センター「こどもの城」が費用を分担し、3つの場所で同講演を行うという方法をとった[註3]。日本の県立盲学校の元教諭や、デザイ

ナーを招いた講演会もあり、紹介した事例は国外に限らないのだが、いずれの講演会でも、視覚障害者の美術鑑賞方法を知ると同時に、そもそも人はどのような段階を経て美術作品を理解しているのか、理解するために有効な方法やツールはどのようなものかを、参加者・主催者ともに考える契機であり続けた。多くの講師が「これは視覚障害者に限った話ではない。あらゆる人が美術にアクセスするための話である」と語り、特定の障害を想定して実践したことが、あらゆる人を対象としたインクルーシブな事業に展開する可能性を示唆し、困難があっても前進して欲しいと励ます姿が印象的であった。

長く継続してきた講演会は現在休止し、講演会を通して得られた知見を活かし、後述する視覚障害者向けの出張鑑賞会や鑑賞プログラムのためのツール制作へと転換している。

2 福祉イベント(ワークショップ、パフォーマンス等)

当館では、年1~2本のペースで福祉イベントとして、ふだん美術館にアクセスしにくい方を対象にしたワークショップやパフォーマンスを企画実施してきた(表1「福祉イベント」欄を参照)。事業ごとに講師や内容が異なり、視覚障害者を主な参加者として想定した事業もあれば、発達障害のある方、認知症の方を想定した場合もあり、対象はさまざまであった。事業によって、「どなたでも参加できます」として広く募集することもあれば、目的をわかりやすく伝えるために、特定の障害や状況の方を対象として記載する場合もある。後者の場合は、補足として「興味のある方はどなたでも参加できます」と添えて、さまざまな方に開かれた事業であるよう留意している。想定した対象に開催情報を届けることができるかは常に課題であるが、広報は普段よく利用するであろう施設や関連団体などに向けて積極的に行うこととしている。市の関連部署からメーリングリストや広報誌を用いて情報発信をする場合もある。

事業の内容は、ダンスや楽器制作・演奏など、身体や五感をつかった表現活動が主であったが、2014年頃からは、視覚障害者を対象と想定した所蔵作品の鑑賞プログラムに取り組み始めた。講演会の開催を重ねるにつれ、所蔵作品を美術館にアクセスしにくい方に楽しんでもらう機会を創出する必要性を感じたからである。

一例として、2018年と2019年に開催した「視覚障害者のための出張鑑賞会in横須賀市点字図書館」を紹介する[写真1](以下、「出張鑑賞会」という)。市立の点字図書館を会場として2日間にわたって開催した事業で、谷内六郎『週刊新潮』表紙絵の複製画5点とその触図および音声ガイドを用意し、10時半から16時の開催時間中はいつでも来場可能とした。また、美術や作品のことも含めて自由におしゃべりを楽しむ茶話会(事前申込

表1 横須賀美術館 福祉関連事業一覧

★印のある事業が、視覚障害者の美術鑑賞をテーマとする事業（福祉講演会）や、視覚障害者を主な参加者と想定して企画実施した事業（ワークショップ等）である（ただし、印のない事業においても障害の有無や程度、種別を問わず参加可能としていて、申込があった場合は障害や特性を考慮した内容にアレンジすることを前提としている）。

開催年度	福祉講演会	福祉イベント (ワークショップ・パフォーマンス等)	障害児のための ワークショップ
2004 (平成16)	小松敬典(東京都立光明養護学校教諭) 「障害児の表現の枠を広げる」		
2005 (平成17)	光島貴之(造形作家) 「指／言葉でつむぐアート—視覚障害者と美術—」★		
2006 (平成18)	ホエール・コルヴェスト (パリ科学産業博物館視覚障害者アクセス部門主任) 「手で見る美術—視覚障害者の美術鑑賞 ピカソの絵を手がかりに」★		
2007 (平成19)	ファビオ・レヴィ (トリノ大学コミュニケーション学科教授) 「さわって・みる—触覚からの接近」★	鈴木昭男(サウンド・アーティスト) 「きいて・みる—聴覚からの接近」★	後藤敦史(造形作家) 「みんなのアトリエ」 ※試行として年4回開催
2008 (平成20)	アルド・グラッシーニ (イタリア国立オメロ触覚美術館研究員) 「さわれる美術のはなし」★	折元立身(現代美術家) ワークショップ「ビッグ・シューズを つくって・あそぶ」、 パフォーマンス「Finger Dolls 指人形」	後藤敦史 「みんなのアトリエ」 ※年12回開催
2009 (平成21)	シ ril・グイエット(ルーブル美術館視覚障害者美術教育主任) 「もうひとつの鑑賞法 手でみる美術 —ルーブル美術館の実践活動から」★	金沢健一(彫刻家) 「〈音のかけら〉ワークショップ —見る音・聴く音・触れる音」★	(同上)
2010 (平成22)	アニタ・デル・ヴィット (ボンビドゥーセンター視覚障害者教育担当) 「手でみる絵画—パリ・ボンビドゥーセンターの実践」★	中嶋夏 (舞踏家、〈霧笛舎〉〈心と身体の学級〉主宰) 「からだの音に耳をすます」	(同上)
2011 (平成23)	駒形克己(造本作家／デザイナー) 「TACTILE＝触覚」★	駒形克己(造本作家／デザイナー) 「TACTILE＝触覚」★	(同上)
2012 (平成24)	デルフィーヌ・アルメル (元ケ・プランリー美術館障害者来館促進担当) 「さわれる美術館のつくりかた 誰でもアートが楽しめる!」★	新井英夫 (体奏家、ダンスアーティスト) 「光のダンス—からだで描くふしぎな絵」	(同上)
2013 (平成25)	クリスチャン・ベッシニョール (エティエンヌ産業・芸術グラフィック高等学院名誉教授) 「まったく同じものではないし、まったく別のものでない! —触察本の製作現場から」★	清藤美智子(キヨフジダンス&ヨガ スタジオ主宰、ダンサー、ヨガ講師、 アールヴェーダセラピスト) 「感じてうごかす からだの内・外」	(同上)
2014 (平成26)	アナリザ・トゥラサッチィ (イタリア国立オメロ触覚美術館学芸員) 「美術館はみんなのもの!—オメロ触覚美術館の教育普及 活動から」★	海老塚耕一(彫刻家) 「フロッタージュで探る美術作品」★ COINN(チルドレンミュージックバンド) 「COINNの不思議な音と魔法の杖」★	(同上)
2015 (平成27)	ホエール・コルヴェスト (シテ科学博物館学芸員)[2回目の招聘] 「ミュージアムをもっと身近に—視覚障害者の立場から」★	やなせけいこ、榎本トオル、鈴木文 (人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ) 「音・おと・オト…OTO〜手作り音創り」 ゆにここ(アーティスト) 「触覚とコミュニケーション〜言葉と触覚で つなぐ美術作品と人」★	(同上)
2016 (平成28)	シルヴィオ・ザモラーニ(シルヴィオ・ザモラーニ出版) 「指先で読む本を広めたい!—触察本の出版現場から」★	井上尚子(美術家) 「くんくんウオーク@横須賀美術館」★ 人形劇団デフ・パペットシアター・ひとみ 「一寸法師とお楽しみ交流会」	(同上)

開催年度	福祉講演会 (講師名、講演会タイトル)	福祉イベント (ワークショップ・パフォーマンス等) (講師名、事業タイトル)	障害児向け ワークショップ
2017 (平成29)	岩崎清 (NPO視覚障害者芸術活動推進委員会代表) 「指先から広がる可能性―触覚による美術鑑賞」★	サンガツ(音楽家) 「サンガツワークショップ Catch and Throw vol.4」★ Unicoco(造形作家)、当館学芸員 「話して・触れて・つくって楽しむ美術館」★	(同上)
2018 (平成30)	栗田晃宜 (香川県立盲学校元教諭) 「美術にそっと触れてみる 盲学校教諭の果敢な取り組み」★	当館学芸員 「視覚障害者のための出張鑑賞会 in横須賀市点字図書館」★ 岩崎清(ギャラリーTOM副館長、視覚障害者芸術活動推進委員会代表) 「触って読む手紙を作ってみよう」★ 柴崎由美子(NPO法人エイブル・アートジャパン代表理事) 「福祉とアートが会うとき ～地域の協働事例から考える明日への一歩～」	(同上)
2019 (平成31/ 令和元)	フィリップ・クロード (絵本工房「レ・ドワ・キ・ドレーヴ」創業者) 「視覚障害者と一緒に楽しむフランスのさわってよむ絵本」★	当館学芸員 「第2回 視覚障害者のための出張鑑賞会in横須賀市点字図書館」★ Snip Love(スニップアートスタンプ) 「福祉とアートが会うとき2 スタンプをつかって作品をつくろう!」 ※全3回のうち2回は感染症の影響により中止	(同上) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、年11回開催
2020 (令和2)	中止 (過去講演会の報告作成・公開に振替。翌年度以降も継続)	Snip Love(スニップアートスタンプ) 「福祉とアートが会うとき2スタンプをつかって作品をつくろう!」	来館型ワークショップを中止し、代替として自宅のできる活動をオンラインで紹介
2021 (令和3)	中止 (障害者のための鑑賞補助教材等の制作)	林容子 (一般社団法人アーツアライブ代表理事) 「認知症当事者と介護者を対象とした美術鑑賞プログラム「アトリップ」	(同上)
2022 (令和4)	障害者のための鑑賞補助教材等の制作★	東垂由子、伊藤日菜子(HAD DESIGN) 「福祉とアートが出あうとき 美術館で作品をつくってみよう!」 吉武利文(香りのデザイン研究所) 「視覚障害者向け 調香ミニワークショップ」★	後藤敦史、井上尚子(美術家)、ゆにここ(現代美術作家) 「みんなのアトリエ」 ※新講師を迎えて計4回開催。

※2004～2006年度の活動は『はじまりのはじまり 横須賀美術館 プレ美術館活動記録集』(横須賀市教育委員会美術館開設準備室編、横須賀市教育委員会発行、2007年)、2007年度以降の活動は『横須賀美術館年報』(横須賀美術館編・発行)を参照した。

※各事業について、講師名(片書)・事業名の順に記載した。開催当時の情報のままとしたため、表記揺れがある場合がある。講師肩書は初出の場合のみ記載した。講演会タイトルは、講師から提案が無い限り会場ごとに決めており、同内容の講演でも会場によってタイトルが異なる。

※当館では開館以来、未就学児を対象としたワークショップを福祉関連事業の一つとして位置づけて実施してきたが、本稿では障害者に関する事業について論じたいため、本表には記載していない。なお、未就学児のための事業は2020年度より「5.子どもたちへの美術館教育 “未来に開かれた美術館”」として実施(区分変更)することとなった。

制、1時間程度)を行った。参加者は、介助者も含めて2日間で41名(2018年)、62名(2019年)となり、予想以上の来場があった。

視覚に障害がある方もない方も、谷内六郎作品を楽しもう!

視覚障害者のための出張鑑賞会 in 横須賀市点字図書館

横須賀美術館 福祉関連事業 2018



谷内六郎『夕次歌く子』1960年
© Michiko Tanuchi

昭和の懐かしい暮らしや、いきいきとした子ども達を描いた画家・谷内六郎。横須賀美術館では、代表作『週刊新潮』の表紙絵原画を約1300点収蔵しています。今回は、視覚に障害がある方も作品を楽しんでいただけるよう、横須賀市点字図書館を会場とした出張鑑賞会を企画しました。

出張鑑賞会では、複製画を展示し、鑑賞をサポートする音声ガイドや触図を用意してお待ちしております。視覚に障害がある方もない方も、一緒に谷内六郎作品の鑑賞を楽しんでみませんか?

日時 2018年10月26日(金)、27日(土)
10時30分～16時

※上記時間中、無料で音声ガイドをご利用いただけます(事前申し込み不要、直前会場にお越しください)。
※音声ガイドの内容は約30分です。台数が限られているため、お待ちいただく場合があります。

場所 横須賀市点字図書館研修室
(横須賀市本町2-1 横須賀市立総合福祉会館4階)

対象 視覚に障害がある方やその付き添いの方

※興味がある方はどなたでもご参加いただけます(ガイドの内容は視覚障害者に向けたものです。ご了承ください)。
※開催時に手話通訳や要約筆記が必要な場合は、10月11日(木)までにご相談ください。

参加費 無料

主催：横須賀美術館、横須賀市点字図書館

[写真1]「視覚障害者のための出張鑑賞会in横須賀市点字図書館」チラシ(2018年)

この事業の特徴として、①会場を視覚障害者がアクセスしやすい施設としたこと、②鑑賞する作品を日常生活を描いた具象作品としたこと、③複数の鑑賞補助ツールの準備(複製画・触図・音声ガイド)という、3点を挙げることができる。

①の会場選定は、出張鑑賞会以前の事業において、美術館に行き慣れた関東近郊の視覚障害者の参加があっても、市内在住の視覚障害者の参加者が少なかったことに起因する。横須賀市の視覚障害者は、65歳以上が全体の77.6%、40～64歳が18.3%を占めていて、加齢とともに症状が進行したり、中途失明となった方が多い[註4]。幼い頃から歩行訓練や触察経験を重ねてきた方に比べると、行き慣れない場所で行われる未経験の鑑賞プログラムに参加することは、物理的・精神的にハードルが高いと推測された。そこで、点訳・音訳図書の出出、さまざまな対面サービスを提供する点字図書館を会場とすることにした。

②の作品選定については、谷内六郎以外の作家も含めて、複数の触図を試作し、点字図書館に勤務する視覚障害者らによる触察を重ねながら進めた。結論からいうと、谷内六郎『週刊新潮』表紙絵は日常生活や子ども時代をテーマにしているため、視覚障害者が鑑賞しながら自身の経験と紐づけることができ、理解

や共感を得やすかった。また、表紙絵には作家が作品について記した約400字のエッセイ「表紙の言葉」が残されている。作品解説を行う際に、作家が作品について語る言葉を引用できることは、他の作品にはない強みであった。

③の鑑賞補助ツールの一つとして挙げた複製画は、2006年に遺族から寄贈されたものを利用した[註5]。セキュリティや保存環境の観点から、原画そのものを館外に持ち出すためにはさまざまな問題をクリアしなければいけないが、複製画であれば制約は少ない。触図は、当館が所有する立体コピー作成機(ピアフ)と専用カプセルペーパーを用いて制作した。学芸員が制作するため、修正や微調整をすぐに行うことができる。音声ガイドは、学芸員が原稿を執筆し、点字図書館職員が内容を確認した後、点字図書館の音訳グループが音声データを作成した。モチーフや構図、色、テーマの説明と、それらから推測できること、作家の言葉などを少しずつ伝えていくような内容になっている。1点につき約5分程度の音声データを収録したCDは、点字図書館備品のプレクストークで再生し、同行者と一緒に聞くことができるよう二股分配ケーブルをつけたイヤホンを用いた[写真2]。触図の精度など課題が残ったが、美術館や市施設のリソースを活用して、これらのツールを準備できたことは事業の成功に大きく寄与した。

来場者からは「見えていた頃に、よく美術館に行っていた。見えなくなってからは諦めていたが、また作品鑑賞をすることができて嬉しい」「見えていた頃に雑誌の表紙として見ていた。その際は、あまり気にとめていなかったけれど、改めて鑑賞すると面白い作品だと思った」「触図に加え、音声ガイドも備えているというのは自分は経験がない。触るだけでなく、耳でも情報を聞けるのはとても良いと思う」「障害の有無と関係なく、このガイドの中身だったら晴眼者にとっても作品をよく見る機会になる。どちらにも使えると思う」などの感想が寄せられた。2020年以降、出張鑑賞会は開催できていないが、他市の視覚障害者団体からの借用依頼を受けている。今後、所蔵作品を各所で楽しんでもらう事業として継続していきたい。



[写真2]出張鑑賞会の様子

おわりに

視覚障害者の美術鑑賞をテーマとした事業は、講演会から始まり、所蔵作品の鑑賞プログラムの実践へとフェーズが移行し、現在は出張型の鑑賞プログラムと来館型の鑑賞プログラムの充実を図っている。いずれも視覚障害者を対象と想定して企画をしているが、講演会の講師らが指摘した通り、触覚など視覚以外の感覚をつかって作品の理解を深めることができるツールや、「見ればわかる」を当たり前とせず丁寧に関わる情報を伝え、参加者自身の気づきを重視する進め方は、視覚障害者以外の方々にも応用し得るだろう。視覚障害者の美術鑑賞プログラムを充実させていくことは、横須賀美術館が、基本方針で述べている「すべての人に開かれた美術館」となり、美術を媒介にしたコミュニケーションや相互理解を生む場となるきっかけを与えるはずである。

[註1] 美術館活動検討委員会は、一般市民や他館学芸員、特別支援学校教諭、福祉関連部署の市職員などの9名からなる委員会で、2005年に設置された。2006年3月までに6回の委員会を開催し、ボランティア・福祉・学校教育などに関わるさまざまな活動案について、排他的ではなく、包括的で、できるだけ実現可能な実践活動に向かって、討議や論議が重ねられた。横須賀市教育委員会／美術館活動検討委員会編・発行『美術館活動検討委員会報告書』（2006年）

[註2] 当館ウェブサイトの教育普及ページ内「福祉関連事業」にて、講演会記録を順次公開している (<https://www.yokosuka-moa.jp/education/fukushi.html>)。また、2016年までに限られるが、『横須賀美術館ニュースCorridart vol.21』（横須賀美術館発行、2017年）にて、「横須賀美術館 福祉講演会の歩み」として各講演会のテーマを整理して紹介している (<https://www.yokosuka-moa.jp/static/file/education/corridart/-corridartvol.21.pdf>)。

[註3] その後、こどもの城の閉館により会場を四谷の廃校を利用した「CCAAアートプラザ」に移した。講演会は、新型コロナウイルス感染症によって海外からの招聘が困難となった2019年まで継続された。

[註4] 『よこすか障害者計画 令和3年度(2021年度)～令和8年度(2026年度)』（横須賀市福祉部障害福祉課発行、2021年2月）、横須賀市点字図書館職員による。

[註5] 寄贈を受けた『週刊新潮』表紙絵の複製画は全59点。出張鑑賞会で使用する複製画は、構図が複雑すぎないこと、視覚以外の感覚を含んだ見立てであることなどを考慮して選定した。

横須賀美術館年報 令和4年度

編集：横須賀美術館(日野原清水、林田ゆみ子)

発行者：横須賀美術館

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 電話046-845-1211

印刷：株式会社千代田プランニング

発行：令和5年12月25日

横須賀
美術館

YOKOSUKA
MUSEUM OF ART